事務事業評価票

 所管部長等名
 農林水産部長 橋口 尚登

 所管課·係名
 農林水産部\_水産林務課

 課長名
 沖田 良三

| 評価対象年度 平成25年度 課長名 沖田 良三  (Plan) 事務事業の計画  (Aの産業再生プロジェクト促進事業 会計区分 01 一般会計 教項目コード(除・項・目) 05 一 02 一 02 事業コード(大・中・小) 04 一 12 一 14 単かさとにぎわいのあるまち施策の大綱(節) 【政策】 1 豊かな農林水産業のまちづくり施策の展開(項) 【施策】 2 緑を育てる林業経営の安定 具体的な施策と内容 2 林業経営の安定 関忱等の森林整備の加速化と間伐村等の森林資源を活用した林業・木材産業等の地域産業再生を図る。  (全体事業の内容) 農林水産省及び県要綱等に基づき、大型の林業機械や木材関連施設の導入を助成する。  (会体事業の内容) 農林水産省及び県要綱等に基づき、大型の林業機械や木材関連施設の導入を助成する。  (表述事業の内容) 農林水産省及び県要綱等に基づき、大型の林業機械や木材関連施設の導入を助成する。  (表述事業の内容) ・ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・  |           |             |                        |                       | 川 吕珠。 | 床石       | 辰怀小庄叩_小庄怀伤床 |        |            |            |      |    |
|---|-----------|-------------|------------------------|-----------------------|-------|----------|-------------|--------|------------|------------|------|----|
| 事務事業名  緑の産業再生プロジェクト促進事業   | 評価対象年度    | 平成25年度      |                        |                       | 課長名   |          |             |        | 沖田         | 良三         |      |    |
| 事務事業名 緑の産業再生プロジェクト促進事業  |           |             |                        | (Plan)事務 <del>I</del> | 事業の記  | 画        |             |        |            |            |      |    |
| 施策の体系 (八代市総合計画における位置づけ) 基本目標(章) 4 豊かさとにぎわいのあるまち 施策の体系 (八代市総合計画における位置づけ) 施策の展開(項) [施策] 2 緑を育てる林業経営の安定 具体的な施策と内容 2 林業経営の安定  「関化等の森林整備の加速化と間伐材等の森林資源を活用した林業・木材産業等の地域産業再生を図る。  「農林水産省及び県要綱等に基づき、大型の林業機械や木材関連施設の導入を助成する。  「農林水産省及び県要綱等に基づき、大型の林業機械や木材関連施設の導入を助成する。  「農林水産省及び県要綱等に基づき、大型の林業機械や木材関連施設の導入を助成する。  「農林水産省及び県要綱等に基づき、大型の林業機械や木材関連施設の導入を助成する。  「農林水産省及び県要綱等に基づき、大型の林業機械や木材関連施設の導入を助成する。  「農林水産省及び県要綱等に基づき、大型の林業機械や木材関連施設の導入を助成する。  「農林水産省及び県要綱等に基づき、大型の林業機械や木材関連施設の導入を助成する。  「農林水産省及び県要綱等に基づき、大型の林業機械や木材関連施設の導入を助成する。  「農林水産省及び県要綱等に基づき、大型の林業機械や木材関連施設の導入を助成する。  「農林・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ |           |             |                        |                       |       | 会計区      | 分           |        | 01         | 一般会        | 計    |    |
| 施策の体系 (八代市総合計画における位置づけ)  「施策の人綱(節)【政策】 1 豊かな農林水産業のまちづくり  施策の展開(項)【施策】 2 緑を育てる林業経営の安定  具体的な施策と内容 2 林業経営の安定  間伐等の森林整備の加速化と間伐材等の森林資源を活用した林業・木材産業等の地域産業再生を図る。  「事務事業の間的 農林水産省及び県要綱等に基づき、大型の林業機械や木材関連施設の導入を助成する。  「事務事業の概要 (全体事業の内容)  「根拠法令、要綱等 森林整備加速化・林業再生事業費補助金交付要綱(農水省)、熊本県緑の産業再生プロジェクト促進事業実施要領  「実施手法 (該当欄を選択) 全部直営 一部委託 全部委託 法令による実施義務 (該当欄を選択) ● その他(事業に対する助成 ) 電務ではない  | 事務事業名     | 緑の産業再生に     | プロジ:                   | ェクト促進事業               |       | 款項目コード(詩 | 吹-項-目)      | 05     | _          | 02         | _    | 02 |
| 施策の体系 (八代市総合計画における位置づけ) 施策の展開(項)【施策】 2 緑を育てる林業経営の安定  具体的な施策と内容 2 林業経営の安定  間伐等の森林整備の加速化と間伐材等の森林資源を活用した林業・木材産業等の地域産業再生を図る。  事務事業の概要 (全体事業の内容)  根拠法令、要綱等 森林整備加速化・林業再生事業費補助金交付要綱(農水省)、熊本県緑の産業再生プロジェクト促進事業実施要領 実施手法 (該当欄を選択)  ◆ その他(事業に対する助成  ・ 2 緑を育てる林業経営の安定  は 株業経営の安定  は 大型の林業機械や木材関連施設の導入を助成する。  ・ 3 接続である ・ 3 接続による実施義務 ・ 3 接続である ・ 3 接続である ・ 3 接続である ・ 4 を変託 ・ 3 接続による実施義務 ・ 4 をの他(事業に対する助成  ・ 2 義務ではない   |           |             |                        |                       |       | 事業コード(大- | -中-小)       | 04     | _          | 12         | _    | 14 |
| (八代市総合計画における位置づけ) 施策の展開(項) [施策] 2 緑を育てる林業経営の安定 具体的な施策と内容 2 林業経営の安定  事務事業の目的 農林水産省及び県要綱等に基づき、大型の林業機械や木材関連施設の導入を助成する。  - 本林整備加速化・林業再生事業費補助金交付要綱(農水省)、熊本県緑の産業再生プロジェクト促進事業実施要領  実施手法 (該当欄を選択) 全部直営 一部委託 全部委託 法令による実施義務 1 義務である (該当欄を選択) ● その他(事業に対する助成 ) 1 義務である  |           | 基本目標(章)     | 4                      | 豊かさとにぎわいのある。          | まち    |          |             |        |            |            |      |    |
| おける位置づけ) 施策の展開(項) 【施策】 2 緑を育てる林業経営の安定   具体的な施策と内容 2 林業経営の安定   事務事業の目的 間   |           | 施策の大綱(節) 【政 | 策】 1                   | 豊かな農林水産業のまち           | づくり   |          |             |        |            |            |      |    |
| 事務事業の目的 間伐等の森林整備の加速化と間伐材等の森林資源を活用した林業・木材産業等の地域産業再生を図る。  | おける位置づけ)  | 施策の展開(項) 【施 | 策】 2                   | 緑を育てる林業経営の安           | 定     |          |             |        |            |            |      |    |
| 事務事業の目的   |           | 具体的な施策と内容   | 2                      | 林業経営の安定               |       |          |             |        |            |            |      |    |
| 農林水産省及び県要綱等に基づき、大型の林業機械や木材関連施設の導入を助成する。  事務事業の概要 (全体事業の内容)  根拠法令、要綱等 森林整備加速化・林業再生事業費補助金交付要綱(農水省)、熊本県緑の産業再生プロジェクト促進事業実施要領 実施手法 (該当欄を選択)  全部直営 一部委託 全部委託 法令による実施義務 (該当欄を選択)  その他(事業に対する助成)  | 車政車業の日的   | 間伐等の森林整備の   | 加速化と                   | :間伐材等の森林資源を活用し        | た林業・  | 木材産業等の   | )地域産        | 業再生を図  | <b>ა</b> . |            |      |    |
| 事務事業の概要<br>(全体事業の内容)<br>根拠法令、要綱等 森林整備加速化・林業再生事業費補助金交付要綱(農水省)、熊本県緑の産業再生プロジェクト促進事業実施要領<br>実施手法<br>(該当欄を選択)<br>全部直営 一部委託 全部委託 法令による実施義務<br>(該当欄を選択)<br>● その他(事業に対する助成 )  | 争伤争未の日的   |             |                        |                       |       |          |             |        |            |            |      |    |
| (全体事業の内容)    根拠法令、要綱等 森林整備加速化・林業再生事業費補助金交付要綱(農水省)、熊本県緑の産業再生プロジェクト促進事業実施要領   実施手法  |           | 農林水産省及び県要   | 綱等に基                   | 基づき、大型の林業機械や木材        | 関連施設  | との導入を助用  | 戊する。        |        |            |            |      |    |
| 根拠法令、要綱等 森林整備加速化・林業再生事業費補助金交付要綱(農水省)、熊本県緑の産業再生プロジェクト促進事業実施要領<br>実施手法 全部直営 一部委託 全部委託 法令による実施義務 (該当欄を選択) ● その他(事業に対する助成 ) (該当欄を選択) ● 2 義務ではない   | 事務事業の概要   |             |                        |                       |       |          |             |        |            |            |      |    |
| 実施手法<br>(該当欄を選択)       全部直営       一部委託       全部委託       法令による実施義務<br>(該当欄を選択)       1 義務である         ● その他(事業に対する助成       )       ○ 2 義務ではない   | (全体事業の内容) |             |                        |                       |       |          |             |        |            |            |      |    |
| 実施手法<br>(該当欄を選択)       全部直営       一部委託       全部委託       法令による実施義務<br>(該当欄を選択)       1 義務である         ● その他(事業に対する助成       )       ○ 2 義務ではない   |           |             |                        |                       |       |          |             |        |            |            |      |    |
| (該当欄を選択) ● その他(事業に対する助成 ) (該当欄を選択) ● 2 義務ではない   | 根拠法令、要綱等  | 森林整備加速化•林第  | <b>美再生事</b>            | 業費補助金交付要綱(農水省)        | 、熊本県  | :緑の産業再生  | ±プロジ₃       | □クト促進事 | 業実施要       | 領          |      |    |
| ) と 技術ではない  | 実施手法      | 全部直営        |                        | 一部委託                  |       | 全部委託     | ŧ           | 法令による  | 実施義務       | 1          | 義務であ | る  |
| 事業期間 開始年度 平成21年度 終了年度 平成26年度  | (該当欄を選択)  | ● その他(事業に対  | する助用                   | 戓                     |       |          | )           | (該当欄   | を選択)       | <b>•</b> 2 | 義務では | ない |
|   | 事業期間      | 開始年度        | 始年度 平成21年度 終了年度 平成26年度 |                       |       |          |             |        |            |            |      |    |

| (Do) 事務  | 事業の実施                           |
|--|---------------------------------|
| 評価対象年度の  | り事業の内容                          |
| 対象 (誰・何を)  | 内容 (手段、方法等)                     |
| 林業認定事業体等   | 高性能林業機械や木質バイオマスエネルギー関係設備の導入を助成。 |
| 成果目標 (どのような効果をもたらしたいのか)                              | -                               |
| 間伐等の森林整備の加速化と間伐材等の森林資源を活用した林業・木材産業等の地域産業再生を図るため実施する。 |                                 |
| 事業開始時点からこれ   | <br> <br> までの状況変化等              |
| サネ   | 16、10分别交出中                      |

| 直接経費) 国県支出金 地方債 その他特定財源 (特別会計→繰入金) 一般財源 (特別会計→事業収入) 人件費 人件費(正規職員)          | (               | 単位:円)  |                      | 196,003,000<br>194,253,000<br>194,253,000<br>0<br>0 | 34,118,000<br>32,368,000<br>0<br>0<br>0      | 0<br>0<br>0<br>0   | 0 0 0 0 0  | 0 0 0 0 0  |
|--|-----------------|--------|----------------------|---|--|--|--|--|
| 国県支出金<br>地方債<br>その他特定財源 (特別会計→繰入金)<br>一般財源 (特別会計→事業収入)<br>人件費<br>人件費(正規職員) |                 |        | 37,911,000<br>0<br>0 | 194,253,000<br>0<br>0                               | 32,368,000<br>0<br>0                         | 0 0  | 0 0  | 0 0  |
| 地方債<br>その他特定財源 (特別会計→繰入金)<br>一般財源 (特別会計→事業収入)<br>人件費<br>人件費(正規職員)          |                 |        | 0 0 0                | 0 0   | 0 0  | 0  | 0  | 0  |
| その他特定財源 (特別会計→繰入金) -般財源 (特別会計→事業収入) - 人件費 - 人件費(正規職員)                      |                 |        | 0                    | 0   | 0  | 0  | 0  | 0  |
| 一般財源 (特別会計→事業収入)<br>人件費<br>人件費(正規職員)                                       |                 |        | 0                    | 0   | 0  | _  | _  | _  |
| 人件費  |                 |        | -                    | ū   | -  | 0  | 0  | _  |
| 人件費(正規職員)  |                 |        | 24年度                 | 0.F. #F. #F   |  |  | Ů  | 0  |
|  |                 |        |                      | 25年度  | 26年度見込                                       | 27年度見込   | 28年度見込   | 29年度見過   |
| TH   |                 | (単位:円) | _                    | 1,750,000   | 1,750,000                                    | 0  | 0  | 0  |
| 職員従事者数   |                 | (単位:人) | _                    | 0.25  | 0.25   | 0.00   | 0.00   | 0.00   |
| 事者数  |                 | (単位:人) | _                    | 0.00  | 0.00   | 0.00   | 0.00   | 0.00   |
| 指標名  | 単位              |        | 24年度                 | 25年度  | 26年度   | 27年度   | 28年度   | 29年度   |
| 実施主体数  | <b> </b><br>  社 | 計画     | -                    | 2   | 4  |  |  |  |
|  | 111             | 実績     | 2                    | 3   | -  | -  | -  | -  |
| 機械・施設件数  | 件               | 計画     | -                    | 2   | 4  |  |  |  |
|  | П               | 実績     | 2                    | 4   | -  | -  | -  | -  |
|  |                 | 計画     | -                    |   |  |  |  |  |
|  |                 | 実績     |                      |   | -  | -  | _  | -  |
| 懱  |                 | 件      | 件<br>実績<br>計画        | 件     実績     2       計画     -       実績              | 件     ま積     2     4       計画     -       実積 | 件     ま積     2     4     -       計画     -       実積     - | 件     ま積     2     4     -     -       計画     -     -     -     -       実積     -     -     - | 件     ま積     2     4     -     -       計画     -     -     -     -       実績     -     -     - |

|                       |    | 指標名            | 指標設定の考え方    | 単位    |    | 24年度   | 25年度   | 26年度   | 27年度   | 28年度   | 29年度   |
|-----------------------|----|----------------|-------------|-------|----|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
|                       | 1  | 原木(素材)生<br>産量  | 機械導入後の効果    | m     | 計画 | I      |        | 19,000 | 20,800 | 22,200 | 23,700 |
| もたらそう                 | •  |                |             |       | 実績 | 18,711 | 17,198 | I      | I      | -      | ı      |
| そうとす                  | 2  | 木質チップ生産<br>量   | 機械、設備導入後の効果 | m     | 計画 | I      | 27,800 | 30,500 | 33,000 | 35,000 | 35,000 |
| <b>成果指標</b><br>とする効果・ |    |                |             | "'    | 実績 | 21,400 |        | -      | -      | -      | -      |
| 成果の数値化                | 3  | 木質バイオマス<br>発電量 | 27年度より稼動予定  | KW時   | 計画 | -      | 0      | 0      | 4,000万 | 4,000万 | 4,000万 |
| 化                     | 3  |                |             | KWIFF | 実績 |        | 0      | -      | -      | -      | -      |
|                       | 〈記 | 述欄〉※数値化で       | きない場合       |       |    |        | 1      |        | 1      | 1      |        |

|                     |   |  | (CI | heck) 事務事業の自 | 己評価   |
|---------------------|---|--|-----|--------------|---|
|                     |   | 着眼点  |     | チェック         | 判断理由  |
|                     |   | 【計画上の位置付け】   | •   | 結びつく         | 市総合計画において「林業経営の安定」ということで、重点施策のひ<br>とつとして掲載              |
|                     | 1 | 事業の目的が上位政策・施策に結び つきますか                               |     | 一部結びつく       | とうとして何収   |
|                     |   |  |     | 結びつかない       |   |
|                     |   | 【市民ニーズ等の状況】  | •   | 薄れていない       | 特に木質バイオマスの利活用については、再生可能な新エネルギー<br>として注目されている。           |
| 事業実施の<br><b>妥当性</b> | 2 | 市民ニーズや社会状況の変化により、<br>事業の役割が薄れていませんか                  |     | 少し薄れている      | СОСДЕСТОСО "О"  |
| 2-11-               |   | 7              |     | 薄れている        |   |
|                     |   | 【市が関与する必要性】<br>市が事業主体であることは妥当です                      | •   | 妥当である        | 市の財政負担はないが、国、県の要項に基づき、事業の目的達成のための協議や指導、助言を行う必要がある。      |
|                     | 3 | か(国・県・民間と競合していません                                    |     | あまり妥当でない     | 72000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000                |
|                     |   | か)   |     | 妥当でない        |   |
|                     |   | 【事業の達成状況】  | •   | 順調である        | 定期的に国、県へ報告する数値からほぼ目的は達成できていると言<br>える。                   |
|                     | 1 | 成果目標の達成状況は順調に推移し                                     |     | あまり順調ではない    | 7.00  |
| 活動内容の<br><b>有効性</b> |   | ていますか  |     | 順調ではない       |   |
|                     |   | 【事業内容の見直し】<br>成果を向上させるため、事業内容を見                      | •   | 見直しの余地はない    | 平成26年度までの事業で、要項、要領等は国、県で詳細に定められている。                     |
|                     | 2 | 成果を向工とともため、事業内容を見<br>直す余地はありますか<br>(成果をこれ以上伸ばすことはできま |     | 検討の余地あり      |   |
|                     |   | (放果をこれ以上伸ばすことはできませんか)                                |     | 見直すべき        |   |
|                     |   | 【民間委託等】  | •   | できない         | 事業実施主体及び県担当部署との協議や文書のやり取り、金銭の<br>受払い等が主な事務処理となるので困難である。 |
|                     | 1 | 民間委託、指定管理者制度の導入な<br>どにより、成果を下げずにコストを削減               |     | 検討の余地あり      | ZAV 477 Topine Zee oov Case Coo.                        |
|                     |   | することは可能ですか   |     | 可能である        |   |
|                     |   | 【他事業との統合・連携】   | •   | できない         | 平成26年度までの事業で、要項、要領等は国、県で詳細に定められている。                     |
|                     | 2 | 目的や形態が類似・関連する事業との統合・連携によりコストの削減は可                    |     | 検討の余地あり      |   |
| 実施方法の               |   | 能ですか   |     | 可能である        |   |
| 効率性                 |   | 【人件費の見直し】  | •   | できない         | 事業実施主体及び県担当部署との協議や文書のやり取り、金銭の<br>受払い等が主な事務処理となるので困難である。 |
|                     | 3 | 現状の成果を下げずに非常勤職員等による対応その他の方法により、人件                    |     | 検討の余地あり      | 2,12 (10 ± 0.7 m)2.12 0.00 (11 m)                       |
|                     |   | 費を削減することは可能ですか                                       |     | 可能である        |   |
|                     |   | 【受益者負担の適正化】<br>事務事業の目的や成果から考えて、                      | •   | 見直しの余地はない    | 平成26年度までの事業で、要項、要領等は国、県で詳細に定められている。                     |
|                     | 4 | 受益者負担を見直す必要はあります                                     |     | 検討の余地あり      |   |
|                     |   | 受益者負担を見直す必要はあります<br>か(引上げ・引下げ・新たな負担・廃<br>止)          |     | 見直しが必要である    |   |

|        |                    |    |    |           |        |      |         | (Actio       | n)事務事業の方向性と改革改善            |      |  |
|--------|--------------------|----|----|-----------|--------|------|---------|--------------|----------------------------|------|--|
|        |                    |    | •  | 1 不要(     | 廃止)    |      |         |              | (今後の方向性の理由)                |      |  |
|        |                    |    |    | 2 民間実     | €施     |      |         |              | 平成26年度で完了予定                |      |  |
|        | 今後の                |    |    | 3 市による    | る(民間委託 | 托の排  | t大·ī    | 市民等との協働等)    |                            |      |  |
|        | <b>方向性</b><br>当欄を選 |    |    | 4 市によ     | る実施(   | 要改   | 盖)      |              |                            |      |  |
| (該     | ヨ懶を迭:              | が) |    | -         | る実施(   |      |         | U)           |                            |      |  |
|        |                    |    |    | -         | る実施(   |      |         |              |                            |      |  |
|        |                    |    |    | م الالا   | る大心へ   | /九1天 | 3/A / L |              | <br>今後の改革改善の取組と、もたらそうとする効果 |      |  |
|        |                    | H  |    |           |        |      |         |              | 子後の収集収音の収益と、もたってうこうも効果     |      |  |
| 改革     | <b>直改善内</b>        | 容  |    |           |        |      |         |              |                            |      |  |
|        |                    |    |    |           |        |      |         |              |                            |      |  |
|        |                    |    |    |           | _      |      |         |              |                            |      |  |
|        | 改革改                | で  | よる | る期待成果<br> |        |      |         |              | <u> </u>                   |      |  |
|        | <u> </u>           |    |    | コスト       |        |      | 外       | 部評価の実施       | 無                          | 実施年度 |  |
|        |                    | 削》 | 戓  | 維持        | 増加     |      | 改       | H25進捗状況      |                            |      |  |
|        | 向上                 |    |    |           |        |      | 善進      |              |                            |      |  |
|        | 비그                 |    |    |           |        |      | 掺状      |              |                            |      |  |
| 成.     | 6# I±              |    |    | _         |        |      | 況       | H25取組内容      |                            |      |  |
| 成<br>果 | 維持                 |    |    |           |        |      | 等       |              |                            |      |  |
|        |                    |    |    |           |        | ,    |         |              |                            |      |  |
|        | 低下                 |    |    |           |        |      |         |              | (委員からの意見等)                 |      |  |
|        |                    |    |    |           | l      |      | 決争      | 算審査特別 特に     | こなし                        |      |  |
|        |                    |    |    |           |        |      | 委員      | 会における<br>意見等 |                            |      |  |
|        |                    |    |    |           |        |      |         | <b>尼</b> 允守  |                            |      |  |

事務事業評価票

 所管部長等名
 農林水産部長 橋口 尚登

 所管課・係名
 農林水産部\_水産林務課

 課長名
 沖田 良三

|                    |   |       | 7.                             | 77 日本 水石 |               |        | 展怀尔连即_尔连怀扬林 |       |          |          |    |  |  |
|--------------------|---|-------|--------------------------------|----------|---------------|--------|-------------|-------|----------|----------|----|--|--|
| 評価対象年度             | 平成25年度  |       |                                | 果長名      |               |        |             | 沖田    | 良三       |          |    |  |  |
|                    |   |       | (Plan) 事務事                     | 業の記      | 画             |        |             |       |          |          |    |  |  |
|                    |   |       |                                |          | 会計区           | 分      |             | 01    | 一般会      | 計        |    |  |  |
| 事務事業名              | 林道施設災害復   | 复旧事   | 業                              |          | 款項目コード(詩      | 次-項-目) | 10          | _     | 01       | _        | 02 |  |  |
|                    |   |       |                                |          | 事業コード(大-      | -中-小)  | 04          | _     | 12       | _        | 80 |  |  |
|                    | 基本目標(章)   | 4     | 豊かさとにぎわいのあるま                   | ち        |               |        |             |       |          |          |    |  |  |
| 施策の体系<br>(八代市総合計画に | 施策の大綱(節) 【政   | 策】 1  | 豊かな農林水産業のまちて                   | づくり      |               |        |             |       |          |          |    |  |  |
| おける位置づけ)           | 施策の展開(項) 【施   | 策】 2  | 緑を育てる林業経営の安置                   | Ē        |               |        |             |       |          |          |    |  |  |
|                    | 具体的な施策と内容   | 1     | 生産基盤の充実                        |          |               |        |             |       |          |          |    |  |  |
| 事務事業の目的            | 豪雨等により被災した  | :林道の  | 复旧を行い、森林整備や木材搬り                | 出など      | <b>木業を推進す</b> | るための   | 基盤となる       | 林道機能の | り回復を     | と図る。     |    |  |  |
| 事務争未の日的            |   |       |                                |          |               |        |             |       |          |          |    |  |  |
|                    | 林道災害は、梅雨期を中心に毎年発生しており、被害程度の小規模なものは、市単独費による復旧を行い、被害程度の大きなものは、災害査定を経て国庫補助により災害復旧事業を行っている。 |       |                                |          |               |        |             |       |          |          |    |  |  |
| 事務事業の概要            |   |       | 災害復旧事業を行っている。<br>害復旧事業の採択用件】   |          |               |        |             |       |          |          |    |  |  |
| (全体事業の内容)          | 〇1箇所当たりの工事  | 費40万  | 円以上、基本補助率50%、65%(              | 嵩上げ      | あり)           |        |             |       |          |          |    |  |  |
|                    | ○採択用件:24時間雨<br>○林道延長500m以   | _     | m以上、1時間雨量20mm以上<br>×域面積30ha以上等 |          |               |        |             |       |          |          |    |  |  |
| 根拠法令、要綱等           |   |       | <b>業費国庫補助の暫定措置に関す</b>          | る法律      |               |        |             |       |          |          |    |  |  |
| 実施手法               | 全部直営  |       | 一部委託                           |          | 全部委託          | ŧ      | 法令による       | 実施義務  | <b>1</b> | 義務であ     | る  |  |  |
| (該当欄を選択)           | ● その他(請負工事  | F、測量: | 设計業務委託                         | )        |               |        | ) (該当欄を選択)  |       |          | 2 義務ではない |    |  |  |
| 事業期間               | 開始年度  |       | 合併前                            | 終了年度未定   |               |        |             |       |          |          |    |  |  |

# (Do) 事務事業の実施 評価対象年度の事業の内容

 対象 (誰・何を)
 内容 (手段、方法等)

 林道
 平成25年度発生の林道災害復旧事業として修繕費、および工事請負費による復旧を行った。

成果目標 (どのような効果をもたらしたいのか)

林道および関連施設の災害復旧を行い、機能回復を図り、車両通行可能な状態とし、森林整備や木材搬出など林業生産活動を推進する。

# 事業開始時点からこれまでの状況変化等

林道災害は、降雨量や暴風等の程度に大きく左右されるが、近年の降雨は、局所的に多量の雨が降ることも多く、被害の甚大なものも発生している。

|     |                | コスト推移              |  |   | 24年度決算                          | 25年度決算  | 26年度予算  | 27年度見込  | 28年度見込    | 29年度見込   |
|-----|----------------|--------------------|--|---|---------------------------------|---|---|---|-----------|--|
| 事業  | 費              |                    |  | (単位:円)  | -                               | 97,991,000  | 42,320,000  | 9,660,000   | 9,660,000 | 9,660,000  |
| 事   | 業費             | (直接経費)             |  | (単位:円)  | 136,775,872                     | 88,331,000  | 32,660,000  | 0   | 0         | 0  |
|     | B <sub>2</sub> | 国県支出金              |  |   | 55,023,000                      | 51,069,000  | 11,239,000  | 0   | 0         | 0  |
|     | 源              | 地方債                |  |   | 10,357,000                      | 7,000,000   | 5,700,000   | 0   | 0         | 0  |
|     |                | その他特定財源 (特別会計→繰入金) |  |   |                                 | 0   |   | 0   | 0         | 0  |
|     | חת             | 一般財源 (特別会計→事業収入)   |  |   | 71,395,872                      | 30,262,000  | 15,721,000  | 0   | 0         | 0  |
|     |                | 人件費                |  |   | 24年度                            | 25年度  | 26年度見込  | 27年度見込  | 28年度見込    | 29年度見込   |
|     | 概算             | 拿人件費(正規職員)         |  | (単位:円)  | -                               | 9,660,000   | 9,660,000   | 9,660,000   | 9,660,000 | 9,660,000  |
|     | 正規             | 見職員従事者数            |  | (単位:人)  | -                               | 1.38  | 1.38  | 1.38  | 1.38      | 1.38   |
| 時職. | 員等             | 従事者数               |  | (単位:人)  | -                               | 0.00  | 0.00  | 0.00  | 0.00      | 0.00   |
|     |                | 指標名                | 単位   |   | 24年度                            | 25年度  | 26年度  | 27年度  | 28年度      | 29年度   |
| (I) | 災暑             | 『復旧事業(補助)実施箇所数     | 箇所   | 計画  | -                               | 10  |   |   |           |  |
| Ľ   |                |                    |  | 実績  | 7                               | 10  | -   | -   | -         | -  |
| (2) | )              |                    |  | 計画  | -                               |   |   |   |           |  |
| Ľ   |                |                    |  | 実績  |                                 |   | -   | -   | -         | -  |
| (3) | )              |                    |  | 計画  | -                               |   |   |   |           |  |
|     |                |                    |  | 実績  |                                 |   | -   | -   | -         | -  |
| 〈記  | 已述欄            | 〉※数値化できない場合        |  |   |                                 |   |   |   |           |  |
|     |                |                    |  |   |                                 |   |   |   |           |  |
|     | 事 ① ② ③        | 財源内訳 概算 近等 災害 ② ③  | 事業費  事業費(直接経費)  国県支出金 地方債 その他特定財源 (特別会計→繰入金) 一般財源 (特別会計→事業収入)  人件費 概算人件費(正規職員) 正規職員従事者数  指標名  ① 災害復旧事業(補助)実施箇所数  ② | 事業費(直接経費)  国県支出金 地方債 その他特定財源 (特別会計→繰入金) 一般財源 (特別会計→事業収入)  人件費 概算人件費(正規職員) 正規職員従事者数  持職員等従事者数  指標名 単位 ① 災害復旧事業(補助)実施箇所数 第所 | 事業費 (単位:円)  事業費(直接経費) (単位:円)  □ | 事業費 (単位:円) -  事業費(直接経費) (単位:円) 136,775,872  □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ | 事業費(直接経費)     (単位:円)     -     97,991,000       事業費(直接経費)     (単位:円)     136,775,872     88,331,000       財源     国県支出金     55,023,000     51,069,000       地方債     10,357,000     7,000,000       一般財源 (特別会計→線入金)     0       一般財源 (特別会計→事業収入)     71,395,872     30,262,000       上機算人件費(正規職員)     (単位:円)     -     9,660,000       正規職員従事者数     (単位:人)     -     1.38       時職員等従事者数     (単位:人)     -     0.00       持職員     単位     24年度     25年度       ①     第個     -     10       実績     7     10       計画     -     -       実績     -     -       計画     -     -       実績     -     -       計画     -     -       実績     - | 事業費(直接経費)       (単位:円)       -       97,991,000       42,320,000         事業費(直接経費)       (単位:円)       136,775,872       88,331,000       32,660,000         財源       国県支出金       55,023,000       51,069,000       11,239,000         地方債       10,357,000       7,000,000       5,700,000         一般財源 (特別会計→無入金)       0       0         一般財源 (特別会計→事業収入)       71,395,872       30,262,000       15,721,000         大件費       24年度       25年度       26年度見込         概算人件費(正規職員)       (単位:円)       -       9,660,000       9,660,000         正規職員従事者数       (単位:人)       -       0.00       0.00         時職員等従事者数       (単位:人)       -       0.00       0.00         時職員等従事者数       (単位:人)       -       0.00       0.00         時職員       (単位:人)       -       0.00       0.00         東續       7       10       -         実績       7       10       -         実績       -       -         計画       -       -         ま物目       -       -         ま物目       -       -         ま物目       < | 事業費       | 単位 : 円   一   97,991,000   42,320,000   9,660,000   9,660,000   9,660,000   9,660,000   9,660,000   9,660,000   9,660,000   9,660,000   0   0   0   0   0   0   0   0 |

林道施設災害復旧事業 Page 1 of 3

|                         |          | 指標名               | 指標設定の考え方                              | 単位 |    | 24年度 | 25年度 | 26年度 | 27年度 | 28年度 | 29年度 |
|-------------------------|----------|-------------------|---------------------------------------|----|----|------|------|------|------|------|------|
|                         | 1        | 災害復旧事業<br>(補助)実施率 | 林道災害復旧事業(補助)発<br>生箇所に対する災害復旧実<br>施箇所数 | %  | 計画 | -    | 100  |      |      |      |      |
| もたらそう                   | $\Theta$ |                   |                                       |    | 実績 | 100  | 100  | ı    | ı    | ı    | ı    |
| そうとす                    | 2        |                   |                                       |    | 計画 | ı    |      |      |      |      |      |
| <b>成果指標</b><br>・とする効果・成 | J)       |                   |                                       |    | 実績 |      |      | ı    | ı    | ı    | ı    |
| 成果の数値化                  | 3        |                   |                                       |    | 計画 | -    |      |      |      |      |      |
| 化                       | 9)       |                   |                                       |    | 実績 |      |      | -    | -    | -    | -    |
|                         | 〈記       | 述欄〉※数値化で          | きない場合                                 |    |    |      |      |      |      |      |      |

|                     |     |  | (0)   | heck)事務事業の自          | a 二 额 压                                     |
|---------------------|-----|--|-------|----------------------|---|
|                     |     |  | l C   | neck) 手伤手未の日<br>チェック | 判断理由  |
|                     |     | 【計画上の位置付け】                             |       | 結びつく                 | 災害復旧事業については、法に基づき市の責務として行っていくもの             |
|                     | (1) | 事業の目的が上位政策・施策に結び                       |       | 一部結びつく               | である。  |
|                     |     | つきますか                                  |       | 結びつかない               |   |
|                     |     |  | •     | 薄れていない               | <br> 被災した林道を復旧することは、林業活動に伴う車両通行の上から         |
| 事業実施の               | 2   | 【市民ニーズ等の状況】<br> 市民ニーズや社会状況の変化により、      |       | 少し薄れている              | 必要である。                                      |
| 妥当性                 |     | 事業の役割が薄れていませんか                         |       |                      |   |
|                     |     | 【市が関与する必要性】                            |       | 薄れている                | 被災した林道を復旧することは、林道管理者として必要である。               |
|                     |     | 市が事業主体であることは妥当です                       | •     |                      | 成及した作品と後間することは、作品自任日として必要である。               |
|                     | (3) | か(国・県・民間と競合していません<br>か)                |       | あまり妥当でない             |   |
|                     |     | ,                                      | 妥当でない |                      |   |
|                     |     | <br>  【事業の達成状況】                        | •     | 順調である                | 災害復旧事業により、車両通行が可能となり、森林整備や林業生産<br>活動が可能となる。 |
|                     | 1   | 成果目標の達成状況は順調に推移していますか                  |       | あまり順調ではない            |   |
| 活動内容の<br><b>有効性</b> |     |  |       | 順調ではない               |   |
|                     |     | 【事業内容の見直し】<br>成果を向上させるため、事業内容を見        | •     | 見直しの余地はない            | 林道施設の災害復旧を行うものであり、事業内容の見直しの必要は<br>ない。       |
|                     | 2   | 直す余地はありますか                             |       | 検討の余地あり              |   |
|                     |     | (成果をこれ以上伸ばすことはできませんか)                  |       | 見直すべき                |   |
|                     |     | 【民間委託等】                                | •     | できない                 | 設計積算、現場監督など市職員が主体的に行う業務である。                 |
|                     | 1   | 民間委託、指定管理者制度の導入な<br>どにより、成果を下げずにコストを削減 |       | 検討の余地あり              |   |
|                     |     | することは可能ですか                             |       | 可能である                |   |
|                     |     | 【他事業との統合・連携】                           | •     | できない                 | 林道施設の災害復旧を行うものであり、類似の事業との連携は不可              |
|                     | 2   | 目的や形態が類似・関連する事業との統合・連携によりコストの削減は可      |       | 検討の余地あり              | 能である。                                       |
| 実施方法の               |     | 能ですか                                   |       | 可能である                |   |
| 効率性                 |     | 【人件費の見直し】                              | •     | できない                 | 被害調査、設計積算、災害査定、現場監督に至るまで専門性の高い              |
|                     | 3   | 現状の成果を下げずに非常勤職員等による対応その他の方法により、人件      |       | 検討の余地あり              | 業務内容であり非常勤職員による対応は不可能である。<br>               |
|                     |     | 費を削減することは可能ですか                         |       | 可能である                |   |
|                     |     | 【受益者負担の適正化】                            | •     | 見直しの余地はない            | 市が管理する林道の災害復旧であり、受益者負担は相当でない。               |
|                     | 4   | 事務事業の目的や成果から考えて、受益者負担を見直す必要はあります       |       | 検討の余地あり              |   |
|                     |     | か(引上げ・引下げ・新たな負担・廃止)                    |       | 見直しが必要である            |   |
|                     |     | ш/                                     |       |                      |   |

林道施設災害復旧事業 Page 2 of 3

|      |                                   |       |     |        |        |     |             | (Actio       | on)事務事業の方向性と改革改善                  |              |      |
|------|-----------------------------------|-------|-----|--------|--------|-----|-------------|--------------|-----------------------------------|--------------|------|
|      |                                   |       |     | 1 不要(  | 廃止)    |     |             |              | (今後の方向性の理由)                       |              |      |
|      |                                   |       |     | 2 民間事  | €施     |     |             |              | 林道災害復旧については、被害程度に応じ、補助災害復旧事       | 業および市単独費によ   | る復旧を |
|      | 今後の                               |       |     | 3 市による | る(民間委託 | 迁の拡 | 大・大         | 市民等との協働等)    | 行っていく。                            |              |      |
|      | 方向性<br>当欄を選                       |       |     | 4 市によ  | る実施(   | 要改  | 善)          |              |                                   |              |      |
| (II) | - IM C 22                         |       | •   | 5 市によ  | る実施(   | 現行  | どお          | り)           |                                   |              |      |
|      |                                   |       |     | 6 市によ  | る実施(   | 規模  | 拡充          | )            |                                   |              |      |
|      |                                   |       |     |        |        |     |             |              | 今後の改革改善の取組と、もたらそうとする効果            |              |      |
| -L-1 | + -L -+                           | h såa | 災害  | 復旧に    | ついては   | 、被き | <b>宇程</b> 原 | 度の早急な把握。     | と早期の機能回復が求められることから、迅速なる対応を行って     | ていく。また、災害発生の | 未然防止 |
| 以上   | <b>単収音内谷</b>  と被害程度の軽減を図るため、通常の排水 |       |     |        |        |     | こめ、         | 通常の排水施設      | <b>と等の維持管理、舗装化の推進などの対策を講じていく。</b> |              |      |
|      |                                   |       |     |        |        |     |             |              |                                   |              |      |
|      | 改革改                               | 女善(   | こよる | 期待成    | 果      |     |             |              |                                   |              |      |
|      |                                   |       |     | コスト    |        |     | 外           | 部評価の実施       | 無                                 | 実施年度         |      |
|      |                                   | 削     | 減   | 維持     | 増加     |     | 改           | H25進捗状況      |                                   |              |      |
|      | 向上                                |       |     |        |        |     | 善進          |              |                                   |              |      |
|      | 년                                 |       |     |        |        |     | 掺状          | H25取組内容      |                                   |              |      |
| 成果   | 維持                                |       |     |        |        |     | 況           | 11204X/http3 |                                   |              |      |
| 果    | 小肚 1寸                             |       |     |        |        |     | 7           |              |                                   |              |      |
|      | 低下                                |       |     |        |        |     |             |              |                                   |              |      |
|      | 120 1                             |       |     |        |        |     |             |              | (委員からの意見等)                        |              |      |
|      |                                   |       |     |        |        |     |             | 算審査特別 特(     | になし                               |              |      |
|      |                                   |       |     |        |        |     | У.Б.        | 意見等          |                                   |              |      |

林道施設災害復旧事業 Page 3 of 3

事務事業評価票

所管部長等名農林水産部長 橋口 尚登所管課・係名水産林務課 みどり保全係課長名沖田 良三

|                    |                         | が世界がありてアルエボ   |   |                      |        |         |       |       |       |            |  |  |
|--------------------|-------------------------|---------------|---|----------------------|--------|---------|-------|-------|-------|------------|--|--|
| 評価対象年度             | 平成25年度                  |               | 課長名   |                      |        |         | 沖田 身  | 是三    |       |            |  |  |
|                    |                         |               | (Plan) 事務事業の  | 計画                   |        |         |       |       |       |            |  |  |
|                    |                         |               |   | 会計区                  | 分      |         | 01 -  | -般会計  | t     | ,          |  |  |
| 事務事業名              | 各種林業振興[                 | 団体助           | 成事業   | 款項目コード(              | 款−項−目) | 05      | _     | 02    | _     | 02         |  |  |
|                    |                         |               |   | 事業コード(大・             | -中-小)  | 04      | _     | 12    | _     | 17         |  |  |
|                    | 基本目標(章)                 | 4             | 豊かさとにぎわいのあるまち   |                      |        |         |       |       |       |            |  |  |
| 施策の体系<br>(八代市総合計画に | 施策の大綱(節) 【政             | (策】 1         | 豊かな農林水産業のまちづくり  |                      |        |         |       |       |       | ,          |  |  |
| おける位置づけ)           | 施策の展開(項)【施              | 策】 2          | - Well to will be a series of the series of |                      |        |         |       |       |       |            |  |  |
|                    | 具体的な施策と内容               | 3             | 3 森林の保全・育成  |                      |        |         |       |       |       |            |  |  |
|                    |                         |               | 状している関係団体の活性化と育成に。<br>物の供給など)の維持増進を図ることだ  |                      | する多面   | i的機能(国土 | 保全、水  | 源涵養   | 、自然環  | 境の保        |  |  |
| 争務争未の日的            | 主、地球温暖化の防               | <b>止、</b> 怀座: | 物の供和なと)の維持指定を図ること   | . Ceる。               |        |         |       |       |       |            |  |  |
|                    |                         |               | を担う子供たちが、緑と親しみ、緑を愛  | し、緑を守り育 <sup>・</sup> | てる活動   | を通じて、ふる | るさとを愛 | し、そし  | て人を愛  | する心        |  |  |
|                    | 豊かな人間に育ってし<br>②球磨川流域森林・ |               | 日的とする。<br>化センター 流域内の森林整備の目標   | を定め、多様な              | な森林の   | 整備、林業生  | 産活動σ  | )活性化  | を図る。  |            |  |  |
| (全体事業の内容)          |                         | 業体の再          | 編・体質強化、事業量と労働量の調整   | 、就労条件のご              | 收善、高位  | 性能林業機械  | の導入、  | 原木流   | 通の改善  | 等を推        |  |  |
|                    | 進)                      |               |   |                      |        |         |       |       |       |            |  |  |
| 根拠法令、要綱等           | 八代市林業関係事業               | 補助金3          | を付要領 ( )  |                      |        |         |       |       |       |            |  |  |
| 実施手法               | 全部直営                    |               | 一部委託  | 全部委訂                 | ŧ      | 法令による実  |       | 1 靠   | 義務である | გ <u> </u> |  |  |
| (該当欄を選択)           | ● その他(団体への              | の助成           |   |                      | )      | (該当欄を   | 選択)   | ● 2 章 | 養務では  | ない         |  |  |
| 事業期間               | 開始年度                    |               | 合併前   | 終了年                  | 度      |         | - 5   | 未定    | ·     | ·          |  |  |

### (Do) 事務事業の実施

### 評価対象年度の事業の内容

対象 (誰・何を) ①緑の少年団

②球磨川流域森林・林業活性化センター

成果目標 (どのような効果をもたらしたいのか)

①次代を担う子供たちが、緑と親しみ、緑を愛し、緑を守り育てる活動を通じて、ふるさとを愛し、そして人を愛する心豊かな人間に育っていくことを目的とする。

②流域内の森林整備の目標を定め、多様な森林の整備、林業生産活動の活性化を図る。

内容 (手段、方法等)

①次代を担う子供たちが、緑と親しみ、緑を愛し、緑を守り育てる活動を通じて、ふるさとを愛し、そして人を愛する心豊かな人間に育っていくことを目的とする。25,000円×5団体(ナザレ園、八竜小、河俣小、泉第二小、泉第八小緑の少年団)

②流域内の森林整備の目標を定め、多様な森林の整備、林業生産活動の活性化を図る。県南三市三郡の全市町村及び森林組合、等で組織され、事務局を県球磨地域振興局で担っている。各市町村の負担金は、一律47,000円で申し合わせが行われている。

なお、人件費においては、上2団体以外の金銭的援助を伴わない団体の育成においてのものが大きい。(市みどり推進協議会等)(森林組合等林業事業体の再編・体質強化、事業量と労働量の調整、就労条件の改善、高性能林業機械の導入、原木流通の改善等を推進)

### 事業開始時点からこれまでの状況変化等

|             |             |          | コスト推移              |    |         | 24年度決算  | 25年度決算  | 26年度予算  | 27年度見込  | 28年度見込  | 29年度見   |
|-------------|-------------|----------|--------------------|----|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 総事          | 業           | ŧ        |                    |    | (単位:円)  | -       | 922,000 | 922,000 | 922,000 | 922,000 | 922,000 |
|             | 事業          | <b>美</b> | (直接経費)             |    | (単位:円)  | 222,000 | 222,000 | 222,000 | 222,000 | 222,000 | 222,000 |
|             |             | 財        | 国県支出金              |    |         | 0       | 0       | 0       | 0       | 0       | 0       |
|             |             | 源        | 地方債                |    |         |         | 0       | 0       | 0       | 0       | 0       |
|             |             | 内        | その他特定財源 (特別会計→繰入金) |    |         | 0       | 0       | 0       | 0       | 0       | 0       |
|             |             | 訳        | 一般財源 (特別会計→事業収入)   |    |         | 222,000 | 222,000 | 222,000 | 222,000 | 222,000 | 222,000 |
|             |             |          | 人件費                |    |         | 24年度    | 25年度    | 26年度見込  | 27年度見込  | 28年度見込  | 29年度見   |
|             |             | 概算       | 算人件費(正規職員)         | -  | 700,000 | 700,000 | 700,000 | 700,000 | 700,000 |         |         |
|             |             | 正規       | 現職員従事者数            |    | (単位:人)  | -       | 0.10    | 0.10    | 0.10    | 0.10    | 0.10    |
| 臨田          | <b>持職</b> 員 | 等        | 従事者数               |    | (単位:人)  | _       | 0.00    | 0.00    | 0.00    | 0.00    | 0.00    |
| 車           |             |          | 指標名                | 単位 |         | 24年度    | 25年度    | 26年度    | 27年度    | 28年度    | 29年度    |
| 業           | (1)         |          |                    |    | 計画      | -       |         |         |         |         |         |
| の<br>注      | 9           |          |                    |    | 実績      |         |         | -       | -       | _       | -       |
| <b>F</b> 動  | 2           |          |                    |    | 計画      | _       |         |         |         |         |         |
| ,<br>量<br>· | ۵           |          |                    |    | 実績      |         |         | -       | -       | -       | _       |
| 事業の活動量・実績   | 3           |          |                    |    | 計画      | -       | -       |         |         |         |         |
| 表<br>有<br>の | 9           |          |                    |    | 実績      |         |         | -       | -       | _       | _       |
| 数           | 〈記:         | 述榻       | ∜数値化できない場合         |    |         |         |         |         |         |         |         |
|             | 各同          | f(体)     | による活動であり、数値化は困難    |    |         |         |         |         |         |         |         |

|各団体による沽動であり、 数値化は困難

化

|                         |          | 指標名 | 指標設定の考え方 | 単位 |    | 24年度 | 25年度 | 26年度 | 27年度 | 28年度 | 29年度 |
|-------------------------|----------|-----|----------|----|----|------|------|------|------|------|------|
|                         | 1        |     |          |    | 計画 | 1    |      |      |      |      |      |
| もたら                     | $\Theta$ |     |          |    | 実績 |      |      | -    | -    | -    | -    |
| そうとす                    | 9        |     |          |    | 計画 | -    |      |      |      |      |      |
| <b>成果指標</b> もたらそうとする効果・ | 2        |     |          |    | 実績 |      |      | -    | -    | -    | -    |
| 成果の数値化                  | (        |     |          |    | 計画 | -    |      |      |      |      |      |
| 化                       | 3        |     |          |    | 実績 |      |      | -    | -    | -    | -    |

各団体の成果であり、数値化は困難。

|                     |   |  | (C | heck) 事務事業の自                      | 1己評価   |
|---------------------|---|--|----|-----------------------------------|--|
|                     |   | 着眼点  |    | チェック                              | 判断理由   |
|                     | 1 | 【計画上の位置付け】<br>事業の目的が上位政策・施策に結び<br>つきますか  | •  | 結びつく<br>一部結びつく<br>結びつかない          | 市総合計画に、啓発イベント開催による緑化の推進事業として掲載されている。         |
| 事業実施の<br><b>妥当性</b> | 2 | 【市民ニーズ等の状況】<br>市民ニーズや社会状況の変化により、<br>事業の役割が薄れていませんか                             | •  | 薄れていない<br>少し薄れている<br>薄れている        | 各地で土砂災害等が発生するたびに、森林の大切さが注目されており、薄れてはいない。     |
|                     | 3 | 【市が関与する必要性】<br>市が事業主体であることは妥当です<br>か(国・県・民間と競合していません<br>か)                     | •  | 妥当である<br>あまり妥当でない<br>妥当でない        | 各団体とも、他に財源が無く、市の助成は不可欠である。                   |
| 活動内容の               | 1 | 【事業の達成状況】<br>成果目標の達成状況は順調に推移し<br>ていますか   | •  | 順調である<br>あまり順調ではない<br>順調ではない      | 各団体とも、順調に目的を達成している。                          |
| 有効性                 | 2 | 【事業内容の見直し】<br>成果を向上させるため、事業内容を見<br>直す余地はありますか<br>(成果をこれ以上伸ばすことはできませんか)         |    | 見直しの余地はない<br>検討の余地あり<br>見直すべき     | 規模的に小さい団体に対する助成であり、成果も順調であり、これ以上の向上は困難である。   |
|                     | 1 | 【民間委託等】<br>民間委託、指定管理者制度の導入な<br>どにより、成果を下げずにコストを削減<br>することは可能ですか                |    | できない<br>検討の余地あり<br>可能である          | 団体に対する助成であり、不可能である。                          |
| 実施方法の               | 2 | 【他事業との統合・連携】<br>目的や形態が類似・関連する事業と<br>の統合・連携によりコストの削減は可<br>能ですか                  | •  | できない<br>検討の余地あり<br>可能である          | 義務的な事業であり、林業関係一般事務事業と統合した方が効率的であり、検討したい。     |
| 効率性                 | 3 | 【人件費の見直し】<br>現状の成果を下げずに非常勤職員等<br>による対応その他の方法により、人件<br>費を削減することは可能ですか           | •  | できない<br>検討の余地あり<br>可能である          | 規模的に小さい団体に対する助成であり、困難である。                    |
|                     | 4 | 【受益者負担の適正化】<br>事務事業の目的や成果から考えて、<br>受益者負担を見直す必要はあります<br>か(引上げ・引下げ・新たな負担・廃<br>止) | •  | 見直しの余地はない<br>検討の余地あり<br>見直しが必要である | 現在のところ助成額も十分とは言えないが、増額の要望等も無く、適<br>正と認識している。 |

Page 2 of 3 各種林業振興団体助成事業

|                          |                    |     |     |  |        |     |      | (Actio    | on)事務事業の方向性と改革改善  |      |  |  |  |  |
|--------------------------|--------------------|-----|-----|--|--------|-----|------|-----------|-------------------|------|--|--|--|--|
|                          |                    |     |     | 1 不要(  | 廃止)    |     |      |           | (今後の方向性の理由)       |      |  |  |  |  |
|                          |                    |     |     | 2 民間 3                                       | €施     |     |      |           | 一般事務事業との統合を検討したい。 |      |  |  |  |  |
|                          | 今後の                |     |     | 3 市による                                       | る(民間委託 | モの拡 | t大·ī | 市民等との協働等) |                   |      |  |  |  |  |
|                          | <b>方向性</b><br>当欄を選 |     | •   | 4 市によ  | る実施(   | 要改  | 善)   |           |                   |      |  |  |  |  |
| (1)                      | - IM C 22          |     |     | 5 市によ  | る実施(   | 現行  | どお   | IJ)       |                   |      |  |  |  |  |
|                          |                    |     |     | 6 市によ  | る実施(   | 規模  | 拡充   | )         |                   |      |  |  |  |  |
|                          | 改革改善内容             |     |     | 今後の改革改善の取組と、もたらそうとする効果                       |        |     |      |           |                   |      |  |  |  |  |
| -L-                      |                    |     | 現行  | 行どおりで、特に改善する点も見当たらないが、他の事務事業と比較して金額的に規模が小さく、 |        |     |      |           |                   |      |  |  |  |  |
| 叹点                       |                    |     |     |  |        |     |      |           |                   |      |  |  |  |  |
|                          |                    |     |     |  |        |     |      |           |                   |      |  |  |  |  |
|                          | 改革                 | 女善( | こよる | 期待成  | 果      |     |      |           |                   |      |  |  |  |  |
|                          |                    |     |     | コスト  |        |     | 外    | 部評価の実施    | 無                 | 実施年度 |  |  |  |  |
|                          |                    | 削   | 減   | 維持   | 増加     |     | 改    | H25進捗状況   |                   |      |  |  |  |  |
|                          | 向上                 |     |     |  |        |     | 善進   |           |                   |      |  |  |  |  |
|                          | 141 —              |     |     |  |        |     | 掺    | H25取組内容   |                   |      |  |  |  |  |
| 成果                       | 維持                 |     |     |  |        |     | 状況   | HZJ权租内台   |                   |      |  |  |  |  |
| 果                        | <b>祁田</b> 1寸       |     |     |  |        |     | 等    |           |                   |      |  |  |  |  |
|                          | 低下                 |     |     |  |        |     |      |           |                   |      |  |  |  |  |
|                          |                    |     |     |  |        |     |      |           | (委員からの意見等)        |      |  |  |  |  |
| 決算審査特別   特に<br>  委員会における |                    |     | 決   | 算審査特別 特(                                     | になし    |     |      |           |                   |      |  |  |  |  |
|                          |                    |     |     |  |        |     | 安月   | 意見等       |                   |      |  |  |  |  |

各種林業振興団体助成事業 Page 3 of 3

4250719

事務事業評価票

所管部長等名 農林水産部長 橋口 尚登 農林水産部 水産林務課

|                    |  | ווכו | 日际"              |               | 辰怀小庄叩_小庄怀伤床 |        |         |       |            |      |    |  |  |
|--------------------|--|------|------------------|---------------|-------------|--------|---------|-------|------------|------|----|--|--|
| 評価対象年度             | 平成25年度   |      | 課:               | 長名            |             |        |         | 沖田    | 良三         |      |    |  |  |
|                    |  |      | (Plan) 事務事業      | <b>務事業の計画</b> |             |        |         |       |            |      |    |  |  |
|                    |  |      |                  |               | 会計区         | 分      | 01 一般会計 |       |            |      |    |  |  |
| 事務事業名              | 環境生態系保全  | È事業  |                  |               | 款項目コード(詩    | 次-項-目) | 05      | _     | 03         | _    | 02 |  |  |
|                    |  |      |                  |               | 事業コード(大-    | -中-小)  | 04      | _     | 13         | _    | 03 |  |  |
|                    | 基本目標(章)  | 4    | 豊かさとにぎわいのあるまち    |               |             |        |         |       |            |      |    |  |  |
| 施策の体系<br>(八代市総合計画に | 施策の大綱(節)【政策  | 策】 1 | 豊かな農林水産業のまちづくり   |               |             |        |         |       |            |      |    |  |  |
| おける位置づけ)           | 施策の展開(項)【施第  | 策】 3 | 豊かで安定した水産業の振り    | 豊かで安定した水産業の振興 |             |        |         |       |            |      |    |  |  |
|                    | 具体的な施策と内容  | 1    | 生産基盤・環境の整備       |               |             |        |         |       |            |      |    |  |  |
| 事務事業の目的            | 漁業者等が行う多面的   | 勺機能σ | )効果的・効率的な発揮に資する取 | 組を            | 支援することに     | こより、水  | 産業の再生   | Ė•漁村の | 活性化        | を図る。 |    |  |  |
| 事物事業の日間            |  |      |                  |               |             |        |         |       |            |      |    |  |  |
|                    | 熊本県水産多面的機能発揮対策協議会に対して、鏡町アサリ活動組織活動交付金上乗せ分として負担金を支出するとともに、鏡町アサリ<br>活動組織及びやつしろ里海ネットが取組む水産多面的機能発揮対策事業の活動を支援する。 |      |                  |               |             |        |         |       |            |      |    |  |  |
| 事務事業の概要            | 活動植職及いヤラレつ生海イットが収組む小性多面的機能光準対束事業の活動を支援する。<br>-   |      |                  |               |             |        |         |       |            |      |    |  |  |
| (全体事業の内容)          |  |      |                  |               |             |        |         |       |            |      |    |  |  |
|                    |  |      |                  |               |             |        |         |       |            |      |    |  |  |
| 根拠法令、要綱等           | 水産多面的機能発揮対策交付金交付要綱、水産多面的機能発揮対策交付金実施要領  |      |                  |               |             |        |         |       |            |      |    |  |  |
| 実施手法               | 全部直営   |      | 一部委託             |               | 全部委託        | ŧ      | 法令による   |       | 1          | 義務であ | る  |  |  |
| (該当欄を選択)           | ● その他(協議会に   | おいて  | 実施               |               |             | )      | (該当欄    | を選択)  | <b>•</b> 2 | 義務では | ない |  |  |
| 事業期間               | 開始年度 平成24年度 終了年度 平成27年度  |      |                  |               |             |        |         |       |            |      |    |  |  |

### (Do) 事務事業の実施 評価対象年度の事業の内容 対象 (誰・何を) 内容 (手段、方法等) 主に鏡町アサリ活動組織 熊本県水産多面的機能発揮対策協議会に対して、鏡町アサリ活動組織活動 交付金上乗せ分として負担金を支出する。 (平成25年度活動内容) ○鏡町アサリ活動組織[事業費:9,530,000円] 成果目標 (どのような効果をもたらしたいのか) 干潟の耕うん 鏡町アサリ活動組織が取り組む活動に対する支援を通して、アサリ生息環境 ・食害生物等の除去(腹足類・魚類等) の保全・改善を図り、もってアサリの漁獲による漁業所得の向上を図る。 ・保護区の設定 •生物移植 等 ○やつしろ里海ネット[事業費:1,562,000円] ・漁村文化継承の場の提供(地引網体験等) ・漂着ごみの回収 等

### 事業開始時点からこれまでの状況変化等

平成23年6月の大雨によりアサリが大量死滅したことを受け、市では災害対策として、アサリ(母貝)の放流等を実施するとともに、ケアシェルを用いて稚貝沈 着を促進する取組を実施しているところである。鏡町漁協では、平成24年12月(補正)から、水産庁の水産多面的機能発揮対策事業(旧名称:環境生態系保 全事業)により、アサリの資源回復に関する取組を開始し、以降、精力的に活動を実践されているところであるが、鏡町地先では、アサリを水揚げするほどま では至っていない。

| -                     |     |    | コスト推移              |      |        | 24年度決算    | 25年度決算    | 26年度予算    | 27年度見込    | 28年度見込 | 29年度見込 |
|-----------------------|-----|----|--------------------|------|--------|-----------|-----------|-----------|-----------|--------|--------|
| 総事                    | 事業領 | 費  |                    |      | (単位:円) | _         | 3,800,000 | 2,050,000 | 2,050,000 | 0      | 0      |
|                       | 事美  | 集費 | (直接経費)             |      | (単位:円) | 1,000,000 | 1,000,000 | 1,000,000 | 1,000,000 | 0      | 0      |
|                       |     | 財  | 国県支出金              |      |        | 0         | 0         | 0         | 0         | 0      | 0      |
|                       |     | 源  | 地方債                |      |        | 0         | 0         | 0         | 0         | 0      | 0      |
|                       |     | 内訳 | その他特定財源 (特別会計→繰入金) |      |        | 0         | 0         | 0         | 0         | 0      | 0      |
|                       |     | 八  | 一般財源 (特別会計→事業収入)   |      |        | 1,000,000 | 1,000,000 | 1,000,000 | 1,000,000 | 0      | 0      |
|                       |     |    | 人件費                |      |        | 24年度      | 25年度      | 26年度見込    | 27年度見込    | 28年度見込 | 29年度見込 |
|                       |     | 概算 | 算人件費(正規職員)         |      | (単位:円) | -         | 2,800,000 | 1,050,000 | 1,050,000 | 0      | 0      |
|                       |     | 正規 | 見職員従事者数            |      | (単位:人) | -         | 0.40      | 0.15      | 0.15      | 0.00   | 0.00   |
| 臨                     | 寺職貞 | 員等 | 従事者数               |      | (単位:人) | -         | 0.00      | 0.00      | 0.00      | 0.00   | 0.00   |
| 事                     |     |    | 指標名                | 単位   |        | 24年度      | 25年度      | 26年度      | 27年度      | 28年度   | 29年度   |
| 業                     | (1) | ナノ | レトビエイの駆除(鏡町地先)     | トン   | 計画     | -         | 2         | 2         | 2         |        |        |
| の活                    |     |    |                    | 17   | 実績     |           | 1.3       | -         | -         | -      | -      |
| 活動                    | 2   | 干涉 | 舄の耕うん面積(鏡町地先)      | m2   | 計画     | -         | 10,000    | 20,000    | 20,000    |        |        |
| 動量                    | ۷   |    |                    | 1112 | 実績     |           | 13,400    | -         | -         | -      | -      |
| <b>活動指標</b> 事業の活動量・実績 | 3   | アサ | ナリの保護区面積(鏡町地先)     | m2   | 計画     | -         | 500       | 500       | 500       |        |        |
| 保積の                   | 9   |    |                    | 実績   |        | 540       | -         | -         | -         | -      |        |
| 数                     | 〈記  | 述檌 | ▮〉※数値化できない場合       |      | ·      |           | ·         |           |           | ·      |        |
| 値化                    |     |    |                    |      |        |           |           |           |           |        |        |

環境生態系保全事業 Page 1 of 3

|                         |   | 指標名          | 指標設定の考え方                                  | 単位  |    | 24年度 | 25年度 | 26年度 | 27年度 | 28年度 | 29年度 |
|-------------------------|---|--------------|---|-----|----|------|------|------|------|------|------|
|                         | 1 | 本市におけるアサリ漁獲量 | アサリの水揚げにより、漁業<br>所得の安定・向上に寄与する<br>と考えるため。 | と   | 計画 | ı    | 100  | 300  | 600  | 800  | 900  |
| もたらそう                   |   |              |   | , - | 実績 | 5    |      | 1    | 1    | 1    | -    |
| そうとする                   | 2 |              |   |     | 計画 | 1    |      |      |      |      |      |
| <b>成果指標</b><br>・とする効果・は |   |              |   |     | 実績 |      |      | 1    | 1    | 1    | -    |
| 成果の数値化                  | 3 |              |   |     | 計画 | ı    |      |      |      |      |      |
| 化                       | 3 |              |   |     | 実績 |      |      | -    | -    | -    | -    |

〈記述欄〉※数値化できない場合

平成25年度実績については、未だ統計データが公表されていない。 (参考:アサリ漁獲量)H22:628トン、H23:213トン(平成23年6月の大雨によりアサリが大量死)

|                     |   |  | (C | heck) 事務事業の自                      | 己評価   |
|---------------------|---|--|----|-----------------------------------|---|
|                     |   | 着眼点  |    | チェック                              | 判断理由  |
|                     | 1 | 【計画上の位置付け】<br>事業の目的が上位政策・施策に結び<br>つきますか  | •  | 結びつく<br>一部結びつく<br>結びつかない          | 当該事業は、アサリの資源回復を図るため、漁場環境の改善等に取り組むものであり、総合計画に結びつくものである。                                      |
| 事業実施の<br><b>妥当性</b> | 2 | 【市民ニーズ等の状況】<br>市民ニーズや社会状況の変化により、<br>事業の役割が薄れていませんか                             | •  | 薄れていない<br>少し薄れている<br>薄れている        | 平成23年6月の大雨災害によりアサリが大量死滅するなど、本市の水産業を取り巻く環境は依然として厳しい状況が続いているが、アサリの資源回復・漁獲量の増大は本市の水産振興に不可欠である。 |
|                     | 3 | 【市が関与する必要性】<br>市が事業主体であることは妥当です<br>か(国・県・民間と競合していません<br>か)                     | •  | 妥当である<br>あまり妥当でない<br>妥当でない        | 鏡町アサリ活動組織等が事業主体であり、市は実施要領等に基づき、指導、助言を行う必要がある。   |
| 活動内容の               | 1 | 【事業の達成状況】<br>成果目標の達成状況は順調に推移し<br>ていますか   | •  | 順調である<br>あまり順調ではない<br>順調ではない      | 鏡町地先では、アサリ稚貝の生息までは順調と考えられるが、出荷<br>サイズまでの生育には至っていない。   |
| 有効性                 | 2 | 【事業内容の見直し】<br>成果を向上させるため、事業内容を見<br>直す余地はありますか<br>(成果をこれ以上伸ばすことはできま<br>せんか)     | •  | 見直しの余地はない<br>検討の余地あり<br>見直すべき     | 現在、アサリ復活に向けた取組は途上段階であり、今後も水産多面<br>的機能発揮対策事業により、アサリの漁獲を目指した活動が計画的<br>に実施されていく予定である。          |
|                     | 1 | 【民間委託等】<br>民間委託、指定管理者制度の導入な<br>どにより、成果を下げずにコストを削減<br>することは可能ですか                |    | できない<br>検討の余地あり<br>可能である          | 水産多面的機能発揮対策事業については、交付要綱において、協議<br>会において実施することとされており、民間委託等によるコスト削減<br>は困難である。                |
| 実施方法の               | 2 | 【他事業との統合・連携】<br>目的や形態が類似・関連する事業と<br>の統合・連携によりコストの削減は可<br>能ですか                  | •  | できない<br>検討の余地あり<br>可能である          | 水産多面的機能発揮対策事業については、交付要綱において、協議<br>会において実施することとされており、他事業との統合等によるコスト<br>削減は困難である。             |
| 効率性                 | 3 | 【人件費の見直し】<br>現状の成果を下げずに非常勤職員等<br>による対応その他の方法により、人件<br>費を削減することは可能ですか           | •  | できない<br>検討の余地あり<br>可能である          | アサリの資源回復・増殖に関しては、専門的な知識が必要であり、県や協議会と連携しながら、必要に応じて指導や支援を行い、アサリ資源の回復を図っていく必要がある。              |
|                     | 4 | 【受益者負担の適正化】<br>事務事業の目的や成果から考えて、<br>受益者負担を見直す必要はあります<br>か(引上げ・引下げ・新たな負担・廃<br>止) | •  | 見直しの余地はない<br>検討の余地あり<br>見直しが必要である | 水産多面的機能発揮対策事業で行われる活動については、基本的には、全て水産庁の交付金により賄われているところであり、対象外経費や不足分については、事業主体が負担しているのが現状である。 |

環境生態系保全事業 Page 2 of 3 6 市による実施(規模拡充)

### (Action) 事務事業の方向性と改革改善 (今後の方向性の理由) 1 不要(廃止) 平成23年6月の大雨によるアサリの大量死以降、鏡町地先ではアサリの水揚げがない状況が 続いている。アサリの復活は本市の水産振興に不可欠であることから、国の補助事業が終了す 2 民間実施 今後の 3 市による(民間委託の拡大・市民等との協働等) る平成27年度まで、漁業者等が取り組む活動に対し、継続して支援を行っていくことが必要である。 **方向性** (該当欄を選択) 4 市による実施(要改善) ● 5 市による実施(現行どおり)

## 今後の改革改善の取組と、もたらそうとする効果

# 改革改善内容

今後も県や協議会と連携し、活動に対する指導や支援を行いながら、アサリの資源回復を図っていく。

|    | 以中口 | メ苦による | 9州付瓜: | <b>未</b> |
|----|-----|-------|-------|----------|
|    | /   |       | コスト   |          |
|    |     | 削減    | 維持    | 増加       |
|    | 向上  |       | •     |          |
| 成果 | 維持  |       |       |          |
|    | 低下  |       |       |          |

**北支北美に L 2 担任武田** 

| タ       | ト部評価の実施 | 有:外部評価(市民事業仕分け)                          | 実施年度    | 平成22年度    |
|---------|---------|--|---------|-----------|
| 改       | H25進捗状況 | 1. 対応済(廃止含む)                             |         |           |
| ·善進捗状況等 | H25取組内容 | ナルトビエイ駆除に対する補助については、平成24年度から、<br>て予算を計上。 | 、別途、漁場球 | 環境保全事業におい |

環境生態系保全事業 Page 3 of 3

# 事務事業評価票

 所管部長等名
 農林水産部長橋口尚登

 所管課·係名
 農林水産部\_水産林務課

 課長名
 沖田良三

|                    |  |                 | 171 E            | 77 日本 水石 及19  |         |         |          | 受你小庄叩_小庄仆勿坏 |      |      |  |  |  |  |
|--------------------|--|-----------------|------------------|---------------|---------|---------|----------|-------------|------|------|--|--|--|--|
| 評価対象年度             | 平成25年度   |                 | 課長               | 名             |         |         | 沖田       | 三乒          |      |      |  |  |  |  |
|                    |  |                 | (Plan) 事務事業      | の計画           |         |         |          |             |      |      |  |  |  |  |
|                    |  |                 |                  | 会計            | 区分      | 01 一般会計 |          |             |      |      |  |  |  |  |
| 事務事業名              | 漁場環境保全事  | 業               |                  | 款項目コード        | (款−項−目) | 05      | _        | 03          | _    | 02   |  |  |  |  |
|                    |  |                 |                  | 事業コード(        | トー中一小)  | 04      | _        | 13          | _    | 02   |  |  |  |  |
|                    | 基本目標(章)  | 4 豊かさとにぎわいのあるまち |                  |               |         |         |          |             |      |      |  |  |  |  |
| 施策の体系<br>(八代市総合計画に | 施策の大綱(節)【政策】 1 豊かな農林水産業のまちづくり                        |                 |                  |               |         |         |          |             |      |      |  |  |  |  |
| おける位置づけ)           | 施策の展開(項)【施第  | 复】 3            | 豊かで安定した水産業の振興    | 豊かで安定した水産業の振興 |         |         |          |             |      |      |  |  |  |  |
|                    | 具体的な施策と内容  | 1               | 生産基盤・環境の整備       |               |         |         |          |             |      |      |  |  |  |  |
| 事務事業の目的            | 漁場環境の調査・整備<br>業の効率化を図る。                              | 等を推っ            | 進することにより、漁場環境の保全 | 改善及び水産        | 資源の回復   | 复を図るととも | に、安全な    | な船舶航        | 行並びに | こ漁業操 |  |  |  |  |
| <b>学切学术</b> 07日11  | 未の効子にと凶る。  |                 |                  |               |         |         |          |             |      |      |  |  |  |  |
|                    |  |                 | 査や藻場造成・魚礁設置等の事業に |               |         |         |          | 幕(業)を実      | 施する。 | また、各 |  |  |  |  |
| 事務事業の概要            | 漁協が実施する漁場清掃や航路標識設置、ナルトビエイ駆除等に対する補助及び公用船の維持管理を行う。<br> |                 |                  |               |         |         |          |             |      |      |  |  |  |  |
| (全体事業の内容)          |  |                 |                  |               |         |         |          |             |      |      |  |  |  |  |
|                    |  |                 |                  |               |         |         |          |             |      |      |  |  |  |  |
| 根拠法令、要綱等           | 八代市水産業関係事業   | <b>Ě補助</b> 金    | 金等交付要綱、八代市における県水 | .産事業分担金行      | 敞収条例    |         |          |             |      |      |  |  |  |  |
| 実施手法               | 全部直営   |                 | ● 一部委託           | 全部委託          |         | 法令による   |          | 1 義         | 務である | 5    |  |  |  |  |
| (該当欄を選択)           | その他(   |                 |                  |               | )       |         | (該当欄を選択) |             | 務ではな | ぱい   |  |  |  |  |
| 事業期間               | 開始年度   |                 | 合併前              | 終了            | 年度      |         |          | 未定          |      |      |  |  |  |  |
|                    |  |                 |                  |               |         |         |          |             |      |      |  |  |  |  |

| (Do) 事務事業の実施<br>評価対象年度の事業の内容   |  |  |  |  |  |  |  |  |
|--|--|--|--|--|--|--|--|--|
| 対象 (誰・何を)<br>漁業者、漁場環境<br>成果目標 (どのような効果をもたらしたいのか)<br>〇漁場環境の保全・改善及び水産資源の回復<br>〇安全な船舶の航行、漁業操業の効率化 | 内容 (手段、方法等)  ○各種調査や放流事業等において使用する公用船の維持管理 ○アサリの食害生物であるナルトビエイの駆除に対する補助 ○安全な船舶航行ための航路標識設置に対する補助 ○海面及び内水面漁場の清掃等に対する補助 ○熊本八代海地区水産環境整備事業(県営事業:荒瀬ダム堆積土砂を用いた覆砂事業)に対する負担金 ○水産振興に関する各種協議会に対する負担金 ・平成25年度、新たに「前川河口域再生協議会」を設立し、環境センター建設事業の要望事項のうち、アサリの資源回復・増殖、簡易魚礁の設置や藻場造成等に取組む。 |  |  |  |  |  |  |  |
| <b>上</b>   |  |  |  |  |  |  |  |  |

### 事業開始時点からこれまでの状況変化等

本市では、刺し網や小型定置網等による漁や海苔の養殖等が営まれてきたが、全国的な魚離れによる魚価の低迷、漁場環境の悪化に伴う漁獲量の減少によりアサリ採貝が主流となった。しかし、近年、ナルトビエイによるアサリの食害が顕在化するとともに、平成23年6月の大雨によりアサリが大量死滅して以降は水揚げがない状態が続いているなど、本市の水産業を取り巻く環境は厳しい状況にある。一方、鏡町漁協カキ生産部会が取り組んでいるカキの養殖・カキ小屋経営は、大きな反響を呼ぶなど、八代海の新たな水産業として注目されている。

|               | コスト推移    |         |                               |     |            |            | 25年度決算     | 26年度予算     | 27年度見込     | 28年度見込     | 29年度見込     |
|---------------|----------|---------|-------------------------------|-----|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|
| 総事            | 業        | 貴       |                               | _   | 32,004,784 | 32,730,000 | 35,430,000 | 38,930,000 | 36,930,000 |            |            |
|               | 事業       | <b></b> | (直接経費)                        |     | (単位:円)     | 17,806,024 | 27,104,784 | 26,430,000 | 28,430,000 | 28,430,000 | 26,430,000 |
|               |          | 財       | 国県支出金                         |     |            | 0          | 0          | 0          | 0          | 0          | 0          |
|               |          | 源       | 地方債                           |     |            | 0          | 0          | 0          | 0          | 0          | 0          |
|               |          | 内訳      | その他特定財源 (特別会計→繰入金)            |     |            | 1,282,715  | 1,282,715  | 1,532,000  | 2,032,000  | 2,032,000  | 32,000     |
|               |          |         | 一般財源 (特別会計→事業収入)              |     | 16,523,309 | 25,822,069 | 24,898,000 | 26,398,000 | 26,398,000 | 26,398,000 |            |
|               |          |         | 人件費                           |     |            | 24年度       | 25年度       | 26年度見込     | 27年度見込     | 28年度見込     | 29年度見足     |
|               |          | 概算      | 拿人件費(正規職員)                    |     | (単位:円)     | _          | 4,900,000  | 6,300,000  | 7,000,000  | 10,500,000 | 10,500,000 |
|               |          | 正規      | 見職員従事者数                       |     | (単位:人)     | _          | 0.70       | 0.90       | 1.00       | 1.50       | 1.50       |
| 臨時            | 職員       | 員等:     | 従事者数                          |     | (単位:人)     | -          | 0.00       | 0.00       | 0.00       | 0.00       | 0.00       |
| 事             |          |         | 指標名                           | 単位  |            | 24年度       | 25年度       | 26年度       | 27年度       | 28年度       | 29年度       |
| <del>**</del> | <u> </u> | ナルむ)    | レトビエイ捕獲量(国・県事業による捕獲を含         | トン  | 計画         | -          | 25         | 25         | 25         | 25         | 25         |
| の<br>活        | •        |         |                               | 12  | 実績         | 24         | 25         | -          | -          | -          | -          |
| 活動量           | <b>②</b> |         | ド八代海地区水産環境整備事業等による漁<br>への覆砂面積 | ha  | 計画         | -          | 0          | 8          | 10         | 10         |            |
| ,<br>b        | <u>u</u> | 物.      | <b>、</b> 00復珍面價               | IIa | 実績         | 4          | 0          | -          | -          | -          | -          |
| 量・実績 にんしん     | 3        |         |                               |     | 計画         | -          |            |            |            |            |            |
| 表<br>績<br>の   | 9        |         |                               | 実績  |            |            | -          | _          | -          | -          |            |
| 数             | 〈記:      | 述欄      | 》※数値化できない場合                   |     | •          |            |            |            |            |            |            |
| 値化            |          |         |                               |     |            |            |            |            |            |            |            |

漁場環境保全事業 Page 1 of 3

|                      |         | 指標名    | 指標設定の考え方                 | 単位 |    | 24年度 | 25年度 | 26年度 | 27年度 | 28年度 | 29年度 |
|----------------------|---------|--------|--------------------------|----|----|------|------|------|------|------|------|
|                      | 1       | アサリ漁獲量 | 事業の実施により資源回復が図られたと考えるため。 | トン | 計画 | -    | 100  | 300  | 600  | 800  | 900  |
| もたらそう                | •       |        |                          | 2  | 実績 | 5    |      | -    | -    | -    | -    |
| そうとす                 | 2       |        |                          |    | 計画 | -    |      |      |      |      |      |
| <b>成果指標</b> りとする効果・t |         |        |                          |    | 実績 |      |      | -    | -    | -    | -    |
| 成果の数値化               | 3       |        |                          |    | 計画 | -    |      |      |      |      |      |
| 化                    | <u></u> |        |                          |    | 実績 |      |      | -    | -    | -    | -    |

〈記述欄〉※数値化できない場合

平成25年度実績については、未だ統計データが公表されていない。 (参考) H22:628トン、H23:213トン(平成23年6月の大雨によりアサリが大量死)

|                     |   |  | (C | <mark>heck) 事務事業の自</mark>         | 1己評価  |
|---------------------|---|--|----|-----------------------------------|---|
|                     |   | 着眼点  |    | チェック                              | 判断理由  |
|                     | 1 | 【計画上の位置付け】<br>事業の目的が上位政策・施策に結び<br>つきますか  | •  | 結びつく<br>一部結びつく<br>結びつかない          | 水産資源の回復を図るため、漁場環境の改善等に取り組むものであり、総合計画に結びつくものである。   |
| 事業実施の<br><b>妥当性</b> | 2 | 【市民ニーズ等の状況】<br>市民ニーズや社会状況の変化により、<br>事業の役割が薄れていませんか                             |    | 薄れていない<br>少し薄れている<br>薄れている        | アサリをはじめ、水産資源の回復及び漁獲量の増大は、本市の水産振興に不可欠である。  |
|                     | 3 | 【市が関与する必要性】<br>市が事業主体であることは妥当です<br>か(国・県・民間と競合していません<br>か)                     | •  | 妥当である<br>あまり妥当でない<br>妥当でない        | 平成26年4月から、一部地先においてアサリの水揚げが行われ始めたところであるが、水産振興を図るうえで、アサリの全市的な復活は喫緊の課題として捉えており、今後、さらに漁場環境の改善や食害生物駆除等に積極的に取り組む必要がある。                                |
| 活動内容の               | 1 | 【事業の達成状況】<br>放果目標の達成状況は順調に推移し<br>ていますか   |    | 順調である<br>あまり順調ではない<br>順調ではない      | アサリについては、平成23年6月の大雨による大量死以降、水揚げがない状態が続いていたが、平成26年4月から、一部の地先において漁獲されるなど、アサリ復活の兆しが見え始めている。  |
| 有効性                 | 2 | 【事業内容の見直し】<br>成果を向上させるため、事業内容を見<br>直す余地はありますか<br>(成果をこれ以上伸ばすことはできま<br>せんか)     | •  | 見直しの余地はない<br>検討の余地あり<br>見直すべき     | 平成26年4月から、一部地先においてアサリの水揚げが行われ始めたところであるため、今後も引き続き、県等と連携しながら事業を推進していく必要がある。   |
|                     | 1 | 【民間委託等】<br>民間委託、指定管理者制度の導入な<br>どにより、成果を下げずにコストを削減<br>することは可能ですか                |    | できない<br>検討の余地あり<br>可能である          | 職員で対応できない専門的な調査等については、民間委託により実施する方向で検討している。   |
| 実施方法の               | 2 | 【他事業との統合・連携】<br>目的や形態が類似・関連する事業と<br>の統合・連携によりコストの削減は可<br>能ですか                  | •  | できない<br>検討の余地あり<br>可能である          | 当該事業に類似する事業はなく、他事業との統合等によるコスト削減は困難である。  |
| 効率性                 | 3 | 田州の武田も下げずに北党勘時号年   |    | できない<br>検討の余地あり<br>可能である          | アサリの資源回復・増殖、藻場の造成等に関しては、専門的な知識等が必要であり、職員(水産技術職)が、県や漁協等と連携しながら実施すべきである。  |
|                     | 4 | 【受益者負担の適正化】<br>事務事業の目的や成果から考えて、<br>受益者負担を見直す必要はあります<br>か(引上げ・引下げ・新たな負担・廃<br>止) | •  | 見直しの余地はない<br>検討の余地あり<br>見直しが必要である | ナルトビエイ駆除等に対する補助については、事業費の1/2を受益者<br>(漁協)が負担しているが、実際には漁獲量の減少や高齢化等により<br>経営が厳しくなっており、現在の負担も重いとの声も挙がっていること<br>から、水産振興を図る観点から、今後、負担割合の検討も必要であ<br>る。 |

漁場環境保全事業 Page 2 of 3

### (Action) 事務事業の方向性と改革改善 (今後の方向性の理由) 1 不要(廃止) 本市の水産業を取り巻く環境は依然として厳しい状況にあることから、県営事業や協議会の事業等において、多角的に漁場環境の改善に取り組み、栽培漁業の推進による相乗効果を図り 2 民間実施 今後の 3 市による(民間委託の拡大・市民等との協働等) ながら、アサリなどの水産資源の回復に努め、漁業経営の安定・向上に繋げていくことが必要で **方向性** (該当欄を選択) ある。 4 市による実施(要改善) 5 市による実施(現行どおり) ● 6 市による実施(規模拡充) 今後の改革改善の取組と、もたらそうとする効果 職員の専門的知見及び技術を向上させながら、各地先の特性を活かした水産業の振興を図り、漁業経営の安定に繋げていく。 改革改善内容 改革改善による期待成果 外部評価の実施 実施年度 コスト 無 削減 維持 増加 H25進捗状況 改善進捗状況等 向上 H25取組内容 成 維持 果 低下 (委員からの意見等) 決算審査特別 特になし 委員会における 意見等

漁場環境保全事業 Page 3 of 3

事務事業評価票

 所管部長等名
 農林水産部長 橋口 尚登

 所管課・係名
 農林水産部\_水産林務課

 課長名
 沖田 良三

|                       |                               |              | 所自妹·陈石         |      |          |        |                        |       |      |      |    |  |  |
|-----------------------|-------------------------------|--------------|----------------|------|----------|--------|------------------------|-------|------|------|----|--|--|
| 評価対象年度                | 平成25年度                        |              |                | 課長名  |          |        |                        | 沖田    | 良三   |      |    |  |  |
|                       |                               |              | (Plan) 事務      | 事業の記 | +画       |        |                        |       |      |      |    |  |  |
|                       |                               |              |                | 会計区分 |          |        | 01 一般会計                |       |      |      |    |  |  |
| 事務事業名                 | 五家荘やまめて                       | <b>卜間育</b> 。 | 成施設管理運営事業      |      | 款項目コード(詩 | 次-項-目) | 05                     | _     | 03   | _    | 02 |  |  |
|                       |                               |              |                |      | 事業コード(大- | -中-小)  | 04                     | _     | 13   | _    | 15 |  |  |
|                       | 基本目標(章)                       | 4            | 豊かさとにぎわいのある    | まち   |          |        |                        |       |      |      |    |  |  |
| 施策の体系                 | 施策の大綱(節)【政策】 1 豊かな農林水産業のまちづくり |              |                |      |          |        |                        |       |      |      |    |  |  |
| (八代市総合計画に<br>おける位置づけ) | 施策の展開(項) 【施                   | 策】 3         | 豊かで安定した水産業の振興  |      |          |        |                        |       |      |      |    |  |  |
|                       | 具体的な施策と内容                     | 3            | 栽培漁業の推進        |      |          |        |                        |       |      |      |    |  |  |
| 東政事業の日始               | 内水面漁業及び観光                     | の振興に         | 資するため、やまめ稚魚の計  | 画的な生 | 産並びに市内   | の養殖    | 業者への安                  | 定的な種  | 苗供給を | 図る。  |    |  |  |
| 事務事業の目的               |                               |              |                |      |          |        |                        |       |      |      |    |  |  |
|                       | 五家荘やまめ振興会                     | に施設の         | 管理運営業務を委託し、放流  | 用やまめ | 稚魚の生産及   | び養殖    | 用稚魚の生                  | 産・育成を | 実施。  |      |    |  |  |
| 事務事業の概要               |                               |              |                |      |          |        |                        |       |      |      |    |  |  |
| (全体事業の内容)             |                               |              |                |      |          |        |                        |       |      |      |    |  |  |
|                       |                               |              |                |      |          |        |                        |       |      |      |    |  |  |
| 根拠法令、要綱等              | 八代市内水面漁業振                     | 興対策事         | 事業施設の設置及び管理に関す | する条例 |          |        |                        |       |      |      |    |  |  |
| 実施手法                  | 全部直営                          |              | 一部委託           |      | ● 全部委託   | ŧ      | 法令による                  | 実施義務  | 1 1  | 養務であ | 3  |  |  |
| (該当欄を選択)              | その他(                          |              |                |      |          | )      | / =+ \/ +BB + \22 +U \ |       |      | 養務では | ない |  |  |
| 事業期間                  | 開始年度                          |              | 合併前            |      | 終了年      | 度      |                        |       | 未定   |      |    |  |  |

# (Do) 事務事業の実施 評価対象年度の事業の内容 対象 (誰・何を) 内容 (手段、方法等) 五家荘やまめ中間育成施設 成果目標 (どのような効果をもたらしたいのか) 放流用やまめ稚魚の生産及び養殖用稚魚の生産及び育成による内水面漁業及び観光の振興

# 事業開始時点からこれまでの状況変化等

平成11年度に国の補助事業を活用して施設を整備。平成17年度には、水害により水槽等が被災し、災害復旧事業により現状回復を行ったところ。平成24年度には、突発の出水により養殖池の取水口に土砂が堆積し、稚魚の多くが死滅し、また、平成25年度には、病気による稚魚の死滅により放流事業に影響が及んだ。なお、施設の管理運営については、五家荘やまめ振興会に業務委託してきたところであるが、平成23年度事業仕分けの評価を踏まえ、市の負担軽減を図るため、民間委託の拡大方策を検討・実施していく必要がある。

|          | 費(財        | 直接経費)   |     | (単位:円)             | _                  |  |  |  |   |   |
|----------|------------|---|-----|--------------------|--------------------|--|--|--|---|---|
|          | 財          | 直接経費)   |     |                    |                    | 3,223,000  | 1,050,000  | 800,000  | 800,000   | 800,000   |
|          | 財          |   |     | (単位:円)             | 1,942,980          | 1,893,000  | 0  | 100,000  | 100,000   | 100,000   |
|          |            | 国県支出金   |     |                    | 0                  | 0  | 0  | 0  | 0   | 0   |
|          | 源          | 地方債   |     |                    | 0                  | 0  | 0  | 0  | 0   | 0   |
|          |            | その他特定財源 (特別会計→繰入金)                            |     |                    | 769,000            | 210,000  | 0  | 0  | 0   | 0   |
|          | 八          | 一般財源 (特別会計→事業収入)                              | 入)  |                    | 1,173,980          | 1,683,000  | 0  | 100,000  | 100,000   | 100,000   |
| _        |            | 人件費   |     | 24年度               | 25年度               | 26年度見込   | 27年度見込   | 28年度見込   | 29年度見過  |   |
|          | 概算         | [人件費(正規職員)                                    |     | (単位:円)             | -                  | 1,330,000  | 1,050,000  | 700,000  | 700,000   | 700,000   |
|          | 正規         | 閱職員従事者数                                       |     | (単位:人)             |                    | 0.19   | 0.15   | 0.10   | 0.10  | 0.10  |
| 職員       | 等征         | <b></b><br>走事者数                               |     | (単位:人)             | -                  | 0.00   | 0.00   | 0.00   | 0.00  | 0.00  |
|          |            | 指標名   | 単位  |                    | 24年度               | 25年度   | 26年度   | 27年度   | 28年度  | 29年度  |
|          | やま         | め稚魚放流数  | エ艮  | 計画                 | -                  |  | 70   | 70   | 70  | 70  |
| Û        |            |   | 1 Æ | 実績                 |                    |  | -  | ı  | -   | ı   |
| <u>ඉ</u> |            |   |     | 計画                 | -                  |  |  |  |   |   |
| ۷        |            |   |     | 実績                 |                    |  | -  | -  | -   | -   |
| হ        |            |   |     | 計画                 | -                  |  |  |  |   |   |
| ی        |            |   |     | 実績                 | ·                  | ·  | -  | ı  | -   | ı   |
| 記i       | 述欄         | 〉※数値化できない場合                                   |     |                    |                    |  |  |  |   |   |
|          |            |   |     |                    |                    |  |  |  |   |   |
| 1        | 1) (2) (3) | 一根第 正 表 ま で ま で ま で ま で ま で ま で ま で ま で ま で ま | 内訳  | 大の他特定財源 (特別会計→繰入金) | 大の他特定財源 (特別会計→繰入金) | 内の記録       その他特定財源 (特別会計→繰入金)       769,000         人件費       24年度         概算人件費(正規職員)       (単位:円)       -         成員等従事者数       (単位:人)       -         成員等従事者数       中位       24年度         中まめ稚魚放流数       -       -         変します。       中に表しまり、表しまり、表しまり、表しまり、表しまり、表しまり、表しまり、表しまり、 | 内容       その他特定財源 (特別会計→繰入金)       769,000       210,000         一般財源 (特別会計→事業収入)       1,173,980       1,683,000         大人件費       24年度       25年度         概算人件費(正規職員)       (単位: 八)       -       0.19         就員等従事者数       (単位: 八)       -       0.00         計画       -       -       実績         計画       -       -         実績       計画       -         計画       -       -         実績       計画       -         計画       -       -         実績       計画       -         計画       -       -         実績       -       - | 内容       その他特定財源 (特別会計→繰入金)       769,000       210,000       0         人件費       24年度       25年度       26年度見込         概算人件費(正規職員)       (単位:円)       -       1,330,000       1,050,000         就員等従事者数       (単位:人)       -       0.19       0.15         (単位:人)       -       0.00       0.00         (単位:人)       -       計画       -       70         (型)       中ま約       中本       計画       -       -         (型)       計画       -       -         (型)       計画       -       -         (国)       計画       -       -         (国)       計画       -       -         (国)       計画       -         (国)       中の       中の       中の         (国)       中の       中の       中の         (国)       中の       中の       中の       中の       中の | 内容       その他特定財源 (特別会計→繰入金)       769,000       210,000       0       0         一般財源 (特別会計→事業収入)       1,173,980       1,683,000       0       20年度見込         大件費       24年度       25年度       26年度見込       77年度見込         概算人件費(正規職員)       (単位:人)       -       0.19       0.15       0.10         就員等従事者数       (単位:人)       -       0.00 | 中記       その他特定財源 (特別会計→繰入金)       769,000       210,000       0 |

|                        |          | 指標名                 | 指標設定の考え方                              | 単位 |    | 24年度 | 25年度 | 26年度 | 27年度 | 28年度 | 29年度 |
|------------------------|----------|---------------------|---------------------------------------|----|----|------|------|------|------|------|------|
|                        | 1        | 泉町入込客数              | 観光振興(観光客数の維持)<br>の一助となっていると考える<br>ため。 | 千人 | 計画 | -    | 130  | 130  | 130  | 130  | 130  |
| もたらそう                  | $\odot$  |                     |                                       | +  | 実績 | 131  | 117  | ı    | ı    | ı    | 1    |
| そうとす                   | 2        |                     |                                       |    | 計画 | -    |      |      |      |      |      |
| <b>成果指標</b><br>シとする効果・ | ۷        |                     |                                       |    | 実績 |      |      | -    | -    | -    | -    |
| 成果の数値化                 | 3        |                     |                                       |    | 計画 | 1    |      |      |      |      |      |
| 化                      | 3        |                     |                                       |    | 実績 |      |      | -    | -    | -    | -    |
|                        | 〈記<br>※暦 | -<br>述欄〉※数値化で<br>季年 | きない場合                                 |    |    |      |      |      |      |      |      |

|                     |   |  | (C | heck)事務事業の自                       | <b>自己誕</b> 佈  |
|---------------------|---|--|----|-----------------------------------|---|
|                     |   |  | I  | チェック                              | 判断理由  |
|                     | 1 | 【計画上の位置付け】<br>事業の目的が上位政策・施策に結び<br>つきますか  | •  | 結びつく<br>一部結びつく<br>結びつかない          | 内水面において水産資源の回復・増大を図るため、やまめの栽培漁業を推進するための拠点施設して位置づけており、総合計画に結びつくものである。  |
| 事業実施の<br><b>妥当性</b> | 2 | 【市民ニーズ等の状況】<br>市民ニーズや社会状況の変化により、<br>事業の役割が薄れていませんか                             | •  | 薄れていない<br>少し薄れている<br>薄れている        | 清流に生息するやまめ稚魚を安定的に生産し、計画的に放流していくことは、内水面漁業の振興及び観光振興(観光客数の維持)に寄与する。  |
|                     | 3 | 【市が関与する必要性】<br>市が事業主体であることは妥当です<br>か(国・県・民間と競合していません<br>か)                     |    | 妥当である<br>あまり妥当でない<br>妥当でない        | 民間においてもやまめの養殖を行っている業者があり、今後の施設<br>運営について検討の余地はある。ただし、施設の耐用年数も残って<br>いることから、当面は、中間育成施設としての機能を維持させること<br>が必要である。                    |
| 活動内容の               | 1 | 【事業の達成状況】<br>成果目標の達成状況は順調に推移し<br>ていますか   | •  | 順調である<br>あまり順調ではない<br>順調ではない      | 泉町入込客数は、天候不順等により前年度に比べ全体的に減少した。   |
| 有効性                 | 2 | 【事業内容の見直し】<br>成果を向上させるため、事業内容を見<br>直す余地はありますか<br>(成果をこれ以上伸ばすことはできま<br>せんか)     | •  | 見直しの余地はない<br>検討の余地あり<br>見直すべき     | やまめの養殖に関しては、今後も、養殖技術の向上を図り、やまめ稚<br>魚の安定的な生産・育成に繋げるとともに、観光振興施策と同調しな<br>がら、稚魚の放流等を行っていく必要がある。                                       |
|                     | 1 | 【民間委託等】<br>民間委託、指定管理者制度の導入な<br>どにより、成果を下げずにコストを削減<br>することは可能ですか                |    | できない<br>検討の余地あり<br>可能である          | 市負担の軽減を図るため、施設貸与等による活用方策を検討・実施<br>する。   |
| 実施方法の               | 2 | 【他事業との統合・連携】<br>目的や形態が類似・関連する事業と<br>の統合・連携によりコストの削減は可<br>能ですか                  | •  | できない<br>検討の余地あり<br>可能である          | 施設の立地場所や対象者が限られるため、他事業との統合は困難<br>である。   |
| 効率性                 | 3 | 【人件費の見直し】<br>現状の成果を下げずに非常勤職員等<br>による対応その他の方法により、人件<br>費を削減することは可能ですか           | •  | できない<br>検討の余地あり<br>可能である          | 市負担の軽減を図るため、施設貸与等による活用方策を検討・実施<br>する。   |
|                     | 4 | 【受益者負担の適正化】<br>事務事業の目的や成果から考えて、<br>受益者負担を見直す必要はあります<br>か(引上げ・引下げ・新たな負担・廃<br>止) | •  | 見直しの余地はない<br>検討の余地あり<br>見直しが必要である | これまでは施設の管理運営を業務委託する一方で、受託者がやまめ<br>の売払収入の一部を市に納入する形であったが、市の負担軽減を図<br>るため、施設貸与等による活用方策を検討・実施するとともに、受益<br>者の負担方法について改めて検討することが必要である。 |

### (Action) 事務事業の方向性と改革改善 (今後の方向性の理由) 1 不要(廃止) 平成23年度事業仕分け結果「市による(民間委託の拡大・市民等との協働等)」を踏まえ、引き 続き、民間委託の拡大方策を検討・実施する。 2 民間実施 今後の ● 3 市による(民間委託の拡大・市民等との協働等) **方向性** (該当欄を選択) 4 市による実施(要改善) 5 市による実施(現行どおり) 6 市による実施(規模拡充) 今後の改革改善の取組と、もたらそうとする効果

# 改革改善内容

施設貸与等による活用方策を検討・実施し、市負担の軽減を図る。

|    | 以中口 | と音による | の 期 何 ル: | 果 |  |  |  |  |  |
|----|-----|-------|----------|---|--|--|--|--|--|
|    | /   | コスト   |          |   |  |  |  |  |  |
|    |     | 削減    | 増加       |   |  |  |  |  |  |
|    | 向上  |       |          |   |  |  |  |  |  |
| 成果 | 維持  | •     |          |   |  |  |  |  |  |
|    | 低下  |       |          |   |  |  |  |  |  |

**北京北美に L Z 物体式用** 

| タ       | 部評価の実施  | 有:外部評価(市民事業仕分け)   | 実施年度 | 平成23年度 |
|---------|---------|---|------|--------|
| 改       | H25進捗状況 | 1. 対応済(廃止含む)  |      |        |
| ·善進捗状況等 |         | 民間委託の拡大方策について、五家荘やまめ振興会と協議れまでの業務委託を見直し、やまめ稚魚の放流(年間7万尾)許可制とした。 |      |        |

|             | (委員からの意見等) |
|-------------|------------|
|             | 特になし       |
| 委員会における 意見等 |            |
|             |            |

事務事業評価票

所管部長等名 農林水産部長 橋口 尚登 所管課・係名 水産林務課 みどり保全係 課長名 沖田 良三

|                       |  |      |                 |           | 水石       | <u> </u> |                   |         |       |           |        |  |  |
|-----------------------|--|------|-----------------|-----------|----------|----------|-------------------|---------|-------|-----------|--------|--|--|
| 評価対象年度                | 平成25年度   |      | 課               | 長名        |          |          |                   | 沖田      | 良三    |           |        |  |  |
|                       |  |      | (Plan) 事務事      | 業の記       | 画        |          |                   |         |       |           |        |  |  |
|                       |  |      |                 | 会計区       | 分        | 01 一般会計  |                   |         |       |           |        |  |  |
| 事務事業名                 | 公有林管理事業  |      |                 | 款項目コード(詩  | 饮−項−目)   | 05       | _                 | 02      | _     | 02        |        |  |  |
|                       |  |      |                 |           | 事業コード(大- | -中-小)    | <b>ウー</b> 小) 04 — |         |       | 12 — 18   |        |  |  |
|                       | 基本目標(章)  | 4    | 豊かさとにぎわいのあるまち   | 5         |          |          |                   |         |       |           |        |  |  |
| 施策の体系                 | 施策の大綱(節) 【政  | 策】 1 | 豊かな農林水産業のまちづ    | うくり       |          |          |                   |         |       |           |        |  |  |
| (八代市総合計画に<br>おける位置づけ) | 施策の展開(項) 【施  | 策】 2 | 緑を育てる林業経営の安定    |           |          |          |                   |         |       |           |        |  |  |
|                       | 具体的な施策と内容  | 3    | 森林の保全・育成        |           |          |          |                   |         |       |           |        |  |  |
| 東政市業の日始               | 八代市が所有する山  | 林及び分 | 収林契約を行っている国有林の領 | 管理        |          |          |                   |         |       |           |        |  |  |
| 事務事業の目的               |  |      |                 |           |          |          |                   |         |       |           |        |  |  |
|                       |  |      | とにより市有林の健全な育成が図 |           |          | ホが持つ     | 公益的機能             | (国土保全   | 全、水源  | かん養、      | 公衆の保   |  |  |
| 事務事業の概要               | 健、地球温暖化の防止等)に対する理解と森林を整備することの重要性の啓発。<br> ・森林巡視による森林病害虫及び山火事等による森林被害の未然防止、早期発見、駆除及び林内歩道等の防火線・防火樹帯の整備! |      |                 |           |          |          |                   |         | 整備推   |           |        |  |  |
| (全体事業の内容)             | 進。   |      |                 | - 3111103 | _        |          | · ,,,,,,,,,       | , ,,,,, | . 12. | * 123 113 | - NO 7 |  |  |
|                       |  |      |                 |           |          |          |                   |         |       |           |        |  |  |
| 根拠法令、要綱等              | 森林•林業基本法、森   | 林法   |                 |           |          |          |                   |         |       |           |        |  |  |
| 実施手法                  | 全部直営   |      | ● 一部委託          |           | 全部委託     | ŧ        | 法令による             | 実施義務    | • 1   | 義務であ      | る      |  |  |
| (該当欄を選択)              | その他(   |      |                 |           |          | )        | (該当欄を選択)          |         |       | 義務では      | :ない    |  |  |
| 事業期間                  | 開始年度   |      | 合併前             |           | 終了年      | 度        |                   |         | 未定    |           |        |  |  |

# (Do) 事務事業の実施 評価対象年度の事業の内容 対象 (誰・何を) 内容 (手段、方法等) 八代市有林及び分収林 市内各地に所有又は分収契約している山林の管理を行う。そのうち、スギ等 の針葉樹については、間伐等を行い、健全に育てる必要があるほか、広葉樹 についても下刈等を行う必要がある。 また、SGEC森林認証については、適正に管理された森林から伐採された木 成果目標 (どのような効果をもたらしたいのか) 材であることの証になり、木材の付加価値としてアピールでき、今後も継続し 適切な森林施業及び管理することで森林の有する多面的機能の自発的発揮 ていく必要がある。 を確保するとともに、森林整備及び森林管理の指導的役割を果たす。森林を なお、財源として、伐採した木材は、柱材やチップとして搬出し、特定財源とし 媒体とした交流の場を設け、市民の健康福祉の向上に資する。 ての収入に当てることができるほか、国、県の補助金を受けることができる。 事業開始時点からこれまでの状況変化等

|                      | コスト推移 24年度決算 25年度決算 26年度予算 27年度見込 28年度見込 29年度見込 29年度 |    |                    |        |            |             |            |            |            |            |            |  |
|----------------------|--|----|--------------------|--------|------------|-------------|------------|------------|------------|------------|------------|--|
|                      |  |    | コスト推移              |        | 24年度決算     | 25年度決算      | 26年度予算     | 27年度見込     | 28年度見込     | 29年度見達     |            |  |
| 総事                   | 業  | 費  |                    | _      | 12,924,470 | 15,712,000  | 14,200,000 | 14,200,000 | 12,100,000 |            |            |  |
|                      | 事美   | 集費 | (直接経費)             |        | (単位:円)     | 11,112,880  | 8,024,470  | 11,512,000 | 10,000,000 | 10,000,000 | 10,000,000 |  |
|                      |  | 財  | 国県支出金              |        |            | 5,186,300   | 0          | 4,980,000  | 5,000,000  | 5,000,000  | 5,000,000  |  |
|                      |  | 源  | 地方債                |        |            | 0           | 0          | 0          | 0          | 0          | 0          |  |
|                      |  | 内訳 | その他特定財源 (特別会計→繰入金) |        |            | 7,189,535   | 2,911,000  | 5,040,000  | 5,000,000  | 5,000,000  | 5,000,000  |  |
|                      |  | 派  | 一般財源 (特別会計→事業収入)   |        |            | (1,262,955) | 5,113,470  | 1,492,000  | 0          | 0          | 0          |  |
|                      |  |    | 人件費                |        |            | 24年度        | 25年度       | 26年度見込     | 27年度見込     | 28年度見込     | 29年度見記     |  |
|                      |  | 概算 | 章人件費(正規職員)         | (単位:円) | -          | 4,900,000   | 4,200,000  | 4,200,000  | 4,200,000  | 2,100,000  |            |  |
|                      |  | 正規 | 見職員従事者数            |        | (単位:人)     | -           | 0.70       | 0.60       | 0.60       | 0.60       | 0.30       |  |
| 臨日                   | <b>持職</b>  | 員等 | <b>従事者数</b>        |        | (単位:人)     | -           | 0.00       | 0.00       | 0.00       | 0.00       | 0.00       |  |
| 事                    |  |    | 指標名                | 24年度   | 25年度       | 26年度        | 27年度       | 28年度       | 29年度       |            |            |  |
| 業<br>の               | 1)   | 間化 | 戈(素材生産)            |        | 計画         | -           | 15         | 16.5       | 18         | 15         | 15         |  |
| の<br>活               | <b>(</b> )   |    |                    | ha     | 実績         | 15.6        | 7.8        | -          | -          | -          | -          |  |
| ≠動                   | 2  | 間化 | 戈(切捨て)             | l      | 計画         | -           | 0          | 6.9        | 7          | 10         | 10.7       |  |
| 助量                   | (2)  |    |                    | ha     | 実績         | 0           | 2.5        | -          | -          | -          | -          |  |
| <b>舌助指票</b><br>动量·実績 | 3  | 作第 | 業路(フォワーダ道)開設       |        | 計画         | -           | 300        | 300        | 300        | 300        | 300        |  |
| 景績                   | 3  |    |                    | m      | 実績         | 300         | 0          | -          | -          | -          | -          |  |
| の<br>数               | 〈記   | 述欄 | ₿⟩※数値化できない場合       |        | •          |             |            |            |            |            |            |  |
| 値                    |  |    |                    |        |            |             |            |            |            |            |            |  |
| 化                    |  |    |                    |        |            |             |            |            |            |            |            |  |

公有林管理事業 Page 1 of 3

|                         |    | 指標名        | 指標設定の考え方                                  | 単位 |    | 24年度 | 25年度 | 26年度 | 27年度 | 28年度 | 29年度 |
|-------------------------|----|------------|---|----|----|------|------|------|------|------|------|
|                         | 1  | 搬出材積量      | 間伐する場所や林齢などの条件により変動する。売却による収入が見込め、財源となりうる | m³ | 計画 | -    | 510  | 630  | 730  | 630  | 630  |
| もたらそう                   | •  |            |   | "" | 実績 | 892  | 262  | I    | -    | -    | -    |
| っそうとす                   | 2  |            |   |    | 計画 | 1    |      |      |      |      |      |
| <b>成果指標</b><br>・とする効果・は |    |            |   |    | 実績 |      |      | -    | -    | -    | -    |
| 成果の数値化                  | 3  |            |   |    | 計画 | -    |      |      |      |      |      |
| 化化                      | 3  |            |   |    | 実績 |      |      | -    | -    | -    | -    |
|                         | 〈記 | ・ 述欄〉※数値化で | きない場合                                     |    |    |      |      |      |      |      |      |

|                     |   | * 00 F  | (C | <mark>heck) 事務事業の</mark> 自 |   |
|---------------------|---|---|----|----------------------------|---|
|                     | 1 | 着眼点   |    | チェック                       | 判断理由<br>市総合計画においては、計画的な森林づくりを進めていく旨を記載し                 |
|                     |   | 【計画上の位置付け】<br>事業の目的が上位政策・施策に結び                    |    | 結びつく                       | 「   |
|                     | 1 | つきますか   | •  | 一部結びつく                     | また、森林経営計画に基づいて事業を実施していく。                                |
|                     |   |   |    | 結びつかない                     |   |
|                     |   | 【市民ニーズ等の状況】                                       | •  | 薄れていない                     | 他の民有林の模範的な山林となるため、積極的な取組みが必要である。                        |
| 事業実施の<br><b>妥当性</b> | 2 | 市民ニーズや社会状況の変化により、<br>事業の役割が薄れていませんか               |    | 少し薄れている                    | · • •   |
| X-1L                |   | 予末い区司が、海40 (0.4 ほんか)                              |    | 薄れている                      |   |
|                     |   | 【市が関与する必要性】<br>市が事業主体であることは妥当です                   | •  | 妥当である                      | 森林・林業基本法により、森林所有者の責務として、森林の整備及び 保全に努めなければならない旨が定められている。 |
|                     | 3 | か(国・県・民間と競合していません                                 |    | あまり妥当でない                   | 休主に方めなければならない日かためられている。                                 |
|                     |   | か)  |    | 妥当でない                      |   |
|                     |   | 【事業の達成状況】<br>成果目標の達成状況は順調に推移し                     |    | 順調である                      | H25年度については、森林の状況から計画どおり達成できなかった。                        |
|                     | 1 |   | •  | あまり順調ではない                  |   |
| 活動内容の               |   | ていますか   |    | 順調ではない                     |   |
| 有効性                 |   | 【事業内容の見直し】<br>成果を向上させるため、事業内容を見                   |    | 見直しの余地はない                  | 間伐が困難で、伐採時期が来ている山林は、全伐を検討したい。                           |
|                     | 2 | 直す余地はありますか  | •  | 検討の余地あり                    |   |
|                     |   | (成果をこれ以上伸ばすことはできませんか)                             |    | 見直すべき                      |   |
|                     |   | 【民間委託等】<br>民間委託、指定管理者制度の導入な<br>どにより、成果を下げずにコストを削減 |    | できない                       | 既に委託により実施している。  |
|                     | 1 |   |    | 検討の余地あり                    |   |
|                     |   | することは可能ですか  |    | 可能である                      |   |
|                     |   | 【他事業との統合・連携】                                      |    | できない                       | 低コスト化については、関係機関と協定を結んで、連携して一体的に<br>施業を行う取り組みを始めた。       |
|                     | 2 | 目的や形態が類似・関連する事業との統合・連携によりコストの削減は可                 | •  | 検討の余地あり                    | 一般ですりなり組みを始めた。<br>今後も検討をしながら進めて行きたい。                    |
| 実施方法の               |   | 能ですか  |    | 可能である                      |   |
| 効率性                 |   | 【人件費の見直し】   |    | できない                       | 主に入札等による契約の上、委託して事業を進めているものが多く、<br>困難と思えるが、検討していく必要はある。 |
|                     | 3 | 現状の成果を下げずに非常勤職員等による対応その他の方法により、人件                 | •  | 検討の余地あり                    | <b>凶無と</b> 応えるか、快討してい、必要はある。                            |
|                     |   | 費を削減することは可能ですか                                    |    | 可能である                      |   |
|                     | Г | 【受益者負担の適正化】                                       | •  | 見直しの余地はない                  | 森林の所有者としての事業であり、受益者は市である。                               |
|                     | 4 | 事務事業の目的や成果から考えて、<br>受益者負担を見直す必要はあります              |    | 検討の余地あり                    |   |
|                     |   | か(引上げ・引下げ・新たな負担・廃止)                               |    | 見直しが必要である                  |   |

公有林管理事業 Page 2 of 3

# 

|    | サーサードのものできます。 |     |    |    |  |  |  |  |  |  |  |
|----|---------------|-----|----|----|--|--|--|--|--|--|--|
|    | /             | コスト |    |    |  |  |  |  |  |  |  |
|    |               | 削減  | 維持 | 増加 |  |  |  |  |  |  |  |
|    | 向上            |     | •  |    |  |  |  |  |  |  |  |
| 成果 | 維持            |     |    |    |  |  |  |  |  |  |  |
|    | 低下            | ·   |    |    |  |  |  |  |  |  |  |

| タ       | 部評価の実施  | 無 | 実施年度 |  |
|---------|---------|---|------|--|
| 改       | H25進捗状況 |   |      |  |
| ·善進掺状況等 | H25取組内容 |   |      |  |

| 決算審査特別<br>委員会における<br>意見等 | (委員からの意見等)<br>特になし |
|--------------------------|--------------------|
| 10.50 .                  |                    |
|                          |                    |

公有林管理事業 Page 3 of 3

事務事業評価票

 所管部長等名
 農林水産部長 橋口 尚登

 所管課・係名
 農林水産部\_水産林務課

 課長名
 沖田 良三

|                      |                  |  | Ľ               | 川 日味:          | ボロ       | 辰怀小庄叩_小庄怀伤床 |          |       |            |      |     |  |  |  |
|----------------------|------------------|--|-----------------|----------------|----------|-------------|----------|-------|------------|------|-----|--|--|--|
| 評価対象年度               | 平成25年度           |  |                 | 課長名 沖田 良三      |          |             |          |       |            |      |     |  |  |  |
|                      |                  |  | (Plan) 事務事      | 業の記            | 十画       |             |          |       |            |      |     |  |  |  |
|                      |                  |  |                 |                | 会計区分     |             |          | 01    | 一般会        | H    |     |  |  |  |
| 事務事業名                | 栽培漁業振興           |  |                 | 款項目コード(詩       | 欠-項-目)   | 05          | _        | 03    | _          | 02   |     |  |  |  |
|                      |                  |  |                 |                | 事業コード(大- | -中-小)       | 04       | _     | 13         | _    | 14  |  |  |  |
|                      | 基本目標(章)          | 4  | 豊かさとにぎわいのあるま    | ち              |          |             |          |       |            |      |     |  |  |  |
| 施策の体系<br>(八代市総合計画に   | 施策の大綱(節) 【政      | 策】 1   | 豊かな農林水産業のまち     | 豊かな農林水産業のまちづくり |          |             |          |       |            |      |     |  |  |  |
| おける位置づけ)             | 施策の展開(項) 【施      | 策】 3   | 豊かで安定した水産業の振興   |                |          |             |          |       |            |      |     |  |  |  |
|                      | 具体的な施策と内容        | 3  | 栽培漁業の推進         |                |          |             |          |       |            |      |     |  |  |  |
| 事務事業の目的              | 稚魚、稚エビ等の中間<br>る。 | <b>間育成及</b> で  | び放流等を通して、水産資源の「 | 回復▪増           | 大及び漁獲量   | 量の増加        | を図り、安気   | 定かつ継紀 | 売的な漁       | 業経営を | 促進す |  |  |  |
| 事務事業の概要<br>(全体事業の内容) |                  | 「つくり育てる」栽培漁業を推進するため、稚魚、稚エビ、母貝等(ヒラメ、アユ、ウナギ、フナ、クルマエビ、ガザミ、ハマグリ、アサリ等)を放流<br>するとともに、ケアシェル(稚貝沈着・成長促進基質)を用いてアサリ稚貝の沈着促進等を実施する。 |                 |                |          |             |          |       |            |      |     |  |  |  |
| 根拠法令、要綱等             |                  |  |                 |                |          |             |          |       |            |      |     |  |  |  |
| 実施手法                 | ● 全部直営           |  | 一部委託            |                | 全部委託     | £           | 法令による    | 実施義務  | ş 1        | 義務であ | る   |  |  |  |
| (該当欄を選択)             | その他(             |  |                 |                |          | )           | (該当欄を選択) |       | <b>•</b> 2 | 義務では | ない  |  |  |  |
| 事業期間                 | 開始年度             |  | 合併前             |                | 終了年      | 度           | 未定       |       |            |      |     |  |  |  |

| (Do) 事務·                | (Do) 事務事業の実施   |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|-------------------------|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|
| 評価対象年度                  | 評価対象年度の事業の内容   |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 対象 (誰・何を)               | 内容 (手段、方法等)  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 水産資源(稚魚、稚工ビ等)           | ○稚魚、稚エビ等(クルマエビ、ヒラメ、アサリ、アユ等)の放流<br>○ケアシェルを用いたアサリ稚貝の沈着促進<br>○熊本県栽培漁業地域展開協議会に対する負担金 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 成果目標 (どのような効果をもたらしたいのか) | 〇海苔養殖振興事業(鏡町漁協)に対する補助  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 水産資源及び漁獲量の回復・増大         |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|                         |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |

## 事業開始時点からこれまでの状況変化等

本市では、刺し網や小型定置網等による漁や海苔の養殖等が営まれてきたが、全国的な魚離れによる魚価の低迷、漁場環境の悪化に伴う漁獲量の減少によりアサリ採貝が主流となった。しかし、近年、ナルトビエイによるアサリの食害が顕在化するとともに、平成23年6月の大雨によりアサリが大量死滅して以降は水揚げがない状態が続いているなど、本市の水産業を取り巻く環境は厳しい状況にある。

|                       |                 |      | コスト推移                | 24年度決算     | 25年度決算     | 26年度予算     | 27年度見込     | 28年度見込     | 29年度見過     |            |           |
|-----------------------|-----------------|------|----------------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|-----------|
| 総事                    | 業               | 費    |                      |            | (単位:円)     | _          | 17,442,681 | 27,917,000 | 29,317,000 | 29,317,000 | 29,317,00 |
|                       | 事美              | 集費   | (直接経費)               | 24,099,449 | 14,292,681 | 25,117,000 | 25,117,000 | 25,117,000 | 25,117,00  |            |           |
|                       |                 | 財    | 国県支出金                |            |            | 0          | 0          | 0          | 0          | 0          | 0         |
|                       |                 | 源    | 地方債                  |            |            | 0          | 0          | 0          | 0          | 0          | 0         |
|                       |                 | 内訳   | その他特定財源 (特別会計→繰入金)   |            |            | 0          | 0          | 0          | 0          | 0          | 0         |
|                       |                 | 八    | へ 一般財源 (特別会計→事業収入)   |            |            | 24,099,449 | 14,292,681 | 25,117,000 | 25,117,000 | 25,117,000 | 25,117,00 |
|                       |                 |      | 人件費                  |            |            | 24年度       | 25年度       | 26年度見込     | 27年度見込     | 28年度見込     | 29年度見:    |
|                       |                 | 概算   | 算人件費(正規職員)           | (単位:円)     | -          | 3,150,000  | 2,800,000  | 4,200,000  | 4,200,000  | 4,200,000  |           |
|                       | 正規職員従事者数 (単位:人) |      |                      |            |            |            | 0.45       | 0.40       | 0.60       | 0.60       | 0.60      |
| 臨時                    | <b>持職</b> 員     | 員等   | 従事者数                 |            | (単位:人)     | _          | 0.00       | 0.00       | 0.00       | 0.00       | 0.00      |
| 事                     |                 |      | 指標名                  | 単位         |            | 24年度       | 25年度       | 26年度       | 27年度       | 28年度       | 29年度      |
| 事業                    | 1)              | 稚コ   | 椎エビ放流数               |            | 計画         | -          | 200        | 200        | 200        | 200        | 200       |
| の活                    | 0               |      |                      | 万尾         | 実績         | 217        | 197        | -          | -          | -          | -         |
| <b>新</b>              | 2               | ケア協数 | アシェルを用いてアサリの増殖に取り組む漁 | 漁協         | 計画         | -          | 6          | 6          | 6          | 6          | 6         |
| <b>舌肋旨票</b><br>!動量·実績 | Ú               | 协力   | xx                   | 加加         | 実績         | 0          | 6          | -          | -          | -          | -         |
| 実                     | 3               |      |                      |            | 計画         | -          |            |            |            |            |           |
| ₹<br>績<br>の           | 9               |      |                      |            | 実績         |            |            | 1          | 1          | -          | -         |
| 数                     | 〈記              | 述楪   | ∜数値化できない場合           |            |            |            |            |            |            |            |           |
| 値<br>化                |                 |      |                      |            |            |            |            |            |            |            |           |

栽培漁業振興事業 Page 1 of 3

|                      |         | 指標名    | 指標設定の考え方                 | 単位 |    | 24年度 | 25年度 | 26年度 | 27年度 | 28年度 | 29年度 |
|----------------------|---------|--------|--------------------------|----|----|------|------|------|------|------|------|
|                      | 1       | アサリ漁獲量 | 事業の実施により資源回復が図られたと考えるため。 | トン | 計画 | -    | 100  | 300  | 600  | 800  | 900  |
| もたらそう                | •       |        |                          | 2  | 実績 | 5    |      | -    | -    | -    | -    |
| そうとす                 | 2       |        |                          |    | 計画 | -    |      |      |      |      |      |
| <b>成果指標</b> りとする効果・t |         |        |                          |    | 実績 |      |      | -    | -    | -    | -    |
| 成果の数値化               | 3       |        |                          |    | 計画 | -    |      |      |      |      |      |
| 化                    | <u></u> |        |                          |    | 実績 |      |      | -    | -    | -    | -    |

〈記述欄〉※数値化できない場合

平成25年度実績については、未だ統計データが公表されていない。 (参考)H22:628トン、H23:213トン(平成23年6月の大雨によりアサリが大量死)

|                     |   |  | (C | heck) 事務事業の自                      | 己評価  |
|---------------------|---|--|----|-----------------------------------|--|
|                     |   | 着眼点  |    | チェック                              | 判断理由   |
| 事業実施の<br><b>妥当性</b> | 1 | 東米の日的が上仏政策・佐笠にはが   |    | 結びつく<br>一部結びつく<br>結びつかない          | 栽培漁業の推進については、総合計画の重点施策に位置付けられている。  |
|                     | 2 |  |    | 薄れていない<br>少し薄れている<br>薄れている        | 全国的に漁獲量が減少傾向にある中、アサリをはじめ、水産資源の回復及び漁獲量の安定・増大は、本市の水産振興に不可欠である。   |
|                     | 3 |  |    | 妥当である<br>あまり妥当でない<br>妥当でない        | 平成26年4月から、一部の地先においてアサリの水揚げが行われ始めたところであるが、水産振興を図るうえで、アサリの全市的な復活は喫緊の課題として捉えており、今後、さらに「つくり育てる」栽培漁業を推進していく必要がある。 |
| 活動内容の               | 1 | 【事業の達成状況】<br>成果目標の達成状況は順調に推移し<br>ていますか   | •  | 順調である<br>あまり順調ではない<br>順調ではない      | アサリについては、平成23年6月の大雨による大量死以降、水揚げがない状態が続いていたが、平成26年4月から、一部の地先において漁獲されるなど、アサリ復活の兆しが見え始めている。                     |
| 有効性                 | 2 | 【事業内容の見直し】<br>成果を向上させるため、事業内容を見<br>直す余地はありますか<br>(成果をこれ以上伸ばすことはできま<br>せんか)     | •  | 見直しの余地はない<br>検討の余地あり<br>見直すべき     | 漁獲に結びつかない種苗については他種に切り替えるなど、放流効果を見極めながら、事業を推進していくことが必要である。  |
|                     | 1 | 日間禾江 性中管理を制度の道えた   |    | できない<br>検討の余地あり<br>可能である          | 栽培漁業に関しては、種苗の購入から放流まで、関係者との密な連絡・協議が必要なため、民間委託等は困難である。  |
| 実施方法の               | 2 | 【他事業との統合・連携】<br>目的や形態が類似・関連する事業と<br>の統合・連携によりコストの削減は可<br>能ですか                  |    | できない<br>検討の余地あり<br>可能である          | 当該事業に類似する事業はなく、他事業との統合等によるコスト削減は困難である。   |
| 効率性                 | 3 | 【人件費の見直し】<br>現状の成果を下げずに非常勤職員等<br>による対応その他の方法により、人件<br>費を削減することは可能ですか           | •  | できない<br>検討の余地あり<br>可能である          | アサリの資源回復・増殖、種苗の放流等に関しては、専門的な知識や熟練した技能が必要であり、職員(水産技術職)が、県や漁協等と連携しながら実施すべきである。                                 |
|                     | 4 | 【受益者負担の適正化】<br>事務事業の目的や成果から考えて、<br>受益者負担を見直す必要はあります<br>か(引上げ・引下げ・新たな負担・廃<br>止) | •  | 見直しの余地はない<br>検討の余地あり<br>見直しが必要である | 海苔養殖振興事業補助金については、海苔養殖に取組む経営体が<br>少ない現状等を踏まえ、補助額の見直し等が必要となっている。   |

栽培漁業振興事業 Page 2 of 3

### (Action) 事務事業の方向性と改革改善

# 今後の **方向性** (該当欄を選択)

1 不要(廃止)

(今後の方向性の理由) 2 民間実施

- 3 市による(民間委託の拡大・市民等との協働等)
- 4 市による実施(要改善)
  - 5 市による実施(現行どおり)

6 市による実施(規模拡充)

本市の水産業を取り巻く状況が依然として厳しい中、水産資源の回復・増大を図るための「つくり育てる」栽培漁業の重要性は今後益々高まると思われる。平成27年度供用開始予定の水産 物荷さばき施設の機能向上を図るためにも、放流種苗については、漁協等と相談しながら、漁 獲に結びつく放流効果の高い種苗に順次切り替え、重点的に実施していく必要がある。また、海 音養殖振興事業補助金については、合併後10年を経過する機会を捉え、また、海苔養殖に取組む経営体が少ない現状を踏まえ、これまでの補助の内容や実績の精査、補助額の見直し等 が必要である。

### 今後の改革改善の取組と、もたらそうとする効果

# 改革改善内容いく。

放流効果の高い種苗を放流することにより、水産資源の回復・増大及び漁獲量の増加を図り、漁業経営の安定並びに水産業の振興につなげて

## 改革改善による期待成果

|    | /  | コスト |    |    |  |  |  |  |
|----|----|-----|----|----|--|--|--|--|
|    |    | 削減  | 維持 | 増加 |  |  |  |  |
|    | 向上 |     |    |    |  |  |  |  |
| 成果 | 維持 |     | •  |    |  |  |  |  |
|    | 低下 |     |    |    |  |  |  |  |

| 夕                | 部評価の実施  | 有:外部評価(市民事業仕分け)   | 実施年度 | 平成22年度 |
|------------------|---------|---|------|--------|
| 改                | H25進捗状況 | 2. 一部対応   |      |        |
| \$善進捗 <b>状況等</b> |         | 放流効果の高い種苗放流に関する検討を行うとともに、全市に、沿海漁協に対して、ケアシェルを用いた稚貝沈着促進・増 |      |        |

栽培漁業振興事業 Page 3 of 3

事務事業評価票

 所管部長等名
 農林水産部長
 橋口
 尚登

 所管課·係名
 農林水産部\_水産林務課

 課長名
 沖田
 息=

| 評価対象年度             | 平成25年度         |        | 課                                    | <b>果長名</b>     |              |        |         | 沖田    | 良三    |       |      |
|--------------------|----------------|--------|--------------------------------------|----------------|--------------|--------|---------|-------|-------|-------|------|
|                    |                |        | (Plan) 事務事                           | 業の計            | 画            |        |         |       |       |       |      |
|                    |                |        |                                      |                | 会計区          | 分      | 01 一般会計 |       |       |       |      |
| 事務事業名              | 市内一円林道         | 維持事    | 業                                    | 赤              | 次項目コード(素     | 欠-項-目) | 05      | _     | 02    | _     | 03   |
|                    |                |        |                                      | 4              | 事業コード(大-     | -中-小)  | 04      | _     | 12    | _     | 01   |
|                    | 基本目標(章)        | 4      | 豊かさとにぎわいのあるまち                        | 5              |              |        |         |       |       |       |      |
| 施策の体系<br>(八代市総合計画に | 施策の大綱(節) 【政    | 汝策】 1  | 豊かな農林水産業のまちつ                         | づくり            |              |        |         |       |       |       |      |
| おける位置づけ)           | 施策の展開(項)【旅     | 色策】 2  | 緑を育てる林業経営の安定                         | È              |              |        |         |       |       |       |      |
|                    | 具体的な施策と内容      | 1      | 生産基盤の充実                              |                |              |        |         |       |       |       |      |
| 事務事業の目的            |                |        | 268kmについて、路面修繕、排z<br>関係通行車両の安全を図るもの。 | 水施設修           | §繕、安全施       | 設の設置   | 置、草刈り等  | を行い維  | 持管理L  | 、山林の  | 手入れ  |
| 争伤争未の日内            | 「マ木物の無山の/Ξα.   | が作業は   | 間は通り早间の女主を凶るもの。                      |                |              |        |         |       |       |       |      |
|                    |                |        | については、泉農林水産事務所                       |                |              |        |         |       |       |       | 務課で所 |
| 事務事業の概要            | 官している。通年予算<br> | 早として 修 | 繕費、工事請負費、草刈り業務委                      | <b>を</b> 計質、// | <b>京材料質等</b> | を計上し   | ・必要な時   | 明に随時報 | 乳行してい | いる。   |      |
| (全体事業の内容)          |                |        |                                      |                |              |        |         |       |       |       |      |
|                    |                |        |                                      |                |              |        |         |       |       |       |      |
| 根拠法令、要綱等           | 八代市林道規定        |        |                                      |                |              |        |         |       |       |       |      |
| 実施手法               | 全部直営           |        | 一部委託                                 |                | 全部委託         | £      | 法令による   | 実施義務  | 1 1   | 義務である | 3    |
| (該当欄を選択)           | ● その他(工事請      | 負、除草   | 業務委託                                 |                |              | )      | (該当欄    | を選択)  | ● 2 i | 義務では  | ない   |
| 事業期間               | 開始年度           |        | 合併前                                  |                | 終了年          | 度      |         |       | 未定    |       |      |

# (Do) 事務事業の実施

### 評価対象年度の事業の内容

対象 (誰・何を) 内容 (手段、方法等)

八代市が管理する林道67路線268kmを対象とする。

林道の除草作業については、地元および業者等と維持管理業務委託契約を 行い、7月から10月にかけて作業を実施している。 工事請負費、修繕費等については、落石、法面の小崩壊、倒木、路面修繕

等必要に応じて随時行っている。

成果目標 (どのような効果をもたらしたいのか)

山林へのアクセス道路である林道を常に車両通行可能な状態に維持管理し、 山林の管理、木材の搬出や一般車両通行の安全を確保する。また、一部路線 については、生活道路としても利用されており、住民生活の安定を同時に図る ものである。

# 事業開始時点からこれまでの状況変化等

林道除草作業委託については、地元委託と業者委託を併用して行っているが、地元労力の高齢化に伴い、業者委託の割合が徐々に高まっている。

|                         |                         |       | コスト推移               |    |            | 24年度決算     | 25年度決算     | 26年度予算     | 27年度見込     | 28年度見込     | 29年度見     |
|-------------------------|-------------------------|-------|---------------------|----|------------|------------|------------|------------|------------|------------|-----------|
| 総事                      | 業                       | ŧ     |                     | _  | 48,514,772 | 49,108,000 | 49,108,000 | 49,108,000 | 49,108,00  |            |           |
|                         | 事業                      | き 費 ( | (直接経費)              |    | (単位:円)     | 28,141,551 | 41,164,772 | 41,758,000 | 41,758,000 | 41,758,000 | 41,758,00 |
|                         |                         | 財     | 国県支出金               |    |            | 0          | 0          | 0          | 0          | 0          | 0         |
|                         |                         | 源     | 地方債                 |    |            | 0          | 11,500,000 | 10,000,000 | 10,000,000 | 10,000,000 | 10,000,00 |
|                         | 内<br>その他特定財源 (特別会計→繰入金) |       |                     |    |            | 0          | 0          | 0          | 0          | 0          | 0         |
|                         |                         | 八百    | 一般財源 (特別会計→事業収入)    |    |            | 28,141,551 | 29,664,772 | 31,758,000 | 31,758,000 | 31,758,000 | 31,758,00 |
|                         |                         |       | 人件費                 |    |            | 24年度       | 25年度       | 26年度見込     | 27年度見込     | 28年度見込     | 29年度見     |
|                         |                         | 概算    | [人件費(正規職員)          |    | (単位:円)     | _          | 7,350,000  | 7,350,000  | 7,350,000  | 7,350,000  | 7,350,00  |
|                         |                         | 正規    | 見職員従事者数             |    | (単位:人)     | _          | 1.05       | 1.05       | 1.05       | 1.05       | 1.05      |
| 臨時                      | <b>持職</b> 員             | 争     | 従事者数                |    | (単位:人)     | _          | 0.00       | 0.00       | 0.00       | 0.00       | 0.00      |
| 重                       |                         |       | 指標名                 | 単位 |            | 24年度       | 25年度       | 26年度       | 27年度       | 28年度       | 29年度      |
| 事業の                     | (1)                     | 林道    | 値舗装延長(林道維持費による舗装延長) |    | 計画         | -          | 437        | 400        | 400        | 400        | 400       |
| の                       | 0                       |       |                     |    | 実績         |            | 437        | -          | -          | -          | -         |
| ⅎ動                      | 2                       |       |                     |    | 計画         | -          |            |            |            |            |           |
| ,<br>量<br>·             | <b>(</b>                |       |                     |    | 実績         |            |            | ı          | -          | -          | _         |
| 舌 <b>协旨票</b><br>3活動量·実績 | 3                       |       |                     |    | 計画         | -          |            |            |            |            |           |
| 積                       | 3)                      |       |                     |    | 実績         |            |            | -          | -          | -          | -         |
| の数値                     | 〈記                      | 述欄    | 〉※数値化できない場合         |    |            |            |            |            |            |            |           |
| 値ル                      |                         |       |                     |    |            |            |            |            |            |            |           |

市内一円林道維持事業

|                         |          | 指標名           | 指標設定の考え方                    | 単位 |    | 24年度 | 25年度 | 26年度 | 27年度 | 28年度 | 29年度 |
|-------------------------|----------|---------------|-----------------------------|----|----|------|------|------|------|------|------|
|                         | 1        | 林道舗装率         | 林道全線に対する舗装率<br>(舗装済延長/全体延長) |    | 計画 | -    | 80.8 | 82   | 83.4 | 84.5 | 85.7 |
| もたらそう                   | $\odot$  |               |                             |    | 実績 | 76   | 80.8 | 1    | 1    | -    | ı    |
| そうとす                    | 2        |               |                             |    | 計画 | 1    |      |      |      |      |      |
| <b>成果指標</b><br>シとする効果・は | <b>J</b> |               |                             |    | 実績 |      |      | 1    | I    | -    | ı    |
| 成果の数値化                  | 3        |               |                             |    | 計画 | ı    |      |      |      |      |      |
| 化                       | 3        |               |                             |    | 実績 |      |      | -    | -    | -    | -    |
|                         | 〈記       | ·<br>述欄〉※数値化で | きない場合                       |    |    |      |      |      |      |      |      |

|                     |  | <mark>(Check) 事務事業の</mark> E                           |  |
|---------------------|--|--|--|
|                     | 着眼点  | チェック   | 判断理由   |
|                     | 【計画上の位置付け】<br>事業の目的が上位政策・施策に結び<br>つきますか  | ● 結びつく<br>一部結びつく<br>結びつかない                             | 林業生産基盤の充実に結びつく。  |
| 事業実施の<br><b>妥当性</b> | 【市民ニーズ等の状況】<br>市民ニーズや社会状況の変化により、<br>事業の役割が薄れていませんか                             | <ul><li>薄れていない</li><li>少し薄れている</li><li>薄れている</li></ul> | 林道は、市の管理道であり、通行車両の安全を確保するためにも維持管理を行っていく必要がある。                      |
|                     | 【市が関与する必要性】<br>市が事業主体であることは妥当です<br>か(国・県・民間と競合していません<br>か)                     | ● 妥当である<br>あまり妥当でない<br>妥当でない                           | 市管理林道の維持管理は、市の責務として行っていく。  |
| 活動内容の               | 【事業の達成状況】<br>① 成果目標の達成状況は順調に推移していますか   | ● 順調である<br>あまり順調ではない<br>順調ではない                         | 補助事業や起債事業により、舗装延長は着実に伸びてきている。                                      |
| 有効性                 | 【事業内容の見直し】<br>成果を向上させるため、事業内容を見<br>直す余地はありますか<br>(成果をこれ以上伸ばすことはできま<br>せんか)     | ● 見直しの余地はない<br>検討の余地あり<br>見直すべき                        | 森林へのアクセス道として、常時、車両通行可能な状態を確保しておくことが必要であり、草刈り、落石等の除去等の基本的な管理は有効である。 |
|                     | 【民間委託等】<br>民間委託、指定管理者制度の導入な<br>どにより、成果を下げずにコストを削減<br>することは可能ですか                | ● できない<br>検討の余地あり<br>可能である                             | 林道の草刈りは、年1回行っており、地元委託と業者委託を行い実施<br>している。また、林道維持工事は、必要に応じ行っている。     |
| 実施方法の               | 【他事業との統合・連携】<br>目的や形態が類似・関連する事業と<br>の統合・連携によりコストの削減は可<br>能ですか                  | ● できない<br>検討の余地あり<br>可能である                             | 類似、関連する事業はない。  |
| 効率性                 | 【人件費の見直し】<br>現状の成果を下げずに非常勤職員等<br>による対応その他の方法により、人件<br>費を削減することは可能ですか           | ● できない<br>検討の余地あり<br>可能である                             | 林道の道路状況把握は、市職員が行い、これに基づき維持管理を行う。                                   |
|                     | 【受益者負担の適正化】<br>事務事業の目的や成果から考えて、<br>受益者負担を見直す必要はあります<br>か(引上げ・引下げ・新たな負担・廃<br>止) | ● 見直しの余地はない<br>検討の余地あり<br>見直しが必要である                    | 林道の維持管理であり、受益者負担は求めるべきでない。   |

市内一円林道維持事業 Page 2 of 3

### (Action) 事務事業の方向性と改革改善 (今後の方向性の理由) 1 不要(廃止) 未舗装の林道に対する地元からの舗装化の要望は強く、従来からの維持管理に加え、補助事 2 民間実施 業の対象とならない箇所も、今後は、一般財源や起債による舗装整備を行っていく。 今後の 3 市による(民間委託の拡大・市民等との協働等) 方向性 (該当欄を選択) 4 市による実施(要改善) 5 市による実施(現行どおり) ● 6 市による実施(規模拡充) 今後の改革改善の取組と、もたらそうとする効果 林道の舗装化により、車両通行の安全性が高められ、大型林業機械の進入も容易なものとなり、作業性、生産性の向上が見込まれる。また、林 **改革改善内容** 道災害の減少と被害程度の軽減のためにも通常の点検、維持管理は重要であり、災害査定においては、著しく維持管理を怠ったとされるものに ついては、不採択となる規定があり、このようなことからも今後も除草をはじめ通常の巡視も充実させ車両通行の安全を確保していく。 改革改善による期待成果 外部評価の実施 コスト 実施年度 削減 維持 増加 H25進捗状況 改善進捗状況等 向上 H25取組内容 成 維持 低下 (委員からの意見等) 決算審査特別 特になし 委員会における 意見等

市内一円林道維持事業 Page 3 of 3

4250743

事務事業評価票

所管部長等名 農林水産部長 橋口 尚登 農林水産部 水産林務課

|                    |  |              | 171                                       | 日林"     | 水1       |        | 辰がん   | 八生 마_小 | 连作的        | 亦    |    |
|--------------------|--|--------------|---|---------|----------|--------|-------|--------|------------|------|----|
| 評価対象年度             | 平成25年度   |              | 課   | 長名      |          |        |       | 沖田     | 良三         |      |    |
|                    |  |              | (Plan) 事務事業                               | 事務事業の計画 |          |        |       |        |            |      |    |
|                    |  |              | 会計区分                                      |         | 01 一般会計  |        |       |        |            |      |    |
| 事務事業名              | 市内一円林道新  | 設改           | (良事業                                      |         | 款項目コード(詩 | 欠-項-目) | 05    | _      | 02         | _    | 04 |
|                    |  |              |   |         | 事業コード(大- | 中一小)   | 04    | _      | 12         | _    | 03 |
|                    | 基本目標(章)  | 4            | 豊かさとにぎわいのあるまち                             | )       |          |        |       |        |            |      |    |
| 施策の体系<br>(八代市総合計画に | 施策の大綱(節) 【政策   | 豊かな農林水産業のまちづ | <b>८</b> ५                                |         |          |        |       |        |            |      |    |
| おける位置づけ)           | 施策の展開(項) 【施第   | 安定           |   |         |          |        |       |        |            |      |    |
|                    | 具体的な施策と内容 1 生産基盤の充実                                    |              |   |         |          |        |       |        |            |      |    |
| 事務事業の目的            | 森林整備を行うための   | 林道開          | 設事業と県営林道事業実施に伴う                           | 地元      | 調整等を行い   | 事業のF   | 円滑な遂行 | を図るもの  | つである。      | >    |    |
| 争物争未の日的            |  |              |   |         |          |        |       |        |            |      |    |
|                    | 1. 林業専用道八竜山線開設事業(H25~H27)<br>2. 林業専用道菖蒲谷線開設事業(H26~H28) |              |   |         |          |        |       |        |            |      |    |
| 事務事業の概要            |  |              | 贸事業(H26~H28)<br>『業(H24~H33)に伴う地元説明、用地承諾事務 |         |          |        |       |        |            |      |    |
| (全体事業の内容)          | 4. 幹線林道菊池人吉約   | 泉開設          | 事業(H21~H38)実施に伴う関係を                       | 機関と     | の連絡調整、   | 用地買収   | 7等関係事 | 務      |            |      |    |
|                    |  |              |   |         |          |        |       |        |            |      |    |
| 根拠法令、要綱等           | 森林法  |              |   |         |          |        |       |        |            |      |    |
| 実施手法               | 全部直営   |              | 一部委託                                      |         | 全部委託     | £      | 法令による |        | <u>1</u>   | 義務であ | る  |
| (該当欄を選択)           | ● その他(工事請負   | 、測量          | 設計業務委託                                    |         |          | )      | (該当欄  | を選択)   | <b>•</b> 2 | 義務では | ない |
| 事業期間               | 開始年度   |              | 合併前                                       |         | 終了年      | 度      | •     | •      | 未定         | •    |    |

# (Do) 事務事業の実施 評価対象年度の事業の内容 対象 (誰・何を) 内容 (手段、方法等) 森林、林道 1. 林業専用道八竜山線開設事業 事業費10,000,200円(H24→H25繰越) (事業内容)測量設計業務委託 3,433,500円 工事請負費L=78.7m 6,566,700円 (財源)国県補助51% 5,100,000円、起債4,900,000円 成果目標 (どのような効果をもたらしたいのか) 林道開設事業の推進による路網整備を行い、搬出間伐などの森林整備の推 2.林道池之原走水線開設事業(県営)に伴う事業計画説明会の開催、土地使 進および林業生産コストの縮減を図る。 用承諾書の徴集。 3. 林道菊池人吉線開設事業に伴う関係機関との協議。

### 事業開始時点からこれまでの状況変化等

菊池人吉線については、旧緑資源機構が菊池市から相良村までの104kmを6工区に分割して、昭和50年から事業に着手。平成20年3月に緑資源機構が解散となるが、平成21年度から県が引き継ぎ山のみち地域づくり交付金事業として行うこととなる。平成19年度までに5区間が完成し、現在、矢部〜泉区間の24kmについて、矢部側において事業を行っている。事業に際しては、用地買収等を伴うことから八代市側においては、泉町の地籍調査の完了を待って平成 29年度から用地事務を実施予定。

|                 |            |       | コスト推移                 |      |        | 24年度決算    | 25年度決算     | 26年度予算     | 27年度見込     | 28年度見込     | 29年度見込     |
|-----------------|------------|-------|-----------------------|------|--------|-----------|------------|------------|------------|------------|------------|
| 総事              | <b>事業</b>  | 貴     |                       |      | (単位:円) | _         | 22,534,390 | 69,519,000 | 65,948,000 | 40,948,000 | 14,098,000 |
|                 | 事美         | き 費 ( | (直接経費)                |      | (単位:円) | 7,539,414 | 16,234,390 | 61,469,000 | 57,898,000 | 32,898,000 | 6,398,000  |
|                 |            | 財     | 国県支出金                 |      |        | 0         | 5,100,000  | 28,050,000 | 28,050,000 | 15,300,000 | 3,500,000  |
|                 |            | 源     | 地方債                   |      |        |           | 4,900,000  | 26,900,000 | 26,900,000 | 14,700,000 | 0          |
|                 |            | 内訳    | その他特定財源 (特別会計→繰入金)    |      |        | 0         | 0          | 0          | 0          | 0          | 0          |
|                 |            | 八百    | 一般財源 (特別会計→事業収入)      |      |        | 7,539,414 | 6,234,390  | 6,519,000  | 2,948,000  | 2,898,000  | 2,898,000  |
|                 |            |       | 人件費                   |      |        | 24年度      | 25年度       | 26年度見込     | 27年度見込     | 28年度見込     | 29年度見込     |
|                 |            | 概算    | 拿人件費(正規職員)            |      | (単位:円) | -         | 6,300,000  | 8,050,000  | 8,050,000  | 8,050,000  | 7,700,000  |
|                 |            | 正規    | 見職員従事者数               |      | (単位:人) | -         | 0.90       | 1.15       | 1.15       | 1.15       | 1.10       |
| 臨門              | 寺職貞        | 真等    | 従事者数                  |      | (単位:人) | _         | 0.00       | 0.00       | 0.00       | 0.00       | 0.00       |
| 事               |            |       | 指標名                   | 単位   |        | 24年度      | 25年度       | 26年度       | 27年度       | 28年度       | 29年度       |
| 業               |            |       | 表出始200m               |      | 計画     | -         | 100        | 1,430      | 980        | 650        |            |
| の<br>活          | 0          |       | 竜山線860m、菖蒲谷線2,300m)   | m    | 実績     |           | 78.7       | -          | -          | -          | -          |
| 活動量             | 2          | 県営    | 营林道菊池人吉線開設延長24,050m   | m    | 計画     | -         | 3,784      | 3,174      | 3,754      | 674        | 954        |
| 動量              | ۷          |       |                       | m    | 実績     | 1050      | 1,860      | -          | -          | -          | -          |
| <b>動指標</b> 量・実績 | 3          | 林道    | 道池之原走水線開設延長16,100m    |      | 計画     | -         | 0          | 600        | 990        |            |            |
|                 | 9          |       |                       | m    | 実績     | 0         | 0          | -          | -          | -          | -          |
| の<br>数          | 〈記         | 述欄    | 〉※数値化できない場合           |      |        |           |            |            |            |            |            |
| 値               | <b>③</b> ホ | 植     | 也之原走水線については、H28以降の計画カ | 「不明。 |        |           |            |            |            |            |            |

化

|                        |   | 指標名                    | 指標設定の考え方  | 単位 |    | 24年度 | 25年度 | 26年度 | 27年度 | 28年度 | 29年度 |
|------------------------|---|------------------------|---|----|----|------|------|------|------|------|------|
|                        | 1 | 林業専用道開<br>設実施率         | 林業専用道開設事業の計画<br>延長に対する実施延長<br>(累積実施延長/全体計画<br>延長) | %  | 計画 | -    | 3.2  | 48.4 | 79.4 | 100  |      |
| もたらそう                  |   |                        |   | 70 | 実績 |      | 2.5  | 1    | -    | -    | 1    |
| っそうとする                 | 2 | 県営林道菊池<br>人吉線開設実<br>施率 | 県営林道菊池人吉線開設事業の計画延長に対する実施延長<br>(累積実施延長/全体計画        | %  | 計画 | -    | 39.2 | 52.4 | 68   | 70.8 | 74.8 |
| <b>成果指標</b><br>とする効果・1 |   |                        | 延長)<br>H24までの実施済1,793m                            | 70 | 実績 | 7.5  | 15.2 | 1    | -    | 1    | 1    |
| 成果の数値                  | 3 | 林道池之原走<br>水線開設実施<br>率  | 林道池之原走水線開設事業<br>の計画延長に対する実施延<br>長<br>(累積実施延長/全体計画 | %  | 計画 | -    | 0    | 3.7  | 9.9  |      |      |
| 化                      | 3 |                        | 延長)   | 90 | 実績 | 0    | 0    | -    | -    | -    | -    |

〈記述欄〉※数値化できない場合

③林道池之原走水線については、H28以降の計画が不明。

|                     |   |  | (Check) 事務事業の  | 自己評価   |
|---------------------|---|--|--|--|
|                     |   | 着眼点  | チェック   | 判断理由   |
|                     | 1 | 【計画上の位置付け】<br>事業の目的が上位政策・施策に結び<br>つきますか  | ● 結びつく<br>一部結びつく<br>結びつかない                             | 林業生産基盤の充実に結びついている。   |
| 事業実施の<br><b>妥当性</b> | 2 | 【市民ニーズ等の状況】<br>市民ニーズや社会状況の変化により、<br>事業の役割が薄れていませんか                             | <ul><li>薄れていない</li><li>少し薄れている</li><li>薄れている</li></ul> | 地域からの要望を受けての林道開設事業であり、必要性はある。  |
|                     | 3 | 【本が明にする必要性】  | ● 妥当である<br>あまり妥当でない<br>妥当でない                           | 市が主体的に関わる部分と県が行うべき部分との棲み分けはできている。                                      |
| 活動内容の               | 1 | 【事業の達成状況】<br>成果目標の達成状況は順調に推移し<br>ていますか   | 順調である<br>● あまり順調ではない<br>順調ではない                         | 林道菊池人吉線開設事業(県営)については、計画どおりの事業予算が確保されないことから、予定の施行延長を実施することができないときもある状況。 |
| 有効性                 | 2 | 【事業内容の見直し】<br>成果を向上させるため、事業内容を見<br>直す余地はありますか<br>(成果をこれ以上伸ばすことはできま<br>せんか)     | 見直しの余地はない<br>● 検討の余地あり<br>見直すべき                        | 林道菊池人吉線開設事業(県営)については、計画期間がH21~H3<br>と長期におよび、予算確保の面から事業期間の延長も予想される。     |
|                     | 1 | 【民間委託等】<br>民間委託、指定管理者制度の導入な<br>どにより、成果を下げずにコストを削減<br>することは可能ですか                | ● できない<br>検討の余地あり<br>可能である                             | 県で行う事業と市で行う事業の分担を行っており、実施方法について<br>は、妥当である。                            |
| 実施方法の               | 2 | 【他事業との統合・連携】<br>目的や形態が類似・関連する事業と<br>の統合・連携によりコストの削減は可<br>能ですか                  | ● できない<br>検討の余地あり<br>可能である                             | 類似または、関連する事業はない。   |
| 効率性                 | 3 | 【人件費の見直し】<br>現状の成果を下げずに非常勤職員等<br>による対応その他の方法により、人件<br>費を削減することは可能ですか           | ● できない<br>検討の余地あり<br>可能である                             | 事業計画、現場監督等は、市職員で行う必要がある。   |
|                     | 4 | 【受益者負担の適正化】<br>事務事業の目的や成果から考えて、<br>受益者負担を見直す必要はあります<br>か(引上げ・引下げ・新たな負担・廃<br>止) | ● 見直しの余地はない<br>検討の余地あり<br>見直しが必要である                    | 市負担金については、事業実施にあたっての協定書に基づくものであり、妥当である。                                |

市内一円林道新設改良事業 Page 2 of 3

### (Action) 事務事業の方向性と改革改善 \_\_\_\_ (今後の方向性の理由) 1 不要(廃止) 森林1ha当たりの林道延長で示す林道密度は、6.66m/haとなっており、熊本県が掲げる林道密度の目標値である11.1m/haからすると約6割の整備率となり、今後も林業振興のために 2 民間実施 今後の 3 市による(民間委託の拡大・市民等との協働等) 継続した整備が必要である。 **方向性** (該当欄を選択) また、県営事業あるいは、県代行事業については、県との連絡を密にし、円滑な事業遂行のた 4 市による実施(要改善) め市としての役割を果たしていく必要がある。 ● 5 市による実施(現行どおり) 6 市による実施(規模拡充)

# 今後の改革改善の取組と、もたらそうとする効果

# 改革改善内容

林道等の整備事業については、長期わたることとなるが、完成に至れば事業効果は大であり、継続して市としての役割を果たしていく。

|    | 以中口 | 以音による | 9州付瓜: | <b>米</b> |
|----|-----|-------|-------|----------|
|    | /   |       | コスト   |          |
|    |     | 削減    | 維持    | 増加       |
|    | 向上  |       |       |          |
| 成果 | 維持  |       | •     |          |
|    | 低下  |       |       |          |

**北支北美に L 2 担任武田** 

| 夕             | 部評価の実施  | 有:外部評価(市民事業仕分け)                     | 実施年度   | 平成25年度    |
|---------------|---------|-------------------------------------|--------|-----------|
| 改             | H25進捗状況 | 3. 現状推進                             |        |           |
| <b>等進捗状況等</b> |         | 森林整備や林道事業の必要性について、市のホームページ・<br>行った。 | への掲載を行 | い、市民への広報を |

|                | (委員からの意見等) |
|----------------|------------|
|                | 特になし       |
| 委員会における<br>意見等 |            |
|                |            |

市内一円林道新設改良事業 Page 3 of 3

事務事業評価票

 所管部長等名
 農林水産部長
 橋口
 尚登

 所管課·係名
 農林水産部\_水産林務課

 課長名
 沖田
 息=

|                    |   |                             |                  | 及中外企作为       |              |        |        |       |       |       |      |
|--------------------|---|-----------------------------|------------------|--------------|--------------|--------|--------|-------|-------|-------|------|
| 評価対象年度             | 平成25年度  |                             | 課                | <b>長名</b>    |              |        |        | 沖田」   | 良三    |       |      |
|                    |   |                             | (Plan) 事務事       | 業の記          | 画            |        |        |       |       |       |      |
|                    |   |                             |                  |              | 会計区分 01 一般会計 |        |        |       |       |       |      |
| 事務事業名              | 市内漁港維持領   | 管理事                         | 業                |              | 款項目コード(詩     | 次-項-目) | 05     | _     | 03    | _     | 02   |
|                    |   |                             |                  |              | 事業コード(大-     | -中-小)  | 04     | _     | 13    | _     | 09   |
|                    | 基本目標(章)   | 4                           | 豊かさとにぎわいのあるまた    | 5            |              |        |        |       |       |       | ,    |
| 施策の体系<br>(八代市総合計画に | 施策の大綱(節) 【政                                     | D大綱(節)【政策】 1 豊かな農林水産業のまちづくり |                  |              |              |        |        |       |       |       |      |
| おける位置づけ)           | 施策の展開(項) 【施                                     | の展開(項)【施策】 3 豊かで安定した水産業の振興  |                  |              |              |        |        |       |       |       |      |
|                    | 具体的な施策と内容                                       |                             |                  |              |              |        |        |       |       |       |      |
|                    | 市管理漁港や船溜ま流通の効率化を図る                              |                             | の適切な維持管理及び整備を推   | 進する          | ことにより、漁      | 業者の    | 安全性・利伯 | 更性の向上 | を図ると  | ともに、  | 水産物  |
| 争伤争未の日的            | 派通の効率化を図る。                                      | 0                           |                  |              |              |        |        |       |       |       |      |
|                    |   |                             | ・植柳・二見)の維持管理を行うと |              |              |        |        |       |       |       |      |
| 事務事業の概要            | を行う。また、巾町村                                      | 合併に伴                        | い解散した八代市・千丁町排水処  | <b>心埋組</b> 1 | 合(一部事務)      | 祖合)の   | 引継さ事項  | である潮堰 | 等の官   | 埋∙清掃₹ | 上行つ。 |
| (全体事業の内容)          |   |                             |                  |              |              |        |        |       |       |       |      |
|                    |   |                             |                  |              |              |        |        |       |       |       |      |
| 根拠法令、要綱等           | <b>夏綱等</b> 漁港漁場整備法、八代市漁港管理条例、八代市水産業関係事業補助金等交付要綱 |                             |                  |              |              |        |        |       |       |       |      |
| 実施手法               | 全部直営  |                             | ● 一部委託           |              | 全部委託         | ŧ      | 法令による  | 実施義務  | ● 1 ậ | 義務であ? | 5    |
| (該当欄を選択)           | その他(  |                             |                  |              |              | )      | (該当欄   | を選択)  | 2     | 義務では? | ない   |
| 事業期間               | 開始年度  |                             | 合併前              |              | 終了年          | 度      |        |       | 未定    |       |      |

| (Do) 事務事   | <mark>I</mark> 業の実施  |
|--|--|
| 評価対象年度の  | )事業の内容   |
| 対象 (誰・何を)  | 内容 (手段、方法等)  |
| 漁港施設等  | ○漁港の維持管理<br>大鞘漁港の照明灯の修繕を行うとともに、八千把及び大島東船溜まりの修<br>繕に伴う原材料(生コン)を支給。  |
| 成果目標 (どのような効果をもたらしたいのか)<br>漁港施設等の適正な維持管理による漁業者及び船舶の安全確保。 | 〇船溜まり整備事業補助金<br>漁港機能の維持及び拡充を図るために漁協が実施する係留施設等の整備<br>に対して補助金(1/2、上限405千円)を交付。<br>・八千把: 桟橋取替、保安灯修理等<br>・鏡: 浮き桟橋スロープの更新 |
|  | ・千反:漁船洗浄機及び船台巻き上げ用ロープの更新<br>〇潮堰及び避難航路管理業務委託<br>八代市・千丁町排水処理組合の引継ぎ事項として、業務委託により、水無川<br>潮堰(12枚扉)等の管理や避難航路の清掃等を実施。       |

# 事業開始時点からこれまでの状況変化等

大雨時等に漁港施設等へ流入・漂着する生活系のごみや流木等の量が増えてきており、漁港施設としての機能が発揮されず、船舶の安全航行等に支障をきたす場合がある。なお、大鞘漁港及び植柳漁港については、施設の老朽化が進んでいることから、平成26年度から、別事業において、機能保全(長寿命化)計画を策定するとともに、以降、計画に基づき順次改修等を実施していく予定としている。

|                    |     | コスト推移            | 24年度決算 | 25年度決算    | 26年度予算    | 27年度見込    | 28年度見込    | 29年度見過    |           |           |
|--------------------|-----|------------------|--------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 事業                 | 養   |                  | _      | 2,603,690 | 6,758,000 | 6,758,000 | 6,758,000 | 6,758,000 |           |           |
| 事業費(直接経費) (単位:円)   |     |                  |        |           |           | 1,553,690 | 3,958,000 | 3,958,000 | 3,958,000 | 3,958,000 |
|                    | 財   | 国県支出金            |        |           | 0         | 0         | 0         | 0         | 0         | 0         |
|                    | 源   |                  |        |           | 0         | 0         | 0         | 0         | 0         | 0         |
|                    | 内訳  |                  |        |           | 0         | 0         | 0         | 0         | 0         | 0         |
|                    | ۵۸  | 一般財源 (特別会計→事業収入) |        |           | 1,884,149 | 1,553,690 | 3,958,000 | 3,958,000 | 3,958,000 | 3,958,00  |
|                    |     | 人件費              | 24年度   | 25年度      | 26年度見込    | 27年度見込    | 28年度見込    | 29年度見     |           |           |
| 概算人件費(正規職員) (単位:円) |     |                  |        |           | _         | 1,050,000 | 2,800,000 | 2,800,000 | 2,800,000 | 2,800,00  |
| 正規職員従事者数 (単位:人)    |     |                  |        |           | _         | 0.15      | 0.40      | 0.40      | 0.40      | 0.40      |
| 時職                 | 貴等  | <b>译</b> 從事者数    |        | (単位:人)    | -         | 0.00      | 0.83      | 0.83      | 0.83      | 0.83      |
|                    |     | 指標名              | 単位     |           | 24年度      | 25年度      | 26年度      | 27年度      | 28年度      | 29年度      |
| 1                  | 漁   | 港・船溜まり施設整備件数     | 件      | 計画        | -         | 3         | 3         | 3         | 3         | 3         |
| L                  |     |                  | П      | 実績        | 4         | 3         | -         | -         | -         | -         |
| 2                  | 0   |                  |        | 計画        | -         |           |           |           |           |           |
| L                  |     |                  |        | 実績        |           |           | -         | -         | -         | -         |
| 3                  | 9   |                  |        | 計画        | -         |           |           |           |           |           |
|                    |     |                  |        | 実績        |           |           | -         | -         | -         | _         |
| -                  | 記述相 | 闌〉※数値化できない場合     |        |           |           |           |           | _         | <u> </u>  | _         |

市内漁港維持管理事業 Page 1 of 3

止)

|             |    | 指標名              | 指標設定の考え方                           | 単位 |    | 24年度 | 25年度 | 26年度 | 27年度 | 28年度 | 29年度 |
|-------------|----|------------------|------------------------------------|----|----|------|------|------|------|------|------|
|             | 1  | 漁港施設内の<br>漁船事故件数 | 船舶航行及び荒天時の安全<br>が図られていると考えるた<br>め。 | 件  | 計画 | -    | 0    | 0    | 0    | 0    | 0    |
| もたらそう       |    |                  |                                    | 11 | 実績 | 0    | 0    | -    | -    | -    | -    |
| そうとす        | 2  |                  |                                    |    | 計画 | -    |      |      |      |      |      |
| <b>成果指標</b> | 2  |                  |                                    |    | 実績 |      |      | -    | -    | -    | -    |
| 成果の数値化      | 3  |                  |                                    |    | 計画 | -    |      |      |      |      |      |
| 花           | 3  |                  |                                    |    | 実績 |      |      | -    | -    | -    | -    |
|             | 〈記 | ·<br>述欄〉※数値化で    | きない場合                              |    |    |      |      |      |      |      |      |

|                     |   |  | <mark>(Check) 事務事業の</mark>                             | 自己評価   |
|---------------------|---|--|--|--|
|                     |   | 着眼点  | チェック   | 判断理由   |
|                     | 1 | 【計画上の位置付け】<br>事業の目的が上位政策・施策に結び<br>つきますか                                    | ● 結びつく<br>一部結びつく<br>結びつかない                             | 地域の漁業活動を支える基盤である漁港施設の維持管理を行い、漁業者の安全性・利便性の向上を図るものであり、総合計画に結びつくものである。  |
| 事業実施の<br><b>妥当性</b> | 2 | 【市民ニーズ等の状況】<br>市民ニーズや社会状況の変化により、<br>事業の役割が薄れていませんか                         | <ul><li>薄れていない</li><li>少し薄れている</li><li>薄れている</li></ul> | 漁港は、新鮮な水産物の安定生産・供給を図るための漁業活動を支える基盤として必要不可欠な施設であり、漁業者の安全性及び利便性等の向上が継続的に図られるよう管理していく必要がある。   |
|                     | 3 | 【市が関与する必要性】<br>市が事業主体であることは妥当です<br>か(国・県・民間と競合していません<br>か)                 | ● 妥当である<br>あまり妥当でない<br>妥当でない                           | 市管理漁港の安全性及び利便性の向上等を図っていくことは市の責務である。  |
| 活動内容の               | 1 | 【事業の達成状況】<br>成果目標の達成状況は順調に推移し<br>ていますか                                     | ● 順調である<br>あまり順調ではない<br>順調ではない                         | 緊急性に応じて、予算の範囲内で施設整備や維持管理を行っている<br>ところであり、近年は市管理漁港内で漁船の事故等はあっていない。  |
| 有効性                 | 2 | 【事業内容の見直し】<br>成果を向上させるため、事業内容を見<br>直す余地はありますか<br>(成果をこれ以上伸ばすことはできま<br>せんか) | ● 見直しの余地はない<br>検討の余地あり<br>見直すべき                        | 施設整備については、漁業者の安全性及び利便性等の向上が図られるよう漁協及び漁業者等と協議をしてきている。   |
|                     | 1 | 【民間委託等】<br>民間委託、指定管理者制度の導入な<br>どにより、成果を下げずにコストを削減<br>することは可能ですか            | できない<br>● 検討の余地あり<br>可能である                             | 漁港の維持管理に当たっては、漁協への管理委託も含め、効率的な<br>維持管理が図られるよう、今後、検討していく必要がある。  |
| 実施方法の               | 2 | 【他事業との統合・連携】<br>目的や形態が類似・関連する事業と<br>の統合・連携によりコストの削減は可<br>能ですか              | ● できない<br>検討の余地あり<br>可能である                             | 平成26年度から、これまで緊急雇用創出基金事業において実施していた臨時職員による漁港等の清掃作業を当該事業に統合した。  |
| 効率性                 | 3 | 【人件費の見直し】<br>現状の成果を下げずに非常勤職員等<br>による対応その他の方法により、人件<br>費を削減することは可能ですか       | できない<br>● 検討の余地あり<br>可能である                             | 漁港の維持管理に当たっては、漁協への管理委託も含め、効率的な<br>維持管理が図られるよう、今後、検討していく必要がある。  |
|                     | 4 | 【受益者負担の適正化】<br>事務事業の目的や成果から考えて、<br>受益者負担を見直す必要はあります<br>か(引上げ・引下げ・新たな負担・廃   | 見直しの余地はない<br>● 検討の余地あり<br>見直しが必要である                    | 船溜まり施設等の整備に対する補助については、事業費の1/2を受益者(漁協)が負担しているが、実際には漁獲量の減少や高齢化等により経営が厳しくなっており、現在の負担も重いとの声も挙がっていることから、水産振興を図る観点から、今後、負担割合の検討も必要である。 |

市内漁港維持管理事業 Page 2 of 3

要である。

### (Action) 事務事業の方向性と改革改善 (今後の方向性の理由) 1 不要(廃止) 市管理漁港の維持管理について、これまで緊急雇用創出基金事業において実施していた臨時 職員による漁港等の清掃作業を当該事業に統合するとともに、漁協への管理委託を見据えた 2 民間実施 今後の 3 市による(民間委託の拡大・市民等との協働等) 検討を行う。また、八代市・千丁町排水処理組合の引継ぎ事項については、その意義や目的を **方向性** (該当欄を選択) 改めて整理したうえで、事業の存続または実施方法に関して検討を行う。 ● 4 市による実施(要改善) 5 市による実施(現行どおり) 6 市による実施(規模拡充) 今後の改革改善の取組と、もたらそうとする効果 市管理漁港の効率的な維持管理方策について関係者と協議を進めるとともに、臨時職員による漁港施設等の清掃及び漂着物の除去等を当該 **改革改善内容** 事業において併せて実施することにより、維持管理の効率性を高め、漁港機能の向上を図る。 改革改善による期待成果 コスト 削減 維持 増加

| タ        | 部評価の実施  | 無 | 実施年度 |  |
|----------|---------|---|------|--|
| 改        | H25進捗状況 |   |      |  |
| · 善進捗状況等 | H25取組内容 |   |      |  |

|                   | (委員からの意見等) |
|-------------------|------------|
| 決算審査特別<br>委員会における | 寺になし       |
| 意見等               |            |

市内漁港維持管理事業 Page 3 of 3

事務事業評価票

 所管部長等名
 農林水産部長 橋口 尚登

 所管課・係名
 農林水産部\_水産林務課

 課長名
 沖田 良三

|   |             | 所目标: 陈石             |                                   |      |          |        |         |       |             |      |      |  |
|---|-------------|---------------------|-----------------------------------|------|----------|--------|---------|-------|-------------|------|------|--|
| 評価対象年度  | 平成25年度      |                     | Ē                                 | 課長名  |          |        |         | 沖田    | 良三          |      |      |  |
|   |             |                     | (Plan) 事務事                        | 業の記  | 画        |        |         |       |             |      |      |  |
|   |             |                     |                                   |      | 会計区      | 分      | 01 一般会計 |       |             |      |      |  |
| 事務事業名   | 治山事業        |                     |                                   |      | 款項目コード(赤 | 欠-項-目) | 05      | _     | 02          | _    | 05   |  |
|   |             |                     |                                   |      | 事業コード(大- | -中-小)  | 03      | _     | 23          | _    | 01   |  |
|   | 基本目標(章)     | 3                   | 安全で快適に暮らせるまち                      | 5    |          |        |         |       |             |      |      |  |
| 施策の体系   | 施策の大綱(節) 【政 | 策】 2 安全で安心のまちづくり    |                                   |      |          |        |         |       |             |      |      |  |
| (八代市総合計画に<br>おける位置づけ) 施策の展開(項) 【施策】 3 洪水・崖崩れ防止対策の促進 |             |                     |                                   |      |          |        |         |       |             |      |      |  |
|   | 具体的な施策と内容   | りな施策と内容 1 土砂災害防止の促進 |                                   |      |          |        |         |       |             |      |      |  |
| <b>東郊東米の日</b> め                                     | 山地災害から住民の   | 生命財産                | を守る                               |      |          |        |         |       |             |      |      |  |
| 事務事業の目的   |             |                     |                                   |      |          |        |         |       |             |      |      |  |
|   |             |                     | れ役割分担を決め事業を行って                    |      |          |        |         |       |             |      |      |  |
|   |             |                     | 実施に伴い必要となる保安林指別<br>る箇所の工事等を行っている。 | 定承諾( | の取付け及び   | 保安林以   | J外の比較i  | 的事業規模 | <b>漢の小さ</b> | な箇所で | あるが放 |  |
| (全体事業の内容)   |             |                     | ) <b>(</b>                        |      |          |        |         |       |             |      |      |  |
|   |             |                     |                                   |      |          |        |         |       |             |      |      |  |
| 根拠法令、要綱等  | 森林法、地すべり等防  | 止法                  |                                   |      |          |        |         |       |             |      |      |  |
| 実施手法  | 全部直営        |                     | 一部委託                              |      | 全部委託     | ŧ      | 法令による   | 実施義務  | ; 1 i       | 義務であ | る    |  |
| (該当欄を選択)  | ● その他(請負工事  | <b></b>             |                                   |      |          | )      | (該当欄    | を選択)  | <b>●</b> 2  | 義務では | ない   |  |
| 事業期間  | 開始年度        |                     | 合併前                               |      | 終了年      | 度      |         |       | 未定          |      |      |  |
|   |             |                     |                                   |      |          |        |         |       |             |      |      |  |

# (Do) 事務事業の実施

## 評価対象年度の事業の内容

対象 (誰・何を) 内容 (手段、方法等)

荒廃した森林を対象とする 平成25年度は、県で行う治山事業実施箇所の計画説明及び土地使用承諾、保安林指定承諾等の地元調整事務を行った。

成果目標 (どのような効果をもたらしたいのか)

土砂流出等が発生した箇所の復旧工事として、水路工および土留め擁壁工 等を施工することにより、被害箇所の復旧を行い、下方の民家、市道等の保 全を図る。

# 事業開始時点からこれまでの状況変化等

荒廃した森林の手当を行うことにより、森林の保全、山地災害の抑制が図られているが、豪雨等による自然災害は毎年のように発生しており、新たな治山事 業の必要箇所を生み出している。

| -                  |                  |    | コスト推移              |    | 24年度決算    | 25年度決算     | 26年度予算    | 27年度見込    | 28年度見込    | 29年度見     |           |
|--------------------|------------------|----|--------------------|----|-----------|------------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 総事                 | 業                | 貴  |                    | _  | 4,550,000 | 10,330,000 | 7,550,000 | 7,550,000 | 7,550,000 |           |           |
|                    | 事業費(直接経費) (単位:円) |    |                    |    |           |            | 0         | 5,780,000 | 3,000,000 | 3,000,000 | 3,000,000 |
|                    | 財                |    |                    |    |           |            | 0         | 2,890,000 | 1,500,000 | 1,500,000 | 1,500,000 |
|                    |                  | 源  | 地方債                |    |           | 0          | 0         | 2,800,000 | 1,500,000 | 1,500,000 | 1,500,00  |
|                    |                  | 内訳 | その他特定財源 (特別会計→繰入金) |    | 0         | 0          | 0         | 0         | 0         | 0         |           |
|                    |                  | 八百 | 一般財源 (特別会計→事業収入)   |    |           | 1,971,000  | 0         | 90,000    | 0         | 0         | 0         |
|                    |                  |    | 人件費                |    |           | 24年度       | 25年度      | 26年度見込    | 27年度見込    | 28年度見込    | 29年度見     |
| 概算人件費(正規職員) (単位:円) |                  |    |                    |    | -         | 4,550,000  | 4,550,000 | 4,550,000 | 4,550,000 | 4,550,00  |           |
| 正規職員従事者数 (単位:人)    |                  |    |                    |    |           | -          | 0.65      | 0.65      | 0.65      | 0.65      | 0.65      |
| 臨時                 | 職員               | 員等 | 従事者数               |    | (単位:人)    | -          | 0.00      | 0.00      | 0.00      | 0.00      | 0.00      |
| 重                  |                  |    | 指標名                | 単位 |           | 24年度       | 25年度      | 26年度      | 27年度      | 28年度      | 29年度      |
| 事業の                | (1)              | 整備 | 構箇所数(市事業)          |    | 計画        | -          | 1         | 1         | 1         | 1         | 1         |
| の                  | (1)              |    |                    |    | 実績        | 1          | 0         | -         | -         | -         | -         |
| 動                  | 2                | 治山 | ∐事業実施箇所数(県事業)      |    | 計画        | -          |           |           |           |           |           |
| 量                  | J)               |    |                    |    | 実績        |            |           | -         | -         | -         | -         |
| 3活動量・実績            | 3                |    |                    |    | 計画        | -          |           |           |           |           |           |
| <b>火</b> 主         | 3                |    |                    |    | 実績        |            |           | _         | _         | _         | -         |

|                         |   | 指標名              | 指標設定の考え方                     | 単位 |    | 24年度 | 25年度 | 26年度 | 27年度 | 28年度 | 29年度 |
|-------------------------|---|------------------|------------------------------|----|----|------|------|------|------|------|------|
|                         | 1 | 治山事業整備<br>率(市事業) | 整備率(治山事業実施箇所<br>数/治山事業必要箇所数) | %  | 計画 | ı    |      |      |      |      |      |
| もたら                     | U |                  |                              | 70 | 実績 |      | 0    | 1    | 1    | 1    | 1    |
| たらそうとす                  | 2 | 治山事業整備率(県事業)     | 整備率(治山事業実施箇所<br>数/治山事業必要箇所数) | 96 | 計画 | 1    |      |      |      |      |      |
| <b>成果指標</b><br>・とする効果・は | 2 |                  |                              | %  | 実績 |      |      | 1    | 1    | 1    | I    |
| 成果の数値                   | 3 |                  |                              |    | 計画 | ı    |      |      |      |      |      |
| 化                       | 9 |                  |                              |    | 実績 |      |      | -    | -    | -    | -    |

〈記述欄〉※数値化できない場合

<sup>1.</sup> 分母となる治山事業の必要全箇所数は、降雨等による荒廃箇所の発生により毎年、変動があるため。

|                     |  |  | (C | heck) 事務事業の自                      |  |
|---------------------|--|--|----|-----------------------------------|--|
|                     |  | 着眼点  |    | チェック                              | 判断理由   |
|                     | 1  | 【計画上の位置付け】<br>事業の目的が上位政策・施策に結び<br>つきますか  | •  | 結びつく<br>一部結びつく<br>結びつかない          | 合併後、八代市面積の74%を山林で占めることとなり、近年の局地的な豪雨による山地災害に対処するためにも治山事業の果たす役割は重要である。 |
| 事業実施の<br><b>妥当性</b> | 【市民ニーズ等の状況】<br>市民ニーズや社会状況の変化により、<br>事業の役割が薄れていませんか |  | •  | 薄れていない<br>少し薄れている<br>薄れている        | 山間部における山地災害の防災事業である治山事業は、毎年、市民<br>からの要望もあり必要な事業である。                  |
|                     | 3  | 【市が関与する必要性】<br>市が事業主体であることは妥当です<br>か(国・県・民間と競合していません<br>か)                     | •  | 妥当である<br>あまり妥当でない<br>妥当でない        | 県事業との連携を図りながら、県事業を補完する意味でも市が積極<br>的に関与していく必要がある。                     |
| 活動内容の               | 1  | 【事業の達成状況】<br>成果目標の達成状況は順調に推移し<br>ていますか   | •  | 順調である<br>あまり順調ではない<br>順調ではない      | 治山事業の必要箇所は、毎年のように発生し、市民生活の安全を図るためにも事業実施は有効に機能している。                   |
| 有効性                 | 2  | 【事業内容の見直し】<br>成果を向上させるため、事業内容を見<br>直す余地はありますか<br>(成果をこれ以上伸ばすことはできま<br>せんか)     | •  | 見直しの余地はない<br>検討の余地あり<br>見直すべき     | 県補助を受け行う事業であり、事前審査を経て事業を行っており、事<br>業内容を見直す余地はない。                     |
|                     | 1  | 【民間委託等】<br>民間委託、指定管理者制度の導入な<br>どにより、成果を下げずにコストを削減<br>することは可能ですか                |    | できない<br>検討の余地あり<br>可能である          | 設計積算、現場監督など市職員が主体的に行う業務である。  |
| 実施方法の               | 2  | 【他事業との統合・連携】<br>目的や形態が類似・関連する事業と<br>の統合・連携によりコストの削減は可<br>能ですか                  | •  | できない<br>検討の余地あり<br>可能である          | 土木で行う急傾斜地対策事業との連携を図ることが可能性としては<br>ある。                                |
| 効率性                 | 3  | 【人件費の見直し】<br>現状の成果を下げずに非常勤職員等<br>による対応その他の方法により、人件<br>費を削減することは可能ですか           | •  | できない<br>検討の余地あり<br>可能である          | 専門性の高い業務内容であり、非常勤職員による対応は不可能である。                                     |
|                     | 4  | 【受益者負担の適正化】<br>事務事業の目的や成果から考えて、<br>受益者負担を見直す必要はあります<br>か(引上げ・引下げ・新たな負担・廃<br>止) | •  | 見直しの余地はない<br>検討の余地あり<br>見直しが必要である | 住民の生命、財産を守るため、必要に迫られて行う事業であり、受益<br>者負担は相当でない。                        |

治山事業 Page 2 of 3

# (Action) 事務事業の方向性と改革改善 1 不要(廃止) 2 民間実施 3 市による(民間委託の拡大・市民等との協働等) 4 市による実施(要改善) ● 5 市による実施(現行どおり) 6 市による実施(規模拡充) →後の改革改善の取組と、もたらそうとする効果 山地災害発生時は、特に迅速な対応が必要となるが、県事業を実施する場合、保安林指定承諾が必要であり、山林所有者の早急な把握と事業実施に対する地権者の理解を求めていく必要がある。

| 改革改善による期待成果 |    |     |    |    |  |  |
|-------------|----|-----|----|----|--|--|
|             |    | コスト |    |    |  |  |
|             |    | 削減  | 維持 | 増加 |  |  |
| 成果          | 向上 |     |    |    |  |  |
|             | 維持 |     | •  |    |  |  |
|             | 低下 |     |    |    |  |  |

| 外部評価の実施 |         | 有:外部評価(市民事業仕分け) | 実施年度 | 平成23年度 |
|---------|---------|-----------------|------|--------|
| 改       | H25進捗状況 | 3. 現状推進         |      |        |
| ·善進捗状況等 | H25取組内容 |                 |      |        |

|                | (委員からの意見等) |
|----------------|------------|
| 決算審査特別         | 特になし       |
| 委員会における<br>意見等 |            |
|                |            |

治山事業 Page 3 of 3

## 事務事業評価票

所管部長等名 農林水産部長 橋口 尚登 正竺钾. 区夕 農林水产邨 水产林務理

|                    |   |   | ***                                  |   |          | /JR TH | 111/ <del>T</del> HI-11 | V) = 11111 | אאו ני |    |  |
|--------------------|---|---|--------------------------------------|---|----------|--------|-------------------------|------------|--------|----|--|
| 評価対象年度             | 平成25年度                                      |   | 課:                                   | 長名  |          |        | 沖田」                     | 是三         |        |    |  |
|                    |   |   | (Plan) 事務事業                          | きの計画 おおり かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい |          |        |                         |            |        |    |  |
|                    |   |   |                                      | 会計  | 区分       |        | 01 -                    | 一般会討       | †      |    |  |
| 事務事業名              | 森林整備事業                                      |   |                                      | 款項目コー                                       | ド(款-項-目) | 05     | _                       | 02         | _      | 02 |  |
|                    |   |   |                                      | 事業コード                                       | 大一中一小)   | 04     | _                       | 12         | _      | 10 |  |
|                    | 基本目標(章)                                     | 4   | 豊かさとにぎわいのあるまち                        |   |          |        |                         |            |        |    |  |
| 施策の体系<br>(八代市総合計画に | 施策の大綱(節) 【政                                 | (策】 1   | 豊かな農林水産業のまちづ                         | くり  |          |        |                         |            |        |    |  |
| おける位置づけ)           | 施策の展開(項) 【施                                 | 策】 2  | 緑を育てる林業経営の安定                         |   |          |        |                         |            |        |    |  |
|                    | 具体的な施策と内容                                   | 2   | 林業経営の安定                              |   |          |        |                         |            |        |    |  |
| <b>東郊東米の日</b> め    |   |   | さし、森林資源の造成と国土の保                      |   |          |        |                         |            |        |    |  |
| 事務事業の目的            | 体は公益的機能で有                                   | 有しており、このような森林の機能を適切に管理することによって、持続的かつ高度に発揮させることを目的とする。 |                                      |   |          |        |                         |            |        |    |  |
|                    | ・森林環境保全整備事業 国、県の補助に上乗せして八代森林組合及び県林業公社へ助成を実施 |   |                                      |   |          |        |                         |            |        |    |  |
| 事務事業の概要            |   |   | ₹施後、再造林を実施した個人に求<br>有者で管理している作業道に対して |   |          | 連搬費相当  | 額を助成                    |            |        |    |  |
| (全体事業の内容)          |   |   | いる作業道及び設備の修繕                         |   |          |        |                         |            |        |    |  |
|                    |   |   |                                      |   |          |        |                         |            |        |    |  |
| 根拠法令、要綱等           | 森林•林業基本法、森                                  | 林法、ハ  | 代市林業関係補助金等交付要綱                       | 、八代市原木生                                     | 産促進事     | 業補助金交  | 付要領                     |            |        |    |  |
| 実施手法               | ● 全部直営                                      |   | 一部委託                                 | 全部  | 委託       | 法令による  | 実施義務                    | 1 🛊        | 養務であ   | る  |  |
| (該当欄を選択)           | その他(  |   |                                      |   | )        | (該当欄   | を選択)                    | ● 2 1      | 義務では   | ない |  |
| 事業期間               | 開始年度  |   | 合併前                                  | 終了  | 年度       |        |                         | 未定         |        |    |  |
|                    |   |   |                                      |   |          |        |                         |            |        |    |  |

#### (Do) 事務事業の実施

評価対象年度の事業の内容 対象 (誰・何を) 内容 (手段、方法等) 森林所有者、森林組合、林業公社、作業道 •森林環境保全整備事業(補助金) 再造林、下刈、除間伐、搬出間伐、作業 道開設・改良の施行に対して森林組合及び林業公社へ助成を行う。 ・原木生産促進事業(補助金) 皆伐を実施後、再造林を実施した個人に対 成果目標 (どのような効果をもたらしたいのか) し、最大1ha相当分までの運搬費相当額を助成 ・作業道修繕 市管理の作業道等の修繕を直営で実施 ・生コン等原材料費 地元からの要望により未舗装の作業道に対し生コンを支 民有林において、植栽、下刈り、除・間伐等の一連の造林施業を計画的、効 果的に推進し、森林資源の充実、公益的機能の確保、林業従事者の雇用の 給する。労務は地元の森林所有者で行う。 安定、山村の産業振興を図る。 また、併せて作業道の整備を行い、森林整備を効率的に推進する。

#### 事業開始時点からこれまでの状況変化等

#### 森林環境保全整備事業補助金

平成24年度までの各年度の予算は42,000千円であったが、木材輸出、木質バイオマスの需要拡大及び国の事業拡大にあわせて平成25年度59,466千円、 平成26年度58,000千円と市としても増額し、取り組んでいる。

平成25年度までの名称は、流域公益保全林整備事業としていたが、平成26年度から現在の名称に改正した。

| _      |             |     | コスト推移              |    |        | 24年度決算     | 25年度決算     | 26年度予算     | 27年度見込     | 28年度見込     | 29年度見     |
|--------|-------------|-----|--------------------|----|--------|------------|------------|------------|------------|------------|-----------|
| 総事     | 業           | 貴   |                    |    | (単位:円) | _          | 79,018,108 | 80,511,000 | 80,510,000 | 80,510,000 | 80,510,00 |
|        | 事第          | ≹費( | (直接経費)             |    | (単位:円) | 51,197,376 | 74,608,108 | 76,101,000 | 76,100,000 | 76,100,000 | 76,100,00 |
|        |             | 財   | 国県支出金              |    |        | 0          | 0          | 0          | 0          | 0          | 0         |
|        |             | 源   | 地方債                |    |        | 0          | 0          | 0          | 0          | 0          | 0         |
|        |             | 内訳  | その他特定財源 (特別会計→繰入金) |    |        | 0          | 0          | 0          | 0          | 0          | 0         |
|        |             | 八百  | 一般財源 (特別会計→事業収入)   |    |        | 51,197,376 | 74,608,108 | 76,101,000 | 76,100,000 | 76,100,000 | 76,100,0  |
|        |             |     |                    |    |        | 24年度       | 25年度       | 26年度見込     | 27年度見込     | 28年度見込     | 29年度見     |
|        |             | 概算  | 拿人件費(正規職員)         |    | (単位:円) | -          | 4,410,000  | 4,410,000  | 4,410,000  | 4,410,000  | 4,410,00  |
|        |             | 正規  | 見職員従事者数            |    | (単位:人) | -          | 0.63       | 0.63       | 0.63       | 0.63       | 0.63      |
| 臨日     | <b>持職</b> 員 | 員等  | 従事者数               |    | (単位:人) | -          | 0.00       | 0.00       | 0.00       | 0.00       | 0.00      |
| 重      |             |     | 指標名                | 単位 |        | 24年度       | 25年度       | 26年度       | 27年度       | 28年度       | 29年度      |
| 事<br>業 | (1)         |     | 本事業面積              | ha | 計画     | -          | 600        | 735        | 800        | 800        | 800       |
| の      | 0           | (井  | 造林、下刈、除・間伐面積の合計)   | na | 実績     | 490        | 587        | -          | -          | -          | -         |
| 動      | 2           | 作第  | <b>業道開設延長</b>      |    | 計画     | -          | 6,200      | 6,733      | 6,000      | 6,000      | 6,000     |
| 量      | 2           |     |                    | m  | 実績     | 4,777      | 4,116      | -          | -          | -          | -         |
| 活動量・実績 | (a)         |     |                    |    | 計画     | -          |            |            |            |            |           |
| 幺書     | 3           |     |                    |    | 実績     |            |            | _          | _          | _          | _         |

森林整備事業 Page 1 of 3

|                         |    | 指標名           | 指標設定の考え方   | 単位 |    | 24年度 | 25年度 | 26年度 | 27年度 | 28年度 | 29年度 |
|-------------------------|----|---------------|--|----|----|------|------|------|------|------|------|
|                         | 1  | 造林事業面積<br>進捗率 | 5年を区切りとして平成29年<br>度までの計画総面積3,735ha<br>の進捗率を指標とした | %  | 計画 | -    | 16.1 | 35.7 | 57.2 | 78.6 | 100  |
| もたら                     | 0  |               | 5年を区切りとして平成29年                                   | 90 | 実績 | -    | 11   | -    | -    | -    | -    |
| たらそうとす                  | 2  | 作業道開設進<br>捗率  | 5年を区切りとして平成29年<br>度までの計画総延長30,933m<br>の進捗率を指標とした | %  | 計画 | ı    | 20   | 41.8 | 61.2 | 80.6 | 100  |
| <b>成果指標</b><br>・とする効果・t | ۷  |               |  | 90 | 実績 | -    | 13.3 | -    | -    | -    | -    |
| 成果の数値化                  | 3  |               |  |    | 計画 | -    |      |      |      |      |      |
| 花                       | 3  |               |  |    | 実績 |      |      | -    | -    | -    | -    |
|                         | 〈記 | 述欄〉※数値化で      | きない場合  |    | •  |      |      |      |      |      |      |

| •                   |  |  |  |
|---------------------|--|--|--|
|                     |  | <mark>(Check) 事務事業の</mark> 自                           |  |
|                     | 着眼点  | チェック   | 判断理由   |
|                     | 【計画上の位置付け】<br>事業の目的が上位政策・施策に結び<br>つきますか  | ● 結びつく<br>一部結びつく<br>結びつかない                             | 市総合計画において「林業経営の安定」ということで、重点施策のひとつとして掲載   |
| 事業実施の<br><b>妥当性</b> | 【市民ニーズ等の状況】<br>市民ニーズや社会状況の変化により、<br>事業の役割が薄れていませんか                               | <ul><li>薄れていない</li><li>少し薄れている</li><li>薄れている</li></ul> | 国、県が一体となって国土の保全、水源のかん養、地球温暖化防止等の森林の持つ多面的機能を維持するために行う事業であり、国、県においても森林整備については、重点的に取り組んでいる。         |
|                     | 【市が関与する必要性】<br>市が事業主体であることは妥当です<br>か(国・県・民間と競合していません<br>か)                       | ● 妥当である<br>あまり妥当でない<br>妥当でない                           | 国、県が一体となって国土の保全、水源のかん養、地球温暖化防止等の森林の持つ多面的機能を維持するために行う事業である。山林が総面積の70%以上を占めている八代市としては、積極的に取組む必要がある |
| 活動内容の               | 【事業の達成状況】<br>① 成果目標の達成状況は順調に推移していますか   | ● 順調である<br>あまり順調ではない<br>順調ではない                         | 毎年度当初の計画はほぼ達成している。   |
| 有効性                 | 【事業内容の見直し】<br>成果を向上させるため、事業内容を見<br>直す余地はありますか<br>(成果をこれ以上伸ばすことはできませんか)           | ● 見直しの余地はない<br>検討の余地あり<br>見直すべき                        | 人工林は成長に合わせてた管理が必要であり、森林所有者の高齢<br>化が進む中、補助事業を活用した森林整備は有効である。                                      |
|                     | 【民間委託等】<br>民間委託、指定管理者制度の導入などにより、成果を下げずにコストを削減することは可能ですか                          | ● できない<br>検討の余地あり<br>可能である                             | 事業の内容的に民間や指定管理者への委託等は適さない。   |
| 実施方法の               | 【他事業との統合・連携】<br>目的や形態が類似・関連する事業と<br>の統合・連携によりコストの削減は可能ですか                        | ● できない<br>検討の余地あり<br>可能である                             | 国の制度の改正に伴い、森林施業集約化等の見直しを行い集団的<br>に施行を行うことによる生産コストの軽減などの効率化が図られてき<br>ている。                         |
| 効率性                 | 【人件費の見直し】<br>現状の成果を下げずに非常勤職員等<br>による対応その他の方法により、人件<br>費を削減することは可能ですか             | ● できない<br>検討の余地あり<br>可能である                             | 補助金支給にかかる検査を行うなど事務の内容から非常勤職員等の対応は適さない。   |
|                     | 【受益者負担の適正化】<br>事務事業の目的や成果から考えて、<br>④ 受益者負担を見直す必要はあります<br>か(引上げ・引下げ・新たな負担・廃<br>止) | 見直しの余地はない<br>● 検討の余地あり<br>見直しが必要である                    | 受益者負担を減らすことによる森林整備の促進をひとつの目的としている。今後も検証を行いながら事業を進めていく。   |

森林整備事業 Page 2 of 3

成

維持

低下

#### (Action) 事務事業の方向性と改革改善 \_\_\_\_ (今後の方向性の理由) 1 不要(廃止) 木質バイオマス発電や輸出の増加により、今後ますます木材の需要拡大が予想される。平成25 年度に大幅な拡充を実施しており、当面は現行どおりで実施していきたい。 2 民間実施 今後の 3 市による(民間委託の拡大・市民等との協働等) **方向性** (該当欄を選択) 4 市による実施(要改善) ● 5 市による実施(現行どおり) 6 市による実施(規模拡充) 今後の改革改善の取組と、もたらそうとする効果 拡大する木材輸出や木質バイオマス等の需要に対応するため、平成26年3月に「八代地域森林整備・木材生産推進協定」を6者(八代森林組 **改革改善内容** 合、熊本県林業公社、日本製紙㈱、日本製紙㈱、協大県及び八代市)で締結した。 所有者の枠を超えて連携、協力することにより、低コストで安定的な森林整備、木材生産が可能となる。 改革改善による期待成果 外部評価の実施 実施年度 コスト 無 削減 維持 増加 H25進捗状況 改善進捗状況等 向上 H25取組内容

(委員からの意見等) 決算審査特別 特になし 委員会における 意見等

森林整備事業 Page 3 of 3

事務事業評価票

所管部長等名 農林水産部長 橋口 尚登

|                    |             |       | אלו              | 丌官誌 1 | <b></b>  |        | 長作り    | 八生司-小 | <u> 连怀的</u>  | i床    |      |
|--------------------|-------------|-------|------------------|-------|----------|--------|--------|-------|--------------|-------|------|
| 評価対象年度             | 平成25年度      |       | 誤                | 果長名   |          |        |        | 沖田    | 良三           |       |      |
|                    |             |       | (Plan) 事務事       | 業の計   | ·画       |        |        |       |              |       |      |
|                    |             |       |                  |       | 会計区      | 分      |        | 01    | 一般会詞         | 计     |      |
| 事務事業名              | 森林整備地域》     | 舌動支   | 援交付金事業           |       | 款項目コード(詩 | 次-項-目) | 05     | _     | 02           | _     | 02   |
|                    |             |       |                  |       | 事業コード(大- | -中-小)  | 04     | _     | 12           | _     | 12   |
|                    | 基本目標(章)     | 4     | 豊かさとにぎわいのあるます    | ち     |          |        |        |       |              |       |      |
| 施策の体系<br>(八代市総合計画に | 施策の大綱(節) 【政 | (策】 1 | 豊かな農林水産業のまちて     | づくり   |          |        |        |       |              |       |      |
| おける位置づけ)           | 施策の展開(項) 【施 | 策】 2  | 緑を育てる林業経営の安定     | È     |          |        |        |       |              |       |      |
|                    | 具体的な施策と内容   | 2     | 林業経営の安定          |       |          |        |        |       |              |       |      |
|                    | 森林経営計画作成及   | び森林が  | も業の集約化を支援することにより | り、将来  | にわたる持糸   | 売的な森   | 林経営と計  | 画的な施  | 業を定着         | fさせる。 |      |
| 事務事業の目的            |             |       |                  |       |          |        |        |       |              |       |      |
|                    |             |       | ては、①森林経営計画作成促進に  | に係る費  | 用②施業の    | 集約化σ   | )促進に係る | 費用③作  | 業路網          | の改良活  | 動に係る |
| 事務事業の概要            | 費用を補助対象として  | (事業を  | (すう。             |       |          |        |        |       |              |       |      |
| (全体事業の内容)          |             |       |                  |       |          |        |        |       |              |       |      |
|                    |             |       |                  |       |          |        |        |       |              |       |      |
| 根拠法令、要綱等           | 森林•林業基本法、森  | 林整備   | 地域活動支援交付金実施要領(農  | 農水省)  | 、八代市林業   | 関係補具   | 助金等交付  | 要項綱   |              |       |      |
| 実施手法               | 全部直営        |       | 一部委託             |       | 全部委託     | ŧ      | 法令による  | 実施義務  | <b>●</b> 1 i | 義務であ  | გ    |
| (該当欄を選択)           | ● その他(事業に対  | 対する助  | 成                |       |          | )      | (該当欄   | を選択)  | 2            | 義務では  | ない   |
| 事業期間               | 開始年度        |       | 平成17年度(合併後)      |       | 終了年      | 度      |        |       | 未定           |       |      |

# (Do) 事務事業の実施 評価対象年度の事業の内容 対象 (誰・何を) 内容 (手段、方法等) 森林所有者及び森林組合・林業公社 平成25年度は、事業取組みなし 成果目標 (どのような効果をもたらしたいのか) 森林経営計画の作成促進や、施業集約化の促進を図り、林業生産コストの縮 減や、林地残材の縮小を図り森林整備を推進する。 事業開始時点からこれまでの状況変化等

目標達成へ向け段階的に国の補助対象メニューが改正されている。18年度までは、「森林情報の収集活動」を支援。 19年度からは、追加して、「施業実施区域の明確化作業」及び「歩道の整備等」の支援制度を創設。 22年度のみの事業として、「森林の被害状況等の確認」に対し支援。

|23年度からは、①「森林経営計画作成促進」②「施業集約化の促進」③「作業路網の改良」の3事業。ただし、25年度のみ、③の事業休止

|                       |     |    | コスト推移              |     |        | 24年度決算     | 25年度決算 | 26年度予算     | 27年度見込     | 28年度見込     | 29年度見込     |
|-----------------------|-----|----|--------------------|-----|--------|------------|--------|------------|------------|------------|------------|
| 総                     | 事業領 | 費  |                    | (   | 単位:円)  | _          | 0      | 14,050,000 | 14,050,000 | 14,050,000 | 14,050,000 |
|                       | 事美  | 集費 | (直接経費)             | (   | 単位:円)  | 12,269,630 | 0      | 13,000,000 | 13,000,000 | 13,000,000 | 13,000,000 |
|                       |     | 財  | 国県支出金              |     |        | 10,361,474 | 0      | 9,750,000  | 9,750,000  | 9,750,000  | 9,750,000  |
|                       |     | 源  | 地方債                |     |        | 0          | 0      | 0          | 0          | 0          | 0          |
|                       |     | 内訳 | その他特定財源 (特別会計→繰入金) |     |        | 0          | 0      | 0          | 0          | 0          | 0          |
|                       |     | 八  | 一般財源 (特別会計→事業収入)   |     |        | 1,908,156  | 0      | 3,250,000  | 3,250,000  | 3,250,000  | 3,250,000  |
|                       |     |    | 人件費                |     |        | 24年度       | 25年度   | 26年度見込     | 27年度見込     | 28年度見込     | 29年度見込     |
|                       |     | 概算 | 章人件費(正規職員)         |     | (単位:円) | _          | 0      | 1,050,000  | 1,050,000  | 1,050,000  | 1,050,000  |
|                       |     | 正規 | 見職員従事者数            |     | (単位:人) | _          | 0.00   | 0.15       | 0.15       | 0.15       | 0.15       |
| 臨                     | 寺職貞 | 員等 | 従事者数               |     | (単位:人) | _          | 0.00   | 0.00       | 0.00       | 0.00       | 0.00       |
| 事                     |     |    | 指標名                | 単位  |        | 24年度       | 25年度   | 26年度       | 27年度       | 28年度       | 29年度       |
| 事<br>業<br>の           | 1   | 事為 | 費                  | 千円  | 計画     | -          | 13,000 | 13,000     | 13,000     | 13,000     | 13,000     |
| の活                    |     |    |                    | 111 | 実績     | 12,267     | 0      | -          | -          | -          | -          |
| 活動                    | 2   |    |                    |     | 計画     | -          |        |            |            |            |            |
| 動量                    |     |    |                    |     | 実績     |            |        | -          | -          | -          | -          |
| <b>活動指標</b><br>活動量・実績 | 3   |    |                    |     | 計画     | -          |        |            |            |            |            |
| <b>保</b> 績            |     |    |                    |     | 実績     |            |        | -          | _          | -          | _          |
| 数                     | 〈記  | 述欄 | ₿⟩※数値化できない場合       |     |        |            |        |            |            |            |            |
| 値化                    |     |    |                    |     |        |            |        |            |            |            |            |

|                         |            | 指標名           | 指標設定の考え方                      | 単位  |    | 24年度 | 25年度  | 26年度   | 27年度   | 28年度   | 29年度   |
|-------------------------|------------|---------------|-------------------------------|-----|----|------|-------|--------|--------|--------|--------|
|                         | 1          | 森林経営計画認定率     | 国の目標とするH28年度の認<br>定率50%を指標に設定 | %   | 計画 | -    | 10    | 30     | 40     | 50     | 51     |
| もたらそう                   | <b>(</b> ) |               | 371中亩/- L    修山  + 王雄         | 90  | 実績 |      |       | -      | -      | -      | -      |
| そうとす                    | 2          | 森林経営計画認定面積    | 認定率により算出した面積                  | ha  | 計画 | -    | 4,026 | 12,158 | 16,210 | 20,263 | 20,500 |
| <b>成果指標</b><br>・とする効果・t | 2          |               |                               | IIa | 実績 | 354  | 1,824 | -      | -      | -      | -      |
| 成果の数値化                  | 3          | 作業路網の改<br>良延長 |                               |     | 計画 | -    | 0     | 3,600  | 3,600  | 3,600  | 3,600  |
| 化                       | 3          |               |                               | m   | 実績 | -    | 0     | -      | -      | -      | -      |
|                         | 〈記         | -<br>述欄〉※数値化で | きない場合                         |     |    |      |       |        |        |        |        |

|                             |   |  | (Check) 事務事業の  | 自己輕価  |
|-----------------------------|---|--|--|---|
|                             |   |  | チェック   | 判断理由  |
|                             | 1 | 【計画上の位置付け】<br>事業の目的が上位政策・施策に結び<br>つきますか  | ● 結びつく<br>一部結びつく<br>結びつかない                             | 市総合計画において、重点項目「林業経営の安定」の施策に結びつく                                   |
| 事業実施 <i>の</i><br><b>妥当性</b> | 2 | 【市民ニーズ等の状況】<br>市民ニーズや社会状況の変化により、<br>事業の役割が薄れていませんか                             | ● 薄れていない<br>少し薄れている<br>薄れている                           | 国、県、市町村が一体となって取り組んでいる事業であり、役割は重要である。                              |
|                             | 3 | 【市が関与する必要性】<br>市が事業主体であることは妥当です<br>か(国・県・民間と競合していません<br>か)                     | <ul><li>妥当である</li><li>あまり妥当でない</li><li>妥当でない</li></ul> | 国の要綱等で定められており、市の関与は不可欠である。  |
| 活動内容の                       | 1 | 【事業の達成状況】<br>成果目標の達成状況は順調に推移し<br>ていますか   | 順調である<br>● あまり順調ではない<br>順調ではない                         | 県内で最大の林野面積を有していることもあり、県内の他地域と比較<br>して順調とはいえない。                    |
| 有効性                         | 2 | 【事業内容の見直し】<br>成果を向上させるため、事業内容を見<br>直す余地はありますか<br>(成果をこれ以上伸ばすことはできま<br>せんか)     | 見直しの余地はない<br>● 検討の余地あり<br>見直すべき                        | 制度内容(事業のメニュー等)が毎年のように改正され、計画が立てにくい点があるが、市としては実施主体に、できる限りの支援を行いたい。 |
|                             | 1 | 【民間委託等】<br>民間委託、指定管理者制度の導入な<br>どにより、成果を下げずにコストを削減<br>することは可能ですか                | ● できない<br>検討の余地あり<br>可能である                             | 国の規定(要綱等)により不可能である。   |
| 実施方法の                       | 2 | 【他事業との統合・連携】<br>目的や形態が類似・関連する事業と<br>の統合・連携によりコストの削減は可<br>能ですか                  | ● できない<br>検討の余地あり<br>可能である                             | 制度の条件的に有利な事業であり、現在のところ検討の余地はない。                                   |
| 効率性                         | 3 | 【人件費の見直し】<br>現状の成果を下げずに非常勤職員等<br>による対応その他の方法により、人件<br>費を削減することは可能ですか           | <ul><li>できない<br/>検討の余地あり<br/>可能である</li></ul>           | 補助金支給に係る検査を行うなど、事務の内容から非常勤職員等の対応は適さない。                            |
|                             | 4 | 【受益者負担の適正化】<br>事務事業の目的や成果から考えて、<br>受益者負担を見直す必要はあります<br>か(引上げ・引下げ・新たな負担・廃<br>止) | ● 見直しの余地はない<br>検討の余地あり<br>見直しが必要である                    | 国の規定(要綱等)により不可能である。   |

|       |                    |      |     |        |           |     |     | (Acti            | on)事務事業の方向性と改革改善                            |  |  |  |  |  |  |  |
|-------|--------------------|------|-----|--------|-----------|-----|-----|------------------|---|--|--|--|--|--|--|--|
|       |                    |      |     | 1 不要(  | 廃止)       |     |     |                  | (今後の方向性の理由)                                 |  |  |  |  |  |  |  |
|       |                    |      |     | 2 民間第  | <b>尾施</b> |     |     |                  | H26年度は要綱の改正で、本市に適する事業メニューとなったため、取組みを復活したい。  |  |  |  |  |  |  |  |
|       | 今後の                |      |     | 3 市による | る(民間委     | 托の抗 | 広大・ | 市民等との協働等         | 5)  |  |  |  |  |  |  |  |
|       | <b>方向性</b><br>当欄を選 |      |     | 4 市によ  | る実施(      | 要改  | (善) |                  |   |  |  |  |  |  |  |  |
| ,,,,, |                    |      |     | 5 市によ  | る実施(      | 現行  | どお  | IJ)              |   |  |  |  |  |  |  |  |
|       |                    |      | •   | 6 市によ  | る実施(      | 規模  | 拡充  | ()               |   |  |  |  |  |  |  |  |
|       |                    |      |     |        |           |     |     |                  | 今後の改革改善の取組と、もたらそうとする効果                      |  |  |  |  |  |  |  |
| -L-t  | + -L -+ -          |      |     |        |           |     |     |                  | するためには、森林経営計画が不可欠であるため、この事業以外でも森林組合等と協力して認定 |  |  |  |  |  |  |  |
| 叹与    | P以晋V               | A CA | 面積  | を増やし   | していく施     | 東に  | -取り | 組む必要がある          | <b>5</b> .                                  |  |  |  |  |  |  |  |
|       |                    |      |     |        |           |     |     |                  |   |  |  |  |  |  |  |  |
|       | 改革改                | 女善(  | こよる | 5期待成   | 果         |     |     |                  |   |  |  |  |  |  |  |  |
|       |                    |      |     | コスト    |           |     | 外   | 部評価の実施           | 実施年度  |  |  |  |  |  |  |  |
|       |                    | 削    | 減   | 維持     | 増加        |     | 改   | H25進捗状況          |   |  |  |  |  |  |  |  |
|       | 可干                 |      |     |        |           |     | 善進  |                  |   |  |  |  |  |  |  |  |
|       | ЫT                 |      |     |        |           |     | 掺状  | H25取組内容          |   |  |  |  |  |  |  |  |
| 成果    | 維持                 |      |     |        |           |     | 況   | 11204次4位173台     |   |  |  |  |  |  |  |  |
| 果     | 小肚 7寸              |      |     |        |           |     | *   |                  |   |  |  |  |  |  |  |  |
|       | 低下                 |      |     |        |           |     |     |                  |   |  |  |  |  |  |  |  |
|       | 125 1              |      |     |        |           |     |     |                  | (委員からの意見等)                                  |  |  |  |  |  |  |  |
|       |                    |      |     |        |           |     |     | 算審査特別 特<br>会における | 打なし   |  |  |  |  |  |  |  |
|       |                    |      |     |        |           |     | 25  | 音目生              |   |  |  |  |  |  |  |  |

No 4250722

事務事業評価票

 所管部長等名
 農林水産部長
 橋口
 尚登

 所管課・係名
 農林水産部\_水産林務課

 課長名
 沖田
 良三

|                      |                                    |      | 17  |            | IK 1     |        | 灰仆小           | 注 ロレーノノンド | エイヤイカロ | <b>*</b> |      |
|----------------------|------------------------------------|------|---|------------|----------|--------|---------------|-----------|--------|----------|------|
| 評価対象年度               | 平成25年度                             |      | 詩   | <b>果長名</b> |          |        |               | 沖田」       | 良三     |          |      |
|                      |                                    |      | (Plan) 事務事  | 業の記        | 画        |        |               |           |        |          |      |
|                      |                                    |      |   |            | 会計区      | 分      |               | 01 -      | 一般会言   | †        |      |
| 事務事業名                | 水産基盤整備交                            | を付金  | 事業  |            | 款項目コード(素 | 欠-項-目) | 05            | _         | 03     | _        | 02   |
|                      |                                    |      |   |            | 事業コード(大- | -中-小)  | 04            | _         | 13     | _        | 08   |
|                      | 基本目標(章)                            | 4    | 豊かさとにぎわいのあるま  | ち          |          |        |               |           |        |          |      |
| 施策の体系<br>(八代市総合計画に   | 施策の大綱(節) 【政策                       | 策】 1 | 豊かな農林水産業のまちて  | づくり        |          |        |               |           |        |          |      |
| おける位置づけ)             | 施策の展開(項) 【施第                       | 策】 3 | 豊かで安定した水産業の扱  | 長興         |          |        |               |           |        |          |      |
|                      | 具体的な施策と内容                          | 1    | 生産基盤・環境の整備  |            |          |        |               |           |        |          |      |
| 事務事業の目的              | 熊本県の交付金(単県<br>営の安定及び漁獲量の           |      | 活用し、水産業共同利用施設の<br>・図る。                              | 整備及        | び漁場環境の   | の保全・さ  | <b>改善に資する</b> | る事業を実     | 施する    | ことにより    | 、漁業経 |
| 事務事業の概要<br>(全体事業の内容) | 〇漁港漁場整備分                           | (産業共 | }<br>同利用施設の整備に対し、市が <sub>-</sub><br>直営又は補助により、漁場環境の |            |          |        |               |           |        | ≨の事業を    | 実施す  |
| 根拠法令、要綱等             | 水産基盤整備交付金事業実施要領、八代市水産業関係事業補助金等交付要綱 |      |   |            |          |        |               |           |        |          |      |
| 実施手法                 | 全部直営                               |      | ● 一部委託  |            | 全部委託     | ŧ      | 法令による         |           | 1 1    | 養務である    | 5    |
| (該当欄を選択)             | その他(                               |      |   |            |          | )      | (該当欄          | を選択)      | ● 2    | 養務では     | ない   |
| 事業期間                 | 開始年度                               | •    | 平成22年度  |            | 終了年      | 度      |               | •         | 未定     |          |      |
|                      |                                    |      |   |            |          |        |               |           |        |          |      |

| (Do)事務   | 事業の実施   |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|--|---|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|
| 評価対象年度の事業の内容   |   |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 対象 (誰・何を)  ○事業に取り組む漁協 ○漁場  成果目標 (どのような効果をもたらしたいのか) 水産基盤の整備や水産資源の回復、漁獲量の増加による漁家経営の安定。 | 内容 (手段、方法等) (水産業共同利用施設整備分) 漁協等が実施する水産業共同利用施設の整備に対し、市が上乗せ補助を 実施する。(県:1/3、市:1/6、漁協:1/2) ・鏡町漁協漁業調査指導船購入に対する1/2補助 ・八代漁協増殖センター遮光ネット改修に対する1/2補助 (漁港漁場整備分) 交付金の範囲内において、直営又は補助により、漁場環境の保全・改善及び水産資源の回復を図るため、干潟耕うん等の事業を実施する。・アサリ稚貝着底促進事業(直営) ・耕うん事業事前調査に対する補助 ※耕うん事業については、平成26年度へ繰越 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |   |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |

## 事業開始時点からこれまでの状況変化等

平成23年6月の大雨災害によりアサリが大量死滅するなど、本市の水産業を取り巻く環境が依然として厳しい状況の中、平成24年度には当該交付金(漁港 漁場整備分)を活用して、アサリの放流や漁場改善用水流ポンプを購入するなど、主にアサリの資源回復に主眼を置いた対策を実施してきている。

|        |          |    | コスト推移  |     | 24年度決算 | 25年度決算    | 26年度予算    | 27年度見込    | 28年度見込    | 29年度見记    |           |
|--------|----------|----|--|-----|--------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 総事     | 業費       | Ì  |  | 1   | (単位:円) | _         | 5,949,180 | 9,470,000 | 4,450,000 | 4,450,000 | 4,450,000 |
|        | 事業       | 費( | (直接経費)   | (   | (単位:円) | 6,600,000 | 4,199,180 | 7,020,000 | 2,000,000 | 2,000,000 | 2,000,000 |
|        |          | 財  | 国県支出金  |     |        | 5,550,000 | 3,469,000 | 7,020,000 | 2,000,000 | 2,000,000 | 2,000,000 |
|        |          | 源  | 地方債  |     |        | 0         | 0         | 0         | 0         | 0         | 0         |
|        |          | 内訳 | その他特定財源 (特別会計→繰入金)   |     |        | 0         | 0         | 0         | 0         | 0         | 0         |
|        |          | 八百 | 一般財源 (特別会計→事業収入)   |     |        | 1,050,000 | 730,180   | 0         | 0         | 0         | 0         |
|        |          |    | 人件費  |     |        | 24年度      | 25年度      | 26年度見込    | 27年度見込    | 28年度見込    | 29年度見辺    |
|        |          | 概算 | 拿人件費(正規職員)   |     | (単位:円) | -         | 1,750,000 | 2,450,000 | 2,450,000 | 2,450,000 | 2,450,000 |
|        |          | 正規 | 見職員従事者数  |     | (単位:人) | -         | 0.25      | 0.35      | 0.35      | 0.35      | 0.35      |
| 臨時     | 職員       | 等  | 従事者数   |     | (単位:人) | _         | 0.00      | 0.00      | 0.00      | 0.00      | 0.00      |
| 事,     |          |    | 指標名  | 単位  |        | 24年度      | 25年度      | 26年度      | 27年度      | 28年度      | 29年度      |
| 業の     | (1)      | 交付 | 付金を活用した水産基盤施設等の整備件数  | 件   | 計画     | -         | 2         | 2         | 2         | 2         | 2         |
| のほ     | <b>①</b> |    |  | 117 | 実績     | 2         | 2         | -         | -         | -         | -         |
| 活動量    |          |    | 寸金を活用したアサリの資源回復に関する<br>、<br>、<br>、<br>、<br>、<br>、<br>、<br>、<br>、<br>、<br>、<br>、<br>、 | 件   | 計画     | -         | 2         | 1         | 1         | 1         | 1         |
| 量      | -        |    | を行数(アリリ放派、惟兵沈眉促進、漁場の)<br>5ん等)  | IT  | 実績     | 2         | 1         | 1         | -         | 1         | -         |
| 量・実績   | 3        |    |  | •   | 計画     | -         |           | ·         |           |           |           |
|        | 9        |    |  |     | 実績     |           |           | -         | -         | -         | -         |
| の<br>数 | 〈記i      | 朮欄 | 〉※数値化できない場合  |     |        |           |           |           |           |           |           |
| 値ル     |          |    |  |     |        |           |           |           |           |           |           |

水産基盤整備交付金事業 Page 1 of 3

|                         |     | 指標名    | 指標設定の考え方   | 単位 |    | 24年度 | 25年度 | 26年度 | 27年度 | 28年度 | 29年度 |
|-------------------------|-----|--------|--|----|----|------|------|------|------|------|------|
|                         | (1) | アサリ漁獲量 | 当該事業は、アサリの資源回復に関する事業が多く、アサリの水揚げにより漁業所得の安定・向上が図られると考えるため。 | シ  | 計画 | -    | 100  | 300  | 600  | 800  | 900  |
| もたらそう                   |     |        | <i>⊕</i> 1200°   | 1  | 実績 | 5    |      | -    | -    | -    | -    |
| そうとす                    | 2   |        |  |    | 計画 | ı    |      |      |      |      |      |
| <b>成果指標</b><br>・とする効果・は |     |        |  |    | 実績 |      |      | 1    | 1    | 1    | -    |
| 成果の数値                   | 3   |        |  |    | 計画 | -    |      |      |      |      |      |
| 化                       |     |        |  |    | 実績 |      |      | -    | -    | -    | -    |

〈記述欄〉※数値化できない場合

平成25年度実績については、未だ統計データが公表されていない。 (参考:アサリ漁獲量)H22:628トン、H23:213トン(平成23年6月の大雨によりアサリが大量死)

|                     |   |  | (C | heck) 事務事業の自                      | 己評価  |
|---------------------|---|--|----|-----------------------------------|--|
|                     |   | 着眼点  |    | チェック                              | 判断理由   |
|                     | 1 | 【計画上の位置付け】<br>事業の目的が上位政策・施策に結び<br>つきますか  | •  | 結びつく<br>一部結びつく<br>結びつかない          | 県交付金(単県補助)を活用して水産業共同利用施設の整備や漁場環境を保全・改善に取り組むものであり、総合計画に結びつくものである。   |
| 事業実施の<br><b>妥当性</b> | 2 | 【市民ニーズ等の状況】<br>市民ニーズや社会状況の変化により、<br>事業の役割が薄れていませんか                             | •  | 薄れていない<br>少し薄れている<br>薄れている        | 平成23年6月の大雨災害によりアサリが大量死するなど、本市の水産業を取り巻く環境は依然として厳しい状況が続いているが、アサリの資源回復・漁獲量の増大は本市の水産振興に不可欠である。   |
|                     | 3 | 【市が関与する必要性】<br>市が事業主体であることは妥当です<br>か(国・県・民間と競合していません<br>か)                     | •  | 妥当である<br>あまり妥当でない<br>妥当でない        | 県交付金(単県補助)を活用した補助事業であり、要領の規定により<br>市が関与せざるを得ない。  |
| 活動内容の               | 1 | 【事業の達成状況】<br>成果目標の達成状況は順調に推移し<br>ていますか   | •  | 順調である<br>あまり順調ではない<br>順調ではない      | 平成23年6月の大雨によるアサリの大量死以降、アサリの水揚げがない状況が続いていたが、平成26年4月から、一部の地先において、アサリ復活の兆しが見えつつある。  |
| 有効性                 | 2 | 【事業内容の見直し】<br>成果を向上させるため、事業内容を見<br>直す余地はありますか<br>(成果をこれ以上伸ばすことはできま<br>せんか)     |    | 見直しの余地はない<br>検討の余地あり<br>見直すべき     | 毎年度、事業内容を検討・精査しながら、漁業者や漁協の要望及び<br>各漁場の状況に即した事業を実施している。   |
|                     | 1 | 【民間委託等】<br>民間委託、指定管理者制度の導入な<br>どにより、成果を下げずにコストを削減<br>することは可能ですか                |    | できない<br>検討の余地あり<br>可能である          | 県交付金(単県補助)を活用した補助事業であるため困難である。   |
| 実施方法の               | 2 | 【他事業との統合・連携】<br>目的や形態が類似・関連する事業と<br>の統合・連携によりコストの削減は可<br>能ですか                  | •  | できない<br>検討の余地あり<br>可能である          | 県交付金(単県補助)を活用した補助事業であるため困難である。   |
| 効率性                 | 3 | 【人件費の見直し】<br>現状の成果を下げずに非常勤職員等<br>による対応その他の方法により、人件<br>費を削減することは可能ですか           | •  | できない<br>検討の余地あり<br>可能である          | 県交付金(単県補助)を活用した補助事業であるため困難である。   |
|                     | 4 | 【受益者負担の適正化】<br>事務事業の目的や成果から考えて、<br>受益者負担を見直す必要はあります<br>か(引上げ・引下げ・新たな負担・廃<br>止) | •  | 見直しの余地はない<br>検討の余地あり<br>見直しが必要である | 補助事業については、基本的には、事業費の1/2を受益者(漁協)が<br>負担しているが、実際には漁獲量の減少や高齢化等により経営が厳<br>しくなっており、現在の負担も重いとの声も挙がっていることから、水<br>産振興を図る観点から、今後、負担割合の検討も必要である。 |

水産基盤整備交付金事業 Page 2 of 3

#### (Action) 事務事業の方向性と改革改善 (今後の方向性の理由) 1 不要(廃止) 本市の水産振興にか欠かせない種苗供給施設の整備や水産資源回復に資する事業であること から、今後も引き続き、熊本県水産基盤整備交付金を活用し、基盤整備やアサリ等の資源回復 2 民間実施 今後の 3 市による(民間委託の拡大・市民等との協働等) に取り組んでいくことが重要である。 **方向性** (該当欄を選択) 4 市による実施(要改善) ● 5 市による実施(現行どおり) 6 市による実施(規模拡充) 今後の改革改善の取組と、もたらそうとする効果 毎年度、事業内容を検討・精査しながら、漁業者や漁協の要望及び各漁場の状況に即した事業を展開していく。 改革改善内容 改革改善による期待成果 外部評価の実施 実施年度 コスト 無 削減 維持 増加 H25進捗状況 改善進捗状況等 向上 H25取組内容 成 維持 低下 (委員からの意見等)

決算審査特別

委員会における 意見等 特になし

水産基盤整備交付金事業 Page 3 of 3

事務事業評価票

所管部長等名 農林水産部長 橋口 尚登 農林水産部 水産林務理

|                                      |                              |      | Ľ                          | 川白叶 | 水石       |        | 灰1117. | 1/天 미/_// | 连小小        | 刀印不  |    |
|--------------------------------------|------------------------------|------|----------------------------|-----|----------|--------|--------|-----------|------------|------|----|
| 評価対象年度                               | 平成25年度                       |      |                            | 課長名 |          |        |        | 沖田        | 良三         |      |    |
|                                      |                              |      | (Plan) 事務事                 | 業の記 | 画        |        |        |           |            |      |    |
|                                      |                              |      |                            |     | 会計区      | 分      |        | 01        | 一般会        | 計    |    |
| 事務事業名                                | 水産振興貸付金                      | 计科子  | 補給事業                       |     | 款項目コード(詩 | 次-項-目) | 05     | _         | 03         | _    | 02 |
|                                      |                              |      |                            |     | 事業コード(大- | -中-小)  | 04     | _         | 13         | _    | 12 |
|                                      | 基本目標(章)                      | 4    | 豊かさとにぎわいのあるま               | ち   |          |        |        |           |            |      |    |
| 施策の体系                                | 施策の体系 (節) 【政策】 1 豊かな農林水産業のまな |      |                            |     |          |        |        |           |            |      |    |
| おける位置づけ)                             | 振興                           |      |                            |     |          |        |        |           |            |      |    |
|                                      | 具体的な施策と内容                    | 2    | 漁業経営の安定                    |     |          |        |        |           |            |      |    |
| <b>東弥声巻の口</b> め                      | 漁業者が行う施設整備                   | #等に対 | する経済的負担を軽減し、経営             | の安定 | ・強化を支援す  | トるととも  | に、水産業  | の振興及      | び発展を       | を図る。 |    |
| 事務事業の目的                              |                              |      |                            |     |          |        |        |           |            |      |    |
|                                      | 漁業協同組合の正組                    | 合員が行 | <del>」う施設整備等の融資に対して、</del> | 利子補 | 給金交付要網   | 肌基づ    | き、利子の- | 一部を補給     | する。        |      |    |
| 事務事業の概要                              |                              |      |                            |     |          |        |        |           |            |      |    |
| (全体事業の内容)                            |                              |      |                            |     |          |        |        |           |            |      |    |
|                                      |                              |      |                            |     |          |        |        |           |            |      |    |
| 根拠法令、要綱等 八代市漁業経営近代化貸金融資に対する利子補給金交付要綱 |                              |      |                            |     |          |        |        |           |            |      |    |
| 実施手法                                 | ● 全部直営                       |      | 一部委託                       |     | 全部委託     | ŧ      | 法令による  | 実施義務      | 1          | 義務であ | る  |
| (該当欄を選択)                             | その他(                         |      |                            |     |          | )      | (該当欄   | を選択)      | <b>•</b> 2 | 義務では | ない |
| 事業期間                                 | 開始年度                         |      | 合併前                        |     | 終了年      | 度      |        |           | 未定         |      |    |
|                                      |                              |      |                            |     |          |        |        |           |            |      |    |

# (Do) 事務事業の実施 評価対象年度の事業の内容 対象 (誰・何を) 内容 (手段、方法等) 漁業協同組合の正組合員 〇融資に対する利子補給 成果目標 (どのような効果をもたらしたいのか) 漁業者の経済的負担を軽減し、経営の安定・強化を支援するとともに、水産業 の振興及び発展を図る。

## 事業開始時点からこれまでの状況変化等

平成24年度から、漁業経営近代化資金利子補給、飼料・燃油価格高騰緊急対策資金利子補給及び産業活性化利子補給の制度を現事業に見直し、統合。

|                        |    |    | コスト推移              |     |        | 24年度決算 | 25年度決算 | 26年度予算 | 27年度見込 | 28年度見込 | 29年度見込 |
|------------------------|----|----|--------------------|-----|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 総事                     | 業  | 費  |                    |     | (単位:円) | _      | 73,842 | 7,000  | 6,000  | 4,000  | 3,000  |
|                        | 事  | 業費 | (直接経費)             |     | (単位:円) | 15,609 | 3,842  | 7,000  | 6,000  | 4,000  | 3,000  |
|                        |    | 財  | 国県支出金              |     |        | 0      | 0      | 0      | 0      | 0      | 0      |
|                        |    | 源  | 地方債                |     |        | 0      | 0      | 0      | 0      | 0      | 0      |
|                        |    | 内訳 | その他特定財源 (特別会計→繰入金) |     |        | 0      | 0      | 0      | 0      | 0      | 0      |
|                        |    | 八  | 一般財源 (特別会計→事業収入)   |     |        | 15,609 | 3,842  | 7,000  | 6,000  | 4,000  | 3,000  |
|                        |    |    | 人件費                |     |        | 24年度   | 25年度   | 26年度見込 | 27年度見込 | 28年度見込 | 29年度見過 |
|                        |    | 概算 | 拿人件費(正規職員)         |     | (単位:円) | _      | 70,000 | 0      | 0      | 0      | 0      |
|                        |    | 正規 | 見職員従事者数            |     | (単位:人) | _      | 0.01   | 0.00   | 0.00   | 0.00   | 0.00   |
| 臨時                     | 職  | 員等 | 従事者数               |     | (単位:人) | _      | 0.00   | 0.00   | 0.00   | 0.00   | 0.00   |
| 事                      |    |    | 指標名                | 単位  |        | 24年度   | 25年度   | 26年度   | 27年度   | 28年度   | 29年度   |
| 事<br>業                 | 1  | 利于 | 子補給件数              | 件   | 計画     | -      | 1      | 1      | 1      | 1      | 1      |
| の                      | Э  |    |                    | ĬŤ. | 実績     | 2      | 1      | -      | 1      | -      | ı      |
| 舌動                     | 2  |    |                    |     | 計画     | _      |        |        |        |        |        |
| <b>助</b> 量             | J) |    |                    |     | 実績     |        |        | -      | -      | -      | 1      |
| <b>舌助指票</b><br>の活動量・実績 | 3  |    |                    |     | 計画     | -      | -      | -      |        |        |        |
|                        | 9  |    |                    |     | 実績     |        |        | -      | 1      | -      | 1      |
| の<br>数                 | 〈記 | 述欄 | 『〉※数値化できない場合       |     |        |        |        |        |        |        |        |
| 値<br>化                 |    |    |                    |     |        |        |        |        |        |        |        |
| 16                     |    |    |                    |     |        |        |        |        |        |        |        |

水産振興貸付金利子補給事業

Page 1 of 3

|             |             |   | 単位 |     | 24年度  | 25年度   | 26年度   | 27年度   | 28年度  | 29年度  |
|-------------|-------------|---|----|-----|---|--|--|--|---|---|
| <b>(1</b> ) |             |   |    | 計画  | -   |  |  |  |   |   |
| $\Theta$    |             |   |    | 実績  |   |  | -  | -  | -   | -   |
| 0           |             |   |    | 計画  | -   |  |  |  |   |   |
| V           |             |   |    | 実績  |   |  | -  | -  | -   | -   |
| (           |             |   |    | 計画  | -   |  |  |  |   |   |
| 3           |             |   |    | 実績  |   |  | -  | -  | -   | -   |
|             | ①<br>②<br>③ | ② | 2  | 2 3 | (2)     計画       実績       (3)     計画       実績 | (2)     計画 -       (3)     計画 -       (3)     計画 -       (3)     (5) | (2)     計画 -       (3)     計画 -       (3)     計画 -       (3)     (4) | (2)     計画 -       (3)     計画 -       (3)     計画 -       (3)     (4) | (2)     計画     -     -       (3)     計画     -     -       (3)     計画     -     -       (3)     (4)     (5)     (5)       (4)     (5)     (6)     (7)       (7)     (7)     (7)       (8)     (7)     (7)       (8)     (7)     (7)       (8)     (7)     (7)       (8)     (7)     (7)       (8)     (7)     (7)       (8)     (7)     (7)       (8)     (7)     (7)       (8)     (7)     (7)       (8)     (7)     (7)       (8)     (7)     (7)       (8)     (7)     (7)       (8)     (7)     (7)       (8)     (7)     (7)       (8)     (7)     (7)       (8)     (7)     (7)       (8)     (7)     (7)       (8)     (7)     (7)       (8)     (7)     (7)       (9)     (7)     (7)       (9)     (7)     (7)       (10)     (10)     (10)       (10)     (10)     (10)       (10)     (10)     (10)       (10)     (10) <td< td=""><td>(2)     計画     -     -     -       (2)     実績     -     -     -       (3)     計画     -     -     -     -       (3)     実績     -     -     -     -</td></td<> | (2)     計画     -     -     -       (2)     実績     -     -     -       (3)     計画     -     -     -     -       (3)     実績     -     -     -     - |

単なる利子補給であり、成果指標について数値化することは困難

|                     |   |  | (C | heck) 事務事業の目                      | <b>日己評価</b>   |
|---------------------|---|--|----|-----------------------------------|---|
|                     |   | 着眼点  |    | チェック                              | 判断理由  |
|                     | 1 | 【計画上の位置付け】<br>事業の目的が上位政策・施策に結び<br>つきますか  | •  | 結びつく<br>一部結びつく<br>結びつかない          | 漁業者の負担軽減のため、漁業経営の安定・強化を図るものであり、<br>総合計画に結びつくものである。  |
| 事業実施の<br><b>妥当性</b> | 2 | 【市民ニーズ等の状況】<br>市民ニーズや社会状況の変化により、<br>事業の役割が薄れていませんか                             |    | 薄れていない<br>少し薄れている<br>薄れている        | 水産業を取り巻く環境は依然として厳しい状況が続いており、また、<br>漁業者の減少・高齢化が進む中、安定的な漁業経営を行うために<br>は、漁業者の負担を軽減することが不可欠である。 |
|                     | 3 | 【市が関与する必要性】<br>市が事業主体であることは妥当です<br>か(国・県・民間と競合していません<br>か)                     | •  | 妥当である<br>あまり妥当でない<br>妥当でない        | 県の融資制度に該当しない漁業者に対し、利子の半額を補給するものであり、競合しない。   |
| 活動内容の               | 1 | 【事業の達成状況】<br>成果目標の達成状況は順調に推移し<br>ていますか   | •  | 順調である<br>あまり順調ではない<br>順調ではない      | 利用者が少ないため、漁協等に対し、周知を図っていく必要がある。   |
| 有効性                 | 2 | 【事業内容の見直し】<br>成果を向上させるため、事業内容を見<br>直す余地はありますか<br>(成果をこれ以上伸ばすことはできま<br>せんか)     | •  | 見直しの余地はない<br>検討の余地あり<br>見直すべき     | 利用者が少ないため、漁協等に対し、周知を図っていく必要がある。   |
|                     | 1 | 【民間委託等】<br>民間委託、指定管理者制度の導入な<br>どにより、成果を下げずにコストを削減<br>することは可能ですか                | •  | できない<br>検討の余地あり<br>可能である          | 単なる利子補給であり、現状、コストもかかっていない。  |
| 実施方法の               | 2 | 【他事業との統合・連携】<br>目的や形態が類似・関連する事業と<br>の統合・連携によりコストの削減は可<br>能ですか                  | •  | できない<br>検討の余地あり<br>可能である          | 利子補給については、他分野の事業者に対しても行われており、窓<br>ロの一本化等について検討する余地はある。                                      |
| 効率性                 | 3 | 【人件費の見直し】<br>現状の成果を下げずに非常勤職員等<br>による対応その他の方法により、人件<br>費を削減することは可能ですか           | •  | できない<br>検討の余地あり<br>可能である          | 単なる利子補給であり、現状、コストもかかっていない。  |
|                     | 4 | 【受益者負担の適正化】<br>事務事業の目的や成果から考えて、<br>受益者負担を見直す必要はあります<br>か(引上げ・引下げ・新たな負担・廃<br>止) | •  | 見直しの余地はない<br>検討の余地あり<br>見直しが必要である | 現行、1/2の利子補給であるが、漁業経営が厳しくなっている現状を踏まえ、受益者の負担割合について、今後、検討する余地はある。                              |

Page 2 of 3 水産振興貸付金利子補給事業

|      |                    |     |                                     |        |           |     |       | (Actio            | on)事務事業の方向性と改革改善                            |
|------|--------------------|-----|-------------------------------------|--------|-----------|-----|-------|-------------------|---|
|      |                    |     |                                     | 1 不要(  | 廃止)       |     |       |                   | (今後の方向性の理由)                                 |
|      |                    |     |                                     | 2 民間第  | <b>ミ施</b> |     |       |                   | 水産業を取り巻く環境が依然として厳しい状況が続いている中、漁業経営の安定・強化を図るた |
|      | 今後の                |     |                                     | 3 市による | 6(民間委託    | 迁の拡 | t大·ī  | 市民等との協働等)         | め、漁業者の負担軽減を図っていく必要がある。                      |
|      | <b>方向性</b><br>当欄を選 | 択)  |                                     | 4 市によ  | る実施(      | 要改  | 善)    |                   |   |
| ,,,, |                    |     | ● 5 市による実施(現行どおり)<br>6 市による実施(規模拡充) |        |           | どお  | IJ)   |                   |   |
|      |                    |     |                                     |        |           | 拡充  | )     |                   |   |
|      |                    |     |                                     |        |           |     |       |                   | 今後の改革改善の取組と、もたらそうとする効果                      |
| 과 3  | 直改善内               |     | 今後                                  | も、漁業   | 経営の多      | 定・  | 強化    | を図るため、漁           | 業者が行う施設整備等に対する経済的支援を継続していく。                 |
| 以上   | P以音P               | THE |                                     |        |           |     |       |                   |   |
|      |                    |     |                                     |        |           |     |       |                   |   |
|      | 改革改                | き   | こよる                                 | 期待成    | 果         |     |       |                   |   |
|      | /                  |     |                                     | コスト    |           |     | 外     | 部評価の実施            | 無実施年度                                       |
|      |                    | 削   | 減                                   | 維持     | 増加        |     | 改     | H25進捗状況           |   |
|      | 山上                 |     |                                     |        |           |     | 善進    |                   |   |
|      | 157                |     |                                     |        |           |     | 掺状    | H25取組内容           |   |
| 成果   | 維持                 |     |                                     |        |           |     | 況     | LIZONVIEL 1-E.    |   |
| 果    | 44T 1-1            |     |                                     |        |           |     | 7     |                   |   |
|      | 低下                 |     |                                     |        |           |     |       |                   |   |
|      | 12.                |     |                                     |        |           |     | · · · | * = + + D         | (委員からの意見等)                                  |
|      |                    |     |                                     |        |           |     |       | 算審査特別 特(<br>会における | になし   |
|      |                    |     |                                     |        |           |     | _,,,, | 音目笙               |   |

水産振興貸付金利子補給事業 Page 3 of 3

事務事業評価票

所管部長等名 農林水産部長 橋口 尚登

|                       |                                   |      |                            | DI 目录"标石 |          |               | 辰怀小庄叩_小庄怀伤床 |       |       |       |          |  |  |
|-----------------------|-----------------------------------|------|----------------------------|----------|----------|---------------|-------------|-------|-------|-------|----------|--|--|
| 評価対象年度                | 平成25年度                            |      |                            | 課長名      |          |               |             | 沖田    | 良三    |       |          |  |  |
|                       |                                   |      | (Plan) 事務專                 | 事業の記     | +画       |               |             |       |       |       |          |  |  |
|                       |                                   |      |                            |          | 会計区      | 分             | 01 一般会計     |       |       |       |          |  |  |
| 事務事業名                 | 水産物供給基盤                           | 盤機能  | 保全事業                       |          | 款項目コード(詩 | 次-項-目)        | 05          | _     | 03    | _     | 02       |  |  |
|                       |                                   |      |                            |          | 事業コード(大- | -中-小)         | 04          | _     | 13    | _     | 17       |  |  |
|                       | 基本目標(章)                           | 4    | 豊かさとにぎわいのあるま               | きち       |          |               |             |       |       |       |          |  |  |
| 施策の体系                 | 施策の大綱(節) 【政                       | 策】 1 | 豊かな農林水産業のまち                | づくり      |          |               |             |       |       |       |          |  |  |
| (八代市総合計画に<br>おける位置づけ) | 施策の展開(項) 【施                       | 策】 3 | 豊かで安定した水産業の                | 振興       |          |               |             |       |       |       |          |  |  |
|                       | 具体的な施策と内容                         | 1    | 生産基盤・環境の整備                 |          |          |               |             |       |       |       |          |  |  |
|                       | 老朽化が進む市管理<br>施設の長寿命化を図            |      | <b>设の機能保全計画を策定すると</b> 。    | ともに、ヨ    | 当該計画に基   | づき、計          | 画的に施設       | の保全工  | 事を実施  | すること  | により、     |  |  |
|                       | 老朽化が進む大鞘漁<br>実施する。<br>※平成26年3月補正( |      | 直柳漁港の機能診断を順次実施<br>F度に全額繰越) | し、機能     | 保全計画を領   | <b>策定する</b> 。 | ,以降、当詞      | 核計画に基 | さづき、必 | 多要な保全 | ≟工事を     |  |  |
| 根拠法令、要綱等              |                                   |      |                            |          |          |               |             |       |       |       |          |  |  |
| 実施手法                  | 全部直営                              |      | 一部委託                       |          | ● 全部委託   | ŧ             | 法令による       | 実施義務  | 1     | 義務であ  | <u>გ</u> |  |  |
| (該当欄を選択)              | その他(                              |      |                            |          |          | )             | (該当欄        | を選択)  | ● 2   | 義務では  | ない       |  |  |
| 事業期間                  | 開始年度                              | •    | 平成25年度                     | •        | 終了年      | 度             |             |       | 未定    |       |          |  |  |

| (Do) 事務事業の実施  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|---|--|--|--|--|--|--|--|--|--|
| 評価対象年度の事業の内容  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 内容 (手段、方法等)   |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 〇機能保全診断(平成26年度)<br>〇機能保全計画策定(平成26年度)<br>〇機能保全工事(平成27年度以降) |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|   |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|   |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|   |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|   |  |  |  |  |  |  |  |  |  |

国の大型補正予算により、平成26年3月議会において補正(全額繰越)を行い、平成26年度中に、老朽化が進む大鞘漁港及び植柳漁港の機能保全計画を 策定する予定である。

| コスト推移              |          |          | 24年度決算 | 25年度決算    | 26年度予算     | 27年度見込     | 28年度見込     | 29年度見:                        |
|--------------------|----------|----------|--------|-----------|------------|------------|------------|-------------------------------|
|                    | (        | 単位:円)    | -      | 1,750,000 | 30,650,000 | 23,500,000 | 53,500,000 | 53,500,00                     |
| 直接経費)              | ()       | 単位:円)    |        | 0         | 27,500,000 | 20,000,000 | 50,000,000 | 50,000,00                     |
| 国県支出金              |          |          |        | 0         | 13,750,000 | 10,000,000 | 20,000,000 | 20,000,00                     |
| 也方債                |          |          |        | 0         | 0          | 0          | 0          | 0                             |
| たの他特定財源 (特別会計→繰入金) |          |          |        | 0         | 0          | 0          | 0          | 0                             |
| -般財源 (特別会計→事業収入)   |          |          |        | 0         | 13,750,000 | 10,000,000 | 30,000,000 | 30,000,00                     |
| 人件費                |          |          | 24年度   | 25年度      | 26年度見込     | 27年度見込     | 28年度見込     | 29年度見                         |
| 人件費(正規職員)          |          | (単位:円)   | -      | 1,750,000 | 3,150,000  | 3,500,000  | 3,500,000  | 3,500,00                      |
| <b>哉員従事者数</b>      |          | (単位:人)   | -      | 0.25      | 0.45       | 0.50       | 0.50       | 0.50                          |
| 事者数                |          | (単位:人)   | _      | 0.00      | 0.00       | 0.00       | 0.00       | 0.00                          |
| 指標名                | 単位       |          | 24年度   | 25年度      | 26年度       | 27年度       | 28年度       | 29年度                          |
| 呆全工事施設数            | 施設       | 計画       | -      | 0         | 0          | 0          | 1          | 1                             |
|                    | 心改       | 実績       | 0      | 0         | -          | 1          | -          | -                             |
|                    |          | 計画       | _      |           |            |            |            |                               |
|                    |          | 実績       |        |           | -          | 1          | -          | -                             |
|                    |          | 計画       | _      |           |            |            |            |                               |
|                    |          | 実績       |        |           | -          | -          | -          | -                             |
| ※数値                | 直化できない場合 | 直化できない場合 | 計画実績   | 計画 - 実績   | 計画 - 実績    | 計画 - 実績 -  | 計画 - 実績    | 計画     -       実績     -     - |

水産物供給基盤機能保全事業 Page 1 of 3

|                         |    | 指標名                   | 指標設定の考え方  | 単位 |    | 24年度 | 25年度 | 26年度 | 27年度 | 28年度 | 29年度 |
|-------------------------|----|-----------------------|---|----|----|------|------|------|------|------|------|
|                         | 1  | 漁港施設の劣<br>化破損事故件<br>数 | 計画的な機能保全工事により、施設の破損事故等が防止され、漁港としての機能が維持されていると考えるため。 | 件  | 計画 | ı    | 0    | 0    | 0    | 0    | 0    |
| もたらそう                   | 0  |                       |   | IT | 実績 | 0    | 0    | ı    | ı    | -    | I    |
| そうとす                    | 2  |                       |   |    | 計画 | 1    |      |      |      |      |      |
| <b>成果指標</b><br>・とする効果・は |    |                       |   |    | 実績 |      |      | -    | -    | -    | -    |
| 成果の数値                   | 3  |                       |   |    | 計画 | -    |      |      |      |      |      |
| 化                       | 3  |                       |   |    | 実績 |      |      | -    | -    | -    | -    |
|                         | 〈記 | ・ 述欄〉※数値化で            | きない場合   |    |    |      |      |      |      |      |      |

|                     |  | (Check) 事務事業の自   | 3 <b>3 3 3 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1</b>                            |
|---------------------|--|--|---|
|                     |  | Cneck) 争務争未の日<br>チェック                                  | 判断理由  |
|                     | 【計画上の位置付け】<br>事業の目的が上位政策・施策に結び<br>つきますか  | <ul><li>結びつく</li><li>一部結びつく</li><li>結びつかない</li></ul>   | 水産業の基盤である漁港施設の長寿命化を図るものであり、総合計画に結びつくものである。                                |
| 事業実施の<br><b>妥当性</b> | 【市民ニーズ等の状況】<br>市民ニーズや社会状況の変化により、<br>事業の役割が薄れていませんか                             | ● 薄れていない  少し薄れている  薄れている                               | 大鞘漁港、植柳漁港は、整備後約30年を経過している施設があり、コンクリートが剥離しているなど、老朽化が進んでいるため、早期の機能保全が必要である。 |
|                     | 【市が関与する必要性】<br>市が事業主体であることは妥当です<br>3 か(国・県・民間と競合していませんか)                       | <ul><li>妥当である</li><li>あまり妥当でない</li><li>妥当でない</li></ul> | 大鞘漁港及び植柳漁港は、市が管理する漁港である。  |
| 活動内容の               | 【事業の達成状況】<br>① 成果目標の達成状況は順調に推移していますか   | ● 順調である<br>あまり順調ではない<br>順調ではない                         | 現在、事業着手前の段階であり、今後、目標が達成できるよう、事業<br>の推進に努める。                               |
| 有効性                 | 【事業内容の見直し】<br>成果を向上させるため、事業内容を見<br>直す余地はありますか<br>(成果をこれ以上伸ばすことはできま<br>せんか)     | ● 見直しの余地はない<br>検討の余地あり<br>見直すべき                        | 現在、事業着手前の段階であり、今後、目標が達成できるよう、事業の推進に努める。                                   |
|                     | 【民間委託等】<br>民間委託、指定管理者制度の導入な<br>どにより、成果を下げずにコストを削減<br>することは可能ですか                | ● できない<br>検討の余地あり<br>可能である                             | 計画策定及び工事 に関しては、民間への業務委託等により実施するが、工事監理を民間に委託した場合、コストは割高である。                |
| 実施方法の               | 【他事業との統合・連携】<br>目的や形態が類似・関連する事業と<br>の統合・連携によりコストの削減は可<br>能ですか                  | ● できない<br>検討の余地あり<br>可能である                             | 類似・関連する事業はない。   |
| 効率性                 | 【人件費の見直し】<br>現状の成果を下げずに非常勤職員等<br>による対応その他の方法により、人件<br>費を削減することは可能ですか           |  | 事業着手前の段階であり、人件費の見直しに関しては、今後の状況<br>を見極める必要がある。                             |
|                     | 【受益者負担の適正化】<br>事務事業の目的や成果から考えて、<br>受益者負担を見直す必要はあります<br>か(引上げ・引下げ・新たな負担・廃<br>止) | ● 見直しの余地はない<br>検討の余地あり<br>見直しが必要である                    | 大鞘漁港及び植柳漁港は、市が管理する漁港であり、また、当該事業に受益者負担はそぐわない。                              |

水産物供給基盤機能保全事業 Page 2 of 3

#### (Action) 事務事業の方向性と改革改善 (今後の方向性の理由) 1 不要(廃止) 先ずは平成26年度中に計画を策定するとともに、平成27年度以降、順次、計画的に機能保全 2 民間実施 工事を実施していくことが必要である。 今後の 3 市による(民間委託の拡大・市民等との協働等) **方向性** (該当欄を選択) 4 市による実施(要改善) ● 5 市による実施(現行どおり) 6 市による実施(規模拡充) 今後の改革改善の取組と、もたらそうとする効果 機能保全計画の策定及び計画的な機能保全工事により、施設の長寿命化及び漁港機能の維持を図っていく。 改革改善内容 改革改善による期待成果 外部評価の実施 実施年度 コスト 無 削減 維持 増加 H25進捗状況 改善進捗状況等 向上 H25取組内容 成果 維持 低下 (委員からの意見等) 決算審査特別 特になし 委員会における 意見等

水産物供給基盤機能保全事業 Page 3 of 3

No 4250729

事務事業評価票

 所管部長等名
 農林水産部長 橋口 尚登

 所管課・係名
 農林水産部\_水産林務課

 課長名
 油田 良三

|                    |  | "   | 刀百杯 水石        |                | 反作小庄叩_小庄1个1万杯 |         |         |      |               |      |    |  |  |
|--------------------|--|---|---------------|----------------|---------------|---------|---------|------|---------------|------|----|--|--|
| 評価対象年度             | 平成25年度   |   | 記             | 果長名            |               |         |         | 沖田 . | 良三            |      |    |  |  |
|                    |  |   | (Plan) 事務事    | 業の記            | 十画            |         |         |      |               |      |    |  |  |
|                    |  |   |               |                | 会計区           | 分       | 01 一般会計 |      |               |      |    |  |  |
| 事務事業名              | 地域経済循環創  | 削造事   | 業(繰越分)        |                | 款項目コード(赤      | 欠-項-目)  | 05      | _    | 03            | _    | 02 |  |  |
|                    |  |   |               |                | 事業コード(大-      | -中-小)   | 04      | _    | 13            | _    | 16 |  |  |
|                    | 基本目標(章)  | 4   | 豊かさとにぎわいのあるま  | ち              |               |         |         |      |               |      |    |  |  |
| 施策の体系<br>(八代市総合計画に | 施策の大綱(節) 【政  | 策】 1  | 豊かな農林水産業のまちて  | 豊かな農林水産業のまちづくり |               |         |         |      |               |      |    |  |  |
| おける位置づけ)           | 施策の展開(項) 【施  | 策】 3  | 豊かで安定した水産業の振興 |                |               |         |         |      |               |      |    |  |  |
|                    | 具体的な施策と内容  | 1   | 生産基盤・環境の整備    |                |               |         |         |      |               |      |    |  |  |
|                    |  | 循環創造事業交付金(総務省)の事業採択を受け、鏡町漁業協同組合カキ生産部会が「クマモトオイスター再発見事業」として、新<br>養殖に取り組むとともに、カキ小屋経営によるカキの加工・販売を通じて、漁業所得の安定・向上及び地域振興を図る。 |               |                |               |         |         |      |               |      |    |  |  |
| 事務事業の概要            | 地域経済循環創造事業の交付決定(交付決定額18,000千円)を受け、鏡町漁協カキ生産部会が取り組む「クマモトオイスター再発見事業」<br>(事業費28,141千円)に対し、市が18,000千円を補助する。<br>(事業費内訳)<br>○事前調査:23千円<br>○設計:170千円 |   |               |                |               |         |         |      |               |      |    |  |  |
| 根拠法令、要綱等           |  |   |               |                |               |         |         |      |               |      |    |  |  |
| 実施手法               | ● 全部直営   |   | 一部委託          |                | 全部委託          | ŧ       | 法令による   | 実施義務 | 1 i           | 義務であ | る  |  |  |
| (該当欄を選択)           | その他(   |   |               |                |               | )(該当欄を選 |         | を選択) | <b>●</b> 2 i  | 義務では | ない |  |  |
| 事業期間               | 開始年度   |   | 平成24年度        |                | 終了年           | 度       |         | 平原   | <b>뷫25年</b> 原 | 芰    |    |  |  |

#### (Do) 事務事業の実施

#### 評価対象年度の事業の内容

対象 (誰・何を) 内容 (手段、方法等)

鏡町漁業協同組合カキ生産部会

地域経済循環創造事業の交付決定(交付決定額18,000千円)を受け、鏡町漁協カキ生産部会が実施する「クマモトオイスター再発見事業」(事業費28,141千円)に対し、市が18,000千円を補助する。

成果目標 (どのような効果をもたらしたいのか)

ノリ養殖の衰退やアサリの不漁等を踏まえ、新たにカキ養殖(生産)からカキ 小屋経営(販売)までを行うことにより、漁業所得の安定・向上及び地域振興を 図る。

## 事業開始時点からこれまでの状況変化等

平成23年6月の大雨により、八代海地先ではアサリが大量死し、その後、アサリが不漁となるなど、アサリ復活の兆しが見えない中、鏡町漁協力キ生産部会が八代海における水産業に新たな活路を見出すべく、平成24年度からカキの試験養殖を開始。平成25年度からは養殖イカダを11基増設し、本格的にマガキ養殖に取組み、生産量は約8トンであった。平成26年1月には鏡オイスターハウスをオープンし、4月初旬までの約3ヶ月間で来客数は1万人超と盛況であった。

| _          |     |       | コスト推移              |    |        | 24年度決算 | 25年度決算     | 26年度予算  | 27年度見込 | 28年度見込 | 29年度見記 |
|------------|-----|-------|--------------------|----|--------|--------|------------|---------|--------|--------|--------|
| 総事         | 業   | 貴     |                    | (  | 単位:円)  | _      | 21,500,000 | 350,000 | 0      | 0      | 0      |
|            | 事業  | き 費 ( | (直接経費)             | (  | 単位:円)  | 0      | 18,000,000 | 0       | 0      | 0      | 0      |
|            |     | 財     | 国県支出金              |    |        | 0      | 18,000,000 | 0       | 0      | 0      | 0      |
|            |     | 源     | 地方債                |    |        | 0      | 0          | 0       | 0      | 0      | 0      |
|            |     | 内訳    | その他特定財源 (特別会計→繰入金) |    |        | 0      | 0          | 0       | 0      | 0      | 0      |
|            |     | 八百    | 一般財源 (特別会計→事業収入)   |    |        | 0      | 0          | 0       | 0      | 0      | 0      |
|            |     |       | 人件費                |    |        | 24年度   | 25年度       | 26年度見込  | 27年度見込 | 28年度見込 | 29年度見  |
|            |     | 概算    | 拿人件費(正規職員)         |    | (単位:円) | -      | 3,500,000  | 350,000 | 0      | 0      | 0      |
|            |     | 正規    | 見職員従事者数            |    | (単位:人) | _      | 0.50       | 0.05    | 0.00   | 0.00   | 0.00   |
| 臨時         | ;職貞 | 員等    | 従事者数               |    | (単位:人) | _      | 0.00       | 0.00    | 0.00   | 0.00   | 0.00   |
| 車          |     |       | 指標名                | 単位 |        | 24年度   | 25年度       | 26年度    | 27年度   | 28年度   | 29年度   |
| 事業の        | (1) | カキ    | -漁獲量               | トン | 計画     | -      | 6          | 10      | 10     | 10     | 10     |
| の任         | Э   |       |                    | トン | 実績     | 0      | 8          | -       | -      | -      | -      |
| <b>F</b> 動 | 2   |       |                    |    | 計画     | _      |            |         |        |        |        |
| ,量<br>】    | Û   |       |                    |    | 実績     |        |            | -       | -      | -      | 1      |
| い活動量・実績    | 3   |       |                    |    | 計画     | -      |            |         |        |        |        |
| 去。         | (S) |       |                    |    | 実績     |        |            | _       | -      | -      | -      |

|                      |    | 指標名           | 指標設定の考え方  | 単位 |    | 24年度 | 25年度 | 26年度 | 27年度 | 28年度 | 29年度 |
|----------------------|----|---------------|---|----|----|------|------|------|------|------|------|
|                      | 1  | カキ小屋来客数       | 来客数の増加に伴い、販売<br>収益に繋がり、漁業所得の安<br>定・向上に寄与すると考える<br>ため。 | 千人 | 計画 | ı    | 5    | 10   | 10   | 10   | 10   |
| もたらそう                | U  |               |   | 1  | 実績 | -    | 11   | ı    | ı    | -    | ı    |
| そうとす                 | 2  |               |   |    | 計画 | -    |      |      |      |      |      |
| <b>成果指標</b> りとする効果・は | 2  |               |   |    | 実績 |      |      | ı    | I    | ı    | I    |
| 成果の数値化               | 3  |               |   |    | 計画 | ı    |      |      |      |      |      |
| 化                    | 3  |               |   |    | 実績 |      |      | -    | -    | -    | -    |
|                      | 〈記 | ·<br>述欄〉※数値化で | -<br>きない場合  |    |    |      |      |      |      |      |      |

|                     |   |  | (CI | neck) 事務事業の自                      | 自己評価  |
|---------------------|---|--|-----|-----------------------------------|---|
|                     |   | 着眼点  |     | チェック                              | 判断理由  |
|                     | 1 | 【計画上の位置付け】<br>事業の目的が上位政策・施策に結び<br>つきますか  | •   | 結びつく<br>一部結びつく<br>結びつかない          | 漁業者自らが新たな水産業として、マガキ養殖に取組むことにより、<br>漁業所得の安定・向上を図り、また、鏡オイスターハウスのオープン<br>により、地域の振興及び新たな雇用の創出を図るものであり、総合計<br>画に結びつくものである。 |
| 事業実施の<br><b>妥当性</b> | 2 | 【市民ニーズ等の状況】<br>市民ニーズや社会状況の変化により、<br>事業の役割が薄れていませんか                             | •   | 薄れていない<br>少し薄れている<br>薄れている        | 平成23年6月の大雨によりアサリが大量死するなど、本市の水産業を取り巻く環境は依然として厳しい状況が続いている中、当該事業により、本市の水産業に新たな活路を見出すことができた。                              |
|                     | 3 | 【市が関与する必要性】<br>市が事業主体であることは妥当です<br>か(国・県・民間と競合していません<br>か)                     |     | 妥当である<br>あまり妥当でない<br>妥当でない        | 交付要綱において、交付対象が地方公共団体と定められている。   |
| 活動内容の               | 1 | 【事業の達成状況】<br>成果目標の達成状況は順調に推移し<br>ていますか   | •   | 順調である<br>あまり順調ではない<br>順調ではない      | カキ小屋「鏡オイスターハウス」は、八代海沿岸では類似施設がない<br>ことから話題となり、予想を超える来客数であった。   |
| 有効性                 | 2 | 【事業内容の見直し】<br>成果を向上させるため、事業内容を見<br>直す余地はありますか<br>(成果をこれ以上伸ばすことはできま<br>せんか)     | •   | 見直しの余地はない<br>検討の余地あり<br>見直すべき     | 今後、カキ生残率の向上のために養殖技術の向上を図り、また、クマモトオイスターの本格養殖への参入が期待される。  |
|                     | 1 | 【民間委託等】<br>民間委託、指定管理者制度の導入な<br>どにより、成果を下げずにコストを削減<br>することは可能ですか                | •   | できない<br>検討の余地あり<br>可能である          | 当該事業は補助金(地域経済循環創造事業交付金)の支出であり、<br>事業自体については、鏡町漁協カキ生産部会が実施している。  |
| 実施方法の               | 2 | 【他事業との統合・連携】<br>目的や形態が類似・関連する事業と<br>の統合・連携によりコストの削減は可<br>能ですか                  | •   | できない<br>検討の余地あり<br>可能である          | 国の事業を活用して鏡町漁協カキ生産部会が実施する事業であり、<br>他に類似する事業はない。  |
| 効率性                 | 3 | 【人件費の見直し】<br>現状の成果を下げずに非常勤職員等<br>による対応その他の方法により、人件<br>費を削減することは可能ですか           |     | できない<br>検討の余地あり<br>可能である          | 国の事業を活用して、平成25年度(繰越)に実施した単発の補助事業であり、補助事業の内容確認及び国への申請等が必要なことから正規職員で対応した。   |
|                     | 4 | 【受益者負担の適正化】<br>事務事業の目的や成果から考えて、<br>受益者負担を見直す必要はあります<br>か(引上げ・引下げ・新たな負担・廃<br>止) | •   | 見直しの余地はない<br>検討の余地あり<br>見直しが必要である | 当該事業は補助金(地域経済循環創造事業交付金)の支出であり、<br>補助金を超える事業費については、鏡町漁協カキ生産部会が負担し<br>ている。  |

#### (Action) 事務事業の方向性と改革改善 (今後の方向性の理由) 1 不要(廃止) 当該事業自体は平成25年度で完了したものの、今後も必要に応じて、国や県の補助事業を活用し、各漁協が行う事業に対する指導や支援を行いながら、本市の水産業の振興を図っていく 2 民間実施 今後の 3 市による(民間委託の拡大・市民等との協働等) ことが必要である。 **方向性** (該当欄を選択) 4 市による実施(要改善) ● 5 市による実施(現行どおり) 6 市による実施(規模拡充) 今後の改革改善の取組と、もたらそうとする効果 国や県の事業を活用し、水産業の振興を図っていく。 改革改善内容 改革改善による期待成果 外部評価の実施 実施年度 コスト 無 削減 維持 増加 H25進捗状況 改善進捗状況等 向上 H25取組内容 成果 維持 低下 (委員からの意見等)

決算審査特別

委員会における 意見等 特になし

事務事業評価票

所管部長等名 農林水産部長 橋口 尚登 正告押. 反夕 典廿业产却 业产廿级钾

|                      |                          |       | 171 E   | M 1871  | 展怀尔庄即_尔庄怀扬硃 |                |      |       |       |       |  |  |
|----------------------|--------------------------|-------|---|---------|-------------|----------------|------|-------|-------|-------|--|--|
| 評価対象年度               | 平成25年度                   |       | 課長  | 名       |             | ;              | 中田 良 | 王     |       |       |  |  |
|                      |                          |       | (Plan) 事務事業   | の計画     |             |                |      |       |       |       |  |  |
|                      |                          |       |   | 会計区     | ☑分          |                | 01 - | -般会計  | t     |       |  |  |
| 事務事業名                | 道整備交付金票                  | 丰業    |   | 款項目コード( | 款−項−目)      | 05 -           |      | 02    | _     | 04    |  |  |
|                      |                          |       |   | 事業コード(大 | -中-小)       | 04 -           | _    | 12    | _     | 05    |  |  |
|                      | 基本目標(章)                  | 4     | 豊かさとにぎわいのあるまち   |         |             |                |      |       |       |       |  |  |
| 施策の体系<br>(八代市総合計画に   | 施策の大綱(節) 【政              | 策】 1  | 豊かな農林水産業のまちづく   | J       |             |                |      |       |       |       |  |  |
| おける位置づけ)             | 施策の展開(項) 【施              | 策】 2  | 緑を育てる林業経営の安定  |         |             |                |      |       |       |       |  |  |
|                      | 具体的な施策と内容                | 1     | 生産基盤の充実   |         |             |                |      |       |       |       |  |  |
|                      | 林業の生産基盤である<br>の縮減へつなげるもの |       | 整備を行い車両や林業用機械の進                                       | 入を容易なもの | とし、通行       | <b>す車両の安全と</b> | 作業性の | り向上を  | ☆図り、生 | ≘産コスト |  |  |
| 事務事業の概要<br>(全体事業の内容) | 事業期間:平成22年度              | ₹~平成  | づき林道の改良・舗装事業を行うもの<br>26年度(5カ年)<br><b>攻良2路線、舗装7路線)</b> | のである。   |             |                |      |       |       |       |  |  |
| 根拠法令、要綱等             | 森林法、地域再生法                |       |   |         |             |                |      |       |       |       |  |  |
| 実施手法                 | 全部直営                     |       | 一部委託  | 全部委     | 託           | 法令による実         | 施義務  | 1 拿   | 養務であ  | る     |  |  |
| (該当欄を選択)             | ● その他(工事請負               | 1、測量記 | 设計業務委託  |         | )           | (該当欄を選         | 選択)  | ● 2 章 | 養務では  | ない    |  |  |
| 事業期間                 | 開始年度                     | •     | 平成22年度  | 終了年     | - 度         |                | 平成   | 26年度  |       |       |  |  |

#### (Do) 事務事業の実施 評価対象年度の事業の内容 対象 (誰・何を) 内容 (手段、方法等) 八代市の管理林道 五木・八代地域再生計画に基づき、林道舗装7路線、法面改良2路線の測量 および工事を行った。 (事業費)105,002,100円 (補助対象事業費)105,000,000円 成果目標 (どのような効果をもたらしたいのか) (財源) 国県補助金43,215,000円、起債61,400,000円、一般385,000円 林業の生産基盤である林道の改良、舗装を行い車両や林業用機械の進入を (事業概要) 容易なものとし、通行車両の安全と作業性の向上を図り、生産コストの縮減へ アスファルト舗装7路線 施行延長 3,375m

つなげるもの。

法面改良2路線 施行延長 227m

#### 事業開始時点からこれまでの状況変化等

事業計画の中で取り組むこととしていた林道池之原岳線開設事業については、起・終点の見直しを行い、路線名を林道池之原走水線と改め、市の費用負担 がない県の過疎代行事業として取り組むこととなった。

事業開始から4年が経過し、法面改良・路面の舗装を行った箇所については、通行車両の安全性・走行性の向上が図られている。

|   |                |     | コスト推移              |     |        | 24年度決算     | 25年度決算                              | 26年度予算      | 27年度見込      | 28年度見込      | 29年度見達     |
|---|----------------|-----|--------------------|-----|--------|------------|-------------------------------------|-------------|-------------|-------------|------------|
| 総事  | 業              | 費   |                    |     | (単位:円) | _          | 120,029,374                         | 118,334,000 | 124,500,000 | 112,470,000 | 112,470,00 |
|   | 事              | 業費  | (直接経費)             |     | (単位:円) | 94,604,777 | 109,529,374                         | 107,834,000 | 114,000,000 | 101,970,000 | 101,970,00 |
|   |                | 財   | 国県支出金              |     |        | 44,598,000 | 43,215,000                          | 43,215,000  | 34,470,000  | 39,331,000  | 39,331,00  |
|   |                | 源   | 地方債                |     |        | 45,100,000 | 45,100,000 61,400,000 61,400,000 79 |             |             | 62,000,000  | 62,000,00  |
|   |                | 内訳  | その他特定財源 (特別会計→繰入金) |     |        | 0          | 0                                   |             | 0           | 0           | 0          |
|   |                | n/C | 一般財源 (特別会計→事業収入)   |     |        | 4,906,777  | 4,914,374                           | 3,219,000   | 530,000     | 639,000     | 639,000    |
|   | 人件費            |     |                    |     |        |            | 25年度                                | 26年度見込      | 27年度見込      | 28年度見込      | 29年度見      |
|   |                | 概算  | 拿人件費(正規職員)         |     | (単位:円) | _          | 10,500,000                          | 10,500,000  | 10,500,000  | 10,500,000  | 10,500,00  |
|   | 正規職員従事者数 (単位:人 |     |                    |     |        |            | 1.50                                | 1.50        | 1.50        | 1.50        | 1.50       |
| 臨時  | <b>持職</b>      | 員等  | 従事者数               |     | (単位:人) | -          | 0.00                                | 0.00        | 0.00        | 0.00        | 0.00       |
| 事.  |                |     | 指標名                | 単位  |        | 24年度       | 25年度                                | 26年度        | 27年度        | 28年度        | 29年度       |
| 事業  | 1)             | 林道  | 道の舗装化              | m   | 計画     | _          | 3180                                | 3419        | 3580        | 3070        | 3180       |
| の活  | $\odot$        |     |                    | 111 | 実績     | 2768       | 3375                                | -           | -           | -           | -          |
| <b>5</b> 動                                | 2              | 林道  | 道法面改良による危険区域の解消    | m   | 計画     | _          | 187                                 | 298         | 200         | 200         | 200        |
| 功量<br>·                                   | <b>a</b>       |     |                    | 111 | 実績     | 233        | 227                                 | -           | -           | -           | -          |
| 5. ある ままま は ままま ままま ままま ままま ままま まままま まままま | 3              |     |                    |     | 計画     | -          |                                     |             |             |             |            |
|   | (J)            |     |                    |     | 実績     |            |                                     | -           | -           | -           | -          |
| の<br>数                                    | 〈記             | 述欄  | 『〉※数値化できない場合       |     |        |            |                                     |             |             |             |            |
| 値化  |                |     |                    |     |        |            |                                     |             |             |             |            |

道整備交付金事業 Page 1 of 3

|                       |          | 指標名      | 指標設定の考え方   | 単位 |    | 24年度 | 25年度 | 26年度 | 27年度 | 28年度 | 29年度 |
|-----------------------|----------|----------|--|----|----|------|------|------|------|------|------|
|                       | 1        | 林道の舗装率   | 舗装事業による進捗状況を<br>舗装率で表示(舗装済延長/<br>舗装計画延長)<br>分母:H22~H31 26,950m | %  | 計画 | -    | 29.2 | 41.9 | 55.2 | 66.6 | 78.4 |
| もたらそう                 | •        |          |  | 70 | 実績 | 20.6 | 33.1 | -    | -    | -    | -    |
| <b>成果指標</b><br>とする効果・ | <b>②</b> | 林道の改良率   | 改良事業による進捗状況を<br>改良率で表示(改良済延長/<br>改良計画延長)<br>分母:H22~H31 1,780m  | %  | 計画 | ı    | 25.6 | 38.3 | 55.1 | 66.3 | 77.5 |
|                       | 2        |          |  | 70 | 実績 | 31.3 | 44.1 | 1    | 1    | 1    | I    |
| 成果の数値                 | 3        |          |  |    | 計画 | 1    |      |      |      |      |      |
| 値<br>化                | 3        |          |  |    | 実績 |      |      | -    | -    | -    | -    |
|                       | 〈記       | 述欄〉※数値化で | きない場合  |    |    |      |      |      |      |      |      |

|                     |   | (Cł  | neck) 事務事業の自                      |  |
|---------------------|---|--|-----------------------------------|--|
|                     | 着眼点   |  | チェック                              | 判断理由   |
|                     | 【計画上の位置作<br>事業の目的が上位政策・<br>つきますか                                |  | 結びつく<br>一部結びつく<br>結びつかない          | 林業生産基盤の充実として林道整備を行うこととしており、市総合計画に合致するものである。  |
| 事業実施の<br><b>妥当性</b> | 【市民ニーズ等の<br>市民ニーズや社会状況の<br>事業の役割が薄れていま                          | 変化により、   | 薄れていない<br>少し薄れている<br>薄れている        | 林道の舗装化については、地域要望でもあがっており、必要性は十分にある。  |
|                     | 市が事業主体であること   | 【市が関与する必要性】<br>市が事業主体であることは妥当です<br>か(国・県・民間と競合していません<br>か) |                                   | 市が管理する林道について、補助事業を活用して整備を行っており、<br>市が事業主体となることは、妥当である。   |
| 活動内容の               | 【事業の達成状況は<br>① 成果目標の達成状況は<br>でいますか                              |  | 順調である<br>あまり順調ではない<br>順調ではない      | 改良、舗装等により整備された林道は、通行車両の安全と作業性の<br>向上が図られ、生産コストの縮減へつながっている。   |
| 有効性                 | 【事業内容の見証<br>成果を向上させるため、<br>② 直す余地はありますか<br>(成果をこれ以上伸ばする<br>せんか) | 事業内容を見   | 見直しの余地はない<br>検討の余地あり<br>見直すべき     | 国の認定を受けた地域再生計画に基づき行うものであり、事業内容<br>の大幅な見直しの必要はない。   |
|                     | 【民間委託等<br>氏間委託、指定管理者制<br>どにより、成果を下げずに<br>することは可能ですか             | 度の導入な  | できない<br>検討の余地あり<br>可能である          | 設計積算、現場監督など、専門性が高い業務内容であり、外部委託は可能であるがコスト高となる。  |
| 実施方法の               | 【他事業との統合<br>目的や形態が類似・関連<br>の統合・連携によりコスト<br>能ですか                 | する事業と  | できない<br>検討の余地あり<br>可能である          | 林道整備のための補助事業であり、他事業との連携はできない。  |
| 効率性                 | 【人件費の見直<br>現状の成果を下げずに訓<br>による対応その他の方法<br>費を削減することは可能            | ≓常勤職員等<br>により、人件   | できない<br>検討の余地あり<br>可能である          | 事業計画から設計積算、現場監督に至るまで、専門性が高い業務内容であり、非常勤職員等による対応は不可能である。   |
|                     | 【受益者負担の通事務事業の目的や成果/<br>・ 受益者負担を見直す必要か(引上げ・引下げ・新た)               | いら考えて、<br>Eはあります   | 見直しの余地はない<br>検討の余地あり<br>見直しが必要である | 林道は、森林整備、木材生産等を主な目的として整備しており、林道<br>周辺の一定範囲の森林所有者が直接の受益者となる。しかし、森林<br>は、地球温暖化防止や水源涵養機能など公益的機能が高く、広く受<br>益を受ける実態もあり、受益者負担を求めることは相当で無いと考え<br>られる。 |

道整備交付金事業 Page 2 of 3

#### (Action) 事務事業の方向性と改革改善 1 不要(廃止) (今後の方向性の理由) 成熟した森林資源が豊富にある八代地域において、木材の輸出や木質バイオマス燃料としての利用が伸びてきており、木材搬出のための林道は、必要不可欠である。 2 民間実施 今後の 3 市による(民間委託の拡大・市民等との協働等) 林道の舗装については全体の舗装率が80.8%であり、未舗装区間が相当残っており、今後と **方向性** (該当欄を選択) も補助事業を活用して舗装化を推進していく。 4 市による実施(要改善) ● 5 市による実施(現行どおり) 6 市による実施(規模拡充) 今後の改革改善の取組と、もたらそうとする効果 林道あるいは、作業道の整備については、長期計画の展望に立った計画的な整備と適切な維持管理、災害復旧事業等により林業生産基盤 改革改善内容 である道路としての機能を向上させていく必要がある。今後の林業振興のためにも継続した整備が必要である。 カマルギル L Z 物体式用

|    | 収单は | マ 香による | 5期符成: | 果  |
|----|-----|--------|-------|----|
|    | /   |        | コスト   |    |
|    |     | 削減     | 維持    | 増加 |
|    | 向上  |        |       |    |
| 成果 | 維持  |        | •     |    |
|    | 低下  |        |       |    |

| 外部 | 部評価の実施  | 無 | 実施年度 |  |
|----|---------|---|------|--|
| 改  | H25進捗状況 |   |      |  |
| 善進 | H25取組内容 |   |      |  |

| 边質索木柱剛                   | (委員からの意見等) |
|--------------------------|------------|
| 決算審査特別<br>委員会における<br>意見等 | 特になし       |
|                          |            |

道整備交付金事業 Page 3 of 3

事務事業評価票

所管部長等名 農林水産部長 橋口 尚登 農林水産部 水産林務理

|                       |   |  |   | 川 吕珠           | ボロ                 |              | 辰怀小庄叩_小庄怀伤床                   |        |        |           |          |  |
|-----------------------|---|--|---|----------------|--------------------|--------------|-------------------------------|--------|--------|-----------|----------|--|
| 評価対象年度                | 平成25年度  |  |   | 課長名            |                    |              |                               | 沖田」    | 夏三     |           |          |  |
|                       |   |  | (Plan) 事務   | 事業の語           | 十画                 |              |                               |        |        |           |          |  |
|                       |   |  |   |                | 会計区                | 分            | 01 一般会計                       |        |        |           |          |  |
| 事務事業名                 | 二見漁港整備署   | 事業   |   |                | 款項目コード(詩           | 次-項-目)       | 05                            | _      | 03     | _         | 02       |  |
|                       |   |  |   |                | 事業コード(大-           | -中-小)        | 04                            | _      | 13     | _         | 04       |  |
|                       | 基本目標(章)   | 4  | 豊かさとにぎわいのある   | まち             |                    |              |                               |        |        |           |          |  |
| 施策の体系<br>(八代市総合計画に    | 施策の大綱(節) 【政   | 策】 1   | 豊かな農林水産業のまた   | 豊かな農林水産業のまちづくり |                    |              |                               |        |        |           |          |  |
| おける位置づけ) <sup>力</sup> | 施策の展開(項) 【施   | 策】 3   | 豊かで安定した水産業の振興   |                |                    |              |                               |        |        |           |          |  |
|                       | 具体的な施策と内容   | 1  | 生産基盤・環境の整備  |                |                    |              |                               |        |        |           |          |  |
| 事務事業の目的               | 漁業生産活動の基地として、地域の漁業活動を支える漁港を整備することにより、高齢者や女性就業者をはじめ、漁業者の安全性及び利便性の向上を図るとともに、水産物流通の効率化を図る。 |  |   |                |                    |              |                               |        |        |           |          |  |
|                       |   | <del>- &gt;-   -   -   -   -   -   -   -   -   -</del> |   |                | -                  |              | · ## -                        | 151    | / PL\- | 10 77 424 | <u> </u> |  |
| 事務事業の概要<br>(全体事業の内容)  | を有した新漁港整備に<br>する2号防波堤及び3·<br>(主な漁港施設)   | こついて <i>0</i><br>号防波堤                                  | 利用した天然漁港であったため<br>D二見漁協からの要望等を踏っ<br>の嵩上げを行うとともに、泊地<br>是:L=60m、3号防波堤:L=75m | まえ、平原<br>の浚渫す  | 找4年度から整<br>☑びに浚渫土砬 | 備を開始<br>少等によ | 台。平成25年<br>るアサリ漁 <sup>は</sup> | ■度は、基礎 | 楚地盤の   | 圧密沈       |          |  |
| 根拠法令、要綱等              | 漁港漁場整備法   |  |   |                |                    |              |                               |        |        |           |          |  |
| 実施手法                  | 全部直営  |  | 一部委託  |                | ● 全部委託             | ŧ            | 法令による                         |        | 1 義    | 務であ       | る        |  |
| (該当欄を選択)              | その他(  |  |   |                |                    | )            | (該当欄を選択)                      |        | ● 2 義  | 務では       | ない       |  |
| 事業期間                  | 開始年度  |  | 合併前   |                | 終了年                | 度            |                               | 平月     | t25年度  | Ī         |          |  |
|                       |   |  |   |                |                    |              |                               |        |        |           |          |  |

| \   | (Do)事務事業の実施  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|---|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|
|   | 評価対象年度の事業の内容   |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 対象 (誰・何を) 二見漁港  成果目標 (どのような効果をもたらしたいのか) 漁業者の安全性及び利便性の向上、並びに水産物流通の効率化。 | 内容 (手段、方法等) (平成25年度二見漁港施設及び周辺漁場整備内容) ○二見漁港浮き桟橋撤去復旧工事 ○二見漁港泊地浚渫工事 浚渫工 V=528m3 覆砂工 V=1,128m3 (浚渫土砂V=528m3、購入砂V=600m3) ○二見漁港防波堤修繕設計業務委託 ○二見漁港防波堤営上工事 2号・3号防波堤嵩上工 L=135.7m 等 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|   |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |

平成4年度の測量を皮切りに、計画的に防波堤や物揚場、標識等を整備。併せて、航路や泊地の浚渫、漁場への覆砂等を実施。

|                        |                |    | コスト推移              |    |        | 24年度決算     | 25年度決算     | 26年度予算 | 27年度見込 | 28年度見込 | 29年度見辺 |
|------------------------|----------------|----|--------------------|----|--------|------------|------------|--------|--------|--------|--------|
| 総事                     | 業              | 費  |                    |    | (単位:円) | _          | 21,399,000 | 0      | 0      | 0      | 0      |
|                        | 事美             | 業費 | (直接経費)             |    | (単位:円) | 24,994,200 | 19,509,000 | 0      | 0      | 0      | 0      |
|                        |                | 財  | 国県支出金              |    |        | 0          | 0          | 0      | 0      | 0      | 0      |
|                        |                | 源  | 地方債                |    |        | 0          | 0          | 0      | 0      | 0      | 0      |
|                        |                | 内訳 | その他特定財源 (特別会計→繰入金) |    | 0      | 0          | 0          | 0      | 0      | 0      |        |
|                        |                | 叭  | 一般財源 (特別会計→事業収入)   |    |        | 24,994,200 | 19,509,000 | 0      | 0      | 0      | 0      |
|                        |                |    | 人件費                |    |        | 24年度       | 25年度       | 26年度見込 | 27年度見込 | 28年度見込 | 29年度見過 |
|                        |                | 概算 | 拿人件費(正規職員)         |    | (単位:円) | -          | 1,890,000  | 0      | 0      | 0      | 0      |
|                        | 正規職員従事者数 (単位:) |    |                    |    | (単位:人) | _          | 0.27       | 0.00   | 0.00   | 0.00   | 0.00   |
| 臨時                     | ;職員            | 員等 | 従事者数               |    | (単位:人) | -          | 0.00       | 0.00   | 0.00   | 0.00   | 0.00   |
| 事                      |                |    | 指標名                | 単位 |        | 24年度       | 25年度       | 26年度   | 27年度   | 28年度   | 29年度   |
| 事業の                    | 1)             | 二月 | 見漁港整備進捗率(事業費ベース)   | %  | 計画     | -          | 100        |        |        |        |        |
| の活                     | •              |    |                    | 70 | 実績     | 97.2       | 100        | -      | -      | -      | -      |
| <b>新</b>               | 2              |    |                    |    | 計画     | -          |            |        |        |        |        |
| <b>5</b> 量             | J)             |    |                    |    | 実績     |            |            | -      | -      | -      | -      |
| <b>舌め旨票</b><br>の活動量・実績 | 3              |    |                    |    | 計画     | -          |            |        |        |        |        |
| ₹<br>績<br>の            | 9              |    |                    |    | 実績     |            |            | -      | -      | -      | -      |
| 数                      | 〈記             | 述欄 | 》※数値化できない場合        |    | •      |            |            | •      | •      | •      |        |
| 値化                     |                |    |                    |    |        |            |            |        |        |        |        |

二見漁港整備事業 Page 1 of 3

|                         |    | 指標名              | 指標設定の考え方                           | 単位 |    | 24年度 | 25年度 | 26年度 | 27年度 | 28年度 | 29年度 |
|-------------------------|----|------------------|------------------------------------|----|----|------|------|------|------|------|------|
|                         | 1  | 漁港施設内の<br>漁船事故件数 | 船舶航行及び荒天時の安全<br>が図られていると考えるた<br>め。 | 件  | 計画 | -    | 0    | 0    | 0    | 0    | 0    |
| もたらそう                   |    |                  |                                    | 11 | 実績 | 0    | 0    | -    | -    | -    | -    |
| そうとす                    | 2  |                  |                                    |    | 計画 | -    |      |      |      |      |      |
| <b>成果指標</b><br>・とする効果・は | 2  |                  |                                    |    | 実績 |      |      | -    | -    | -    | -    |
| 成果の数値化                  | 3  |                  |                                    |    | 計画 | -    |      |      |      |      |      |
| 花                       | 3  |                  |                                    |    | 実績 |      |      | -    | -    | -    | -    |
|                         | 〈記 | ·<br>述欄〉※数値化で    | きない場合                              |    |    |      |      |      |      |      |      |

|                     |   |   | (CI | neck) 事務事業の自 | 己評価   |
|---------------------|---|---|-----|--------------|---|
|                     |   | 着眼点   |     | チェック         | 判断理由  |
|                     |   | 【計画上の位置付け】                                    | •   | 結びつく         | 地域の漁業活動を支える基盤として、漁港施設を整備するものであり、総合計画に結びつくものである。                   |
|                     | 1 | 事業の目的が上位政策・施策に結び<br>つきますか                     |     | 一部結びつく       | , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,                             |
|                     |   |   |     | 結びつかない       |   |
|                     |   | 【市民ニーズ等の状況】                                   | •   | 薄れていない       | 水産資源が減少している中、後継者不足や漁業者の高齢化など、本<br>市の水産業を取り巻く環境は依然として厳しい状況が続いているが、 |
| 事業実施の<br><b>妥当性</b> | 2 | 市民ニーズや社会状況の変化により、<br>事業の役割が薄れていませんか           |     | 少し薄れている      | 漁港は、新鮮な水産物の安定生産・供給を図るための漁業活動を支                                    |
|                     |   |   |     | 薄れている        | える基盤として必要不可欠な施設である。   |
|                     |   | 【市が関与する必要性】<br>市が事業主体であることは妥当です               | •   | 妥当である        | 二見漁港は市が管理する第一種漁港である。  |
|                     | 3 | か(国・県・民間と競合していませんか)                           |     | あまり妥当でない     |   |
|                     |   | (10,1)  |     | 妥当でない        |   |
|                     |   | 【事業の達成状況】                                     | •   | 順調である        | 漁港整備については、予定どおり平成25年度で完了した。                                       |
|                     | 1 | 成果目標の達成状況は順調に推移していますか                         |     | あまり順調ではない    |   |
| 活動内容の               |   |   |     | 順調ではない       |   |
| 有効性                 |   | 【事業内容の見直し】<br>成果を向上させるため、事業内容を見<br>直す全地けなりますか | •   | 見直しの余地はない    | 漁港整備については平成25年度で完了。今後は漁港施設の適切な<br>維持管理に努めていく。                     |
|                     | 2 | 直す余地はありますか<br>(成果をこれ以上伸ばすことはできま               |     | 検討の余地あり      |   |
|                     |   | せんか)  |     | 見直すべき        |   |
|                     |   | 【民間委託等】<br>民間委託、指定管理者制度の導入な                   | •   | できない         | 設計及び工事請負については民間への委託により実施。工事監理について、仮に委託を行った場合、コストは割高である。           |
|                     | 1 | どにより、成果を下げずにコストを削減                            |     | 検討の余地あり      |   |
|                     |   | することは可能ですか                                    |     | 可能である        |   |
|                     |   | 【他事業との統合・連携】                                  | •   | できない         | 類似事業もなく、また、他の漁港から地理的に距離があるため困難である。                                |
|                     | 2 | 目的や形態が類似・関連する事業と<br>の統合・連携によりコストの削減は可         |     | 検討の余地あり      |   |
| 実施方法の               |   | 能ですか  |     | 可能である        |   |
| 効率性                 |   | 【人件費の見直し】<br>現状の成果を下げずに非常勤職員等                 | •   | できない         | 事業は、主に設計及び工事請負であるため、非常勤職員等による対応は困難である。                            |
|                     | 3 | による対応その他の方法により、人件                             |     | 検討の余地あり      |   |
|                     |   | 費を削減することは可能ですか                                |     | 可能である        |   |
|                     |   | 【受益者負担の適正化】<br>事務事業の目的や成果から考えて、               | •   | 見直しの余地はない    | 漁港管理者として、漁業者の安全性及び利便性の向上等を図ってい<br>くことは市の責務である。                    |
|                     | 4 | 受益者負担を見直す必要はあります<br>か(引上げ・引下げ・新たな負担・廃         |     | 検討の余地あり      |   |
|                     |   | 止)  |     | 見直しが必要である    |   |

二見漁港整備事業 Page 2 of 3

|      |                    |   |    |        |        |     |      | (Actio            | n)事務事業の方向性と改革改善                           |                         |           |  |  |  |  |
|------|--------------------|---|----|--------|--------|-----|------|-------------------|---|-------------------------|-----------|--|--|--|--|
|      |                    |   | •  | 1 不要() | 廃止)    |     |      |                   | (今後の方向性の理由)                               |                         |           |  |  |  |  |
|      |                    |   |    | 2 民間実  | €施     |     |      |                   | 二見漁港の整備については平成25年度で完了であり、今後は、市内漁港維持管理事業等に |                         |           |  |  |  |  |
|      | 今後の                |   |    | 3 市による | 5(民間委託 | モの拡 | 大大・万 | 市民等との協働等)         | さ継さ、 温港施設の週切な維持管理に 発めている。                 | き継ぎ、漁港施設の適切な維持管理に努めていく。 |           |  |  |  |  |
|      | <b>方向性</b><br>当欄を選 |   |    | 4 市によ  | る実施(   | 要改  | 善)   |                   |   |                         |           |  |  |  |  |
| (II) | - IM C Z           | . 1/ </td <td></td> <td>5 市によ</td> <td>る実施(</td> <td>現行</td> <td>どおり</td> <td>り)</td> <td></td> <td></td> <td></td> |    | 5 市によ  | る実施(   | 現行  | どおり  | り)                |   |                         |           |  |  |  |  |
|      |                    |   |    | 6 市によ  | る実施(   | 規模  | 拡充   | )                 |   |                         |           |  |  |  |  |
|      |                    |   |    |        |        |     |      |                   | 今後の改革改善の取組と、もたらそうとする効果                    |                         |           |  |  |  |  |
| 3h-3 | 直改善内               | h sta   | 二見 | .漁港の   | 整備につ   | いて  | は平   | 成25年度で完了          | であり、今後は、市内漁港維持管理事業等に引き継ぎ、漁港旅              | 設の適切な                   | 維持管理に努める。 |  |  |  |  |
| 以上   | P以音P               | 7A  |    |        |        |     |      |                   |   |                         |           |  |  |  |  |
|      |                    |   |    |        |        |     |      |                   |   |                         |           |  |  |  |  |
|      | 改革改                | 対善に   | よる | 期待成    | 果      |     |      |                   |   |                         |           |  |  |  |  |
|      | /                  |   |    | コスト    |        |     | 外    | 部評価の実施            | 無   | 実施年度                    |           |  |  |  |  |
|      |                    | 削   | 減  | 維持     | 増加     |     | 改    | H25進捗状況           |   |                         |           |  |  |  |  |
|      | 印十                 |   |    |        |        |     | 善進   |                   |   |                         |           |  |  |  |  |
|      | ЫŢ                 |   |    |        |        |     | 排    | H25取組内容           |   |                         |           |  |  |  |  |
| 成果   | 維持                 |   |    |        |        |     | 状況等  | I IZ JAXALI PI A  |   |                         |           |  |  |  |  |
| 果    | 小庄 1-77            | •   |    |        |        |     | *    |                   |   |                         |           |  |  |  |  |
|      | 低下                 |   |    |        |        |     |      |                   |   |                         |           |  |  |  |  |
|      | 125 1              |   |    |        |        |     |      |                   | (委員からの意見等)                                |                         |           |  |  |  |  |
|      |                    |   |    |        |        |     | 決算   | 算審査特別 特(<br>会における | こなし                                       |                         |           |  |  |  |  |
|      |                    |   |    |        |        |     |      | 意見等               |   |                         |           |  |  |  |  |

二見漁港整備事業 Page 3 of 3

事務事業評価票

所管部長等名 農林水産部長 橋口 尚登 正竺钾. 反夕 農林水产邨 水产林務理

|                    |             |              |                 | Ĭ    | IN II    |        | /JR 111 | 71 (/ <del>*</del> HIP_7) | */ <u>*</u> ****** | אשוני |    |
|--------------------|-------------|--------------|-----------------|------|----------|--------|---------|---------------------------|--------------------|-------|----|
| 評価対象年度             | 平成25年度      |              |                 | 課長名  |          |        |         | 沖田」                       | 是三                 |       |    |
|                    |             |              | (Plan)事務署       | 事業の記 | 十画       |        |         |                           |                    |       |    |
|                    |             |              |                 |      | 会計区      | 分      |         | 01 -                      | 一般会討               | +     |    |
| 事務事業名              | 八代産材利用      | 促進事          | 業               |      | 款項目コード(詩 | 欠-項-目) | 05      | _                         | 02                 | _     | 02 |
|                    |             |              |                 |      | 事業コード(大- | -中-小)  | 04      | _                         | 12                 | _     | 13 |
|                    | 基本目標(章)     | 4            | 豊かさとにぎわいのある。    | まち   |          |        |         |                           |                    |       |    |
| 施策の体系<br>(八代市総合計画に | 施策の大綱(節) 【政 | 女策】 1        | 豊かな農林水産業のまち     | づくり  |          |        |         |                           |                    |       |    |
| おける位置づけ)           | 施策の展開(項) 【旅 | 施策】 2        | 緑を育てる林業経営の安     | 定    |          |        |         |                           |                    |       |    |
|                    | 具体的な施策と内容   | 2            | 林業経営の安定         |      |          |        |         |                           |                    |       |    |
| 東政事業の日始            | 八代産木材の需要を   | 拡大する         | ことにより、木材関連産業等の  | 振興を図 | 別、八代市の   | 林業の流   | 舌性化及び   | 森林の健全                     | ≧化を促               | 進する。  |    |
| 事務事業の目的            |             |              |                 |      |          |        |         |                           |                    |       |    |
|                    | 八代産木材を利用し   | た家屋の         | 新築、増改築、リフォームに対し | て助成  | を行う。     |        |         |                           |                    |       |    |
| 事務事業の概要            |             |              |                 |      |          |        |         |                           |                    |       |    |
| (全体事業の内容)          |             |              |                 |      |          |        |         |                           |                    |       |    |
|                    |             |              |                 |      |          |        |         |                           |                    |       |    |
| 根拠法令、要綱等           | 八代産材利用促進事   | <b>事業補助金</b> | <b>全交付要綱</b>    |      |          |        |         |                           |                    |       |    |
| 実施手法               | ● 全部直営      |              | 一部委託            |      | 全部委託     | £      | 法令による   | 実施義務                      | 1 🛊                | 養務である | 5  |
| (該当欄を選択)           | その他(        |              |                 |      |          | )      | (該当欄    | を選択)                      | ● 2 ♣              | 養務では  | ない |
| 事業期間               | 開始年度        |              | 平成21年度          |      | 終了年      | 度      |         |                           | 未定                 |       |    |
| <u> </u>           |             |              | ·               |      |          |        |         |                           |                    |       |    |

## (Do) 事務事業の実施 評価対象年度の事業の内容 対象 (誰・何を) 内容 (手段、方法等) 家屋の新築、増改築、リフォームをする市民または転入予定者 八代産材を利用した家屋の新築等に対して助成を行う。 1坪あたり4,000円とし、新築で200,000万円、増改築、リフォームで100,000円 を上限とする。 成果目標 (どのような効果をもたらしたいのか) また、市税の滞納がないこと、市内の事業者の施工によること、八代市産の畳 を6畳以上使用することなどを条件としている。 木材の需要拡大を図るとともに、本市林業の活性化及び林業所得の向上を促 進する。 また、あわせて八代市への定住化の促進を図る。 事業開始時点からこれまでの状況変化等

平成23年度からリフォームに対し最大100,000円の助成を追加した。 平成24年度には、いったん利用者が急激に落ち込んだが、消費税率の引き上げが予定されたことで平成25年度は申請が増えた。

| _           |              |           | コスト推移              |        |        | 24年度決算    | 25年度決算    | 26年度予算    | 27年度見込    | 28年度見込    | 29年度見記    |
|-------------|--------------|-----------|--------------------|--------|--------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 総事          | 業            | ŧ         |                    |        | (単位:円) | _         | 8,754,000 | 7,450,000 | 7,450,000 | 7,450,000 | 7,450,000 |
|             | 事業           | <b>美</b>  | (直接経費)             |        | (単位:円) | 2,943,000 | 6,304,000 | 5,000,000 | 5,000,000 | 5,000,000 | 5,000,000 |
|             |              | 財         | 国県支出金              |        |        | 0         | 0         | 0         | 0         | 0         | 0         |
|             |              | 源         | 地方債                |        |        | 0         | 0         | 0         | 0         | 0         | 0         |
|             |              | 内訳        | その他特定財源 (特別会計→繰入金) |        |        | 0         | 0         | 0         | 0         | 0         | 0         |
|             |              |           | 一般財源 (特別会計→事業収入)   |        |        | 2,943,000 | 6,304,000 | 5,000,000 | 5,000,000 | 5,000,000 | 5,000,00  |
|             | 人件費          |           |                    |        |        |           | 25年度      | 26年度見込    | 27年度見込    | 28年度見込    | 29年度見     |
|             |              | 概算        | 算人件費(正規職員)         |        | (単位:円) | -         | 2,450,000 | 2,450,000 | 2,450,000 | 2,450,000 | 2,450,00  |
| 正規職員従事者数 (単 |              |           |                    | (単位:人) | _      | 0.35      | 0.35      | 0.35      | 0.35      | 0.35      |           |
| 臨時          | 職員           | <b>美等</b> | 従事者数               |        | (単位:人) | _         | 0.00      | 0.00      | 0.00      | 0.00      | 0.00      |
| 事           |              |           | 指標名                | 単位     |        | 24年度      | 25年度      | 26年度      | 27年度      | 28年度      | 29年度      |
| 事業の         | ( <u>1</u> ) | 申請        | 青件数                | 件      | 計画     | _         | 35        | 35        | 35        | 35        | 35        |
| の活          | <b>①</b>     |           |                    | IT     | 実績     | 21        | 44        | -         | -         | -         | 1         |
| 活動量         | 2            |           |                    |        | 計画     | _         |           |           |           |           |           |
| i<br>量<br>· | ٧            |           |                    |        | 実績     |           |           | -         | -         | -         | -         |
| 量・実績        | 3            |           |                    |        | 計画     | _         |           |           |           |           |           |
|             | 9            |           |                    |        | 実績     |           |           | 1         | 1         | -         | ı         |
| の数          | 〈記:          | 述欄        | 別〉※数値化できない場合       |        |        | •         |           |           |           |           | •         |
| 値化          |              |           |                    |        |        |           |           |           |           |           |           |

八代産材利用促進事業 Page 1 of 3

|                         |    | 指標名            | 指標設定の考え方 | 単位 |    | 24年度   | 25年度   | 26年度 | 27年度 | 28年度 | 29年度 |
|-------------------------|----|----------------|----------|----|----|--------|--------|------|------|------|------|
|                         | 1  | 八代産木材使<br>用材積数 |          | m³ | 計画 | -      | 500    | 500  | 500  | 500  | 500  |
| もたらそう                   |    |                |          | "" | 実績 | 274.83 | 592.14 | -    | -    | -    | -    |
| っそうとす<br><b>成</b>       | 0  |                |          |    | 計画 | -      |        |      |      |      |      |
| <b>成果指標</b><br>・とする効果・1 | 2  |                |          |    | 実績 |        |        | -    | -    | -    | -    |
| 成果の数値化                  | 0  |                |          |    | 計画 | -      |        |      |      |      |      |
| 化                       | 3  |                |          |    | 実績 |        |        | -    | -    | -    | -    |
|                         | 〈記 | ·<br>述欄〉※数値化で  | きない場合    |    | •  |        |        |      |      |      |      |

|                     |   |  | (C | heck) 事務事業の自                      | 1己評価  |
|---------------------|---|--|----|-----------------------------------|---|
|                     |   | 着眼点  |    | チェック                              | 判断理由  |
|                     | 1 | 【計画上の位置付け】<br>事業の目的が上位政策・施策に結び<br>つきますか  | •  | 結びつく<br>一部結びつく<br>結びつかない          | 市総合計画に掲載されているとともに、市長マニフェストに掲げてある「農林水産業振興」のなかでの林業振興の根幹ともいえる木造住宅新築に大きな効果を得られる。  |
| 事業実施の<br><b>妥当性</b> | 2 | 【市民ニーズ等の状況】<br>市民ニーズや社会状況の変化により、<br>事業の役割が薄れていませんか                             |    | 薄れていない<br>少し薄れている<br>薄れている        | 木造住宅建築の推進に重要な役割を果たしている。   |
|                     | 3 | が事業主体であることは妥当です<br>(国・県・民間と競合していません<br>)                                       | •  | 妥当である<br>あまり妥当でない<br>妥当でない        | 居住地、生産地、施工業者の住所地等すべて八代市であることが条件であるため、国、県、民間とは競合しない。   |
| 活動内容の               | 1 | 【事業の達成状況】<br>成果目標の達成状況は順調に推移し<br>ていますか   | •  | 順調である<br>あまり順調ではない<br>順調ではない      | 目的としている林業の活性化及び森林の健全化については、造林、<br>下刈、間伐などの森林施業の事業量が伸びており、おおむね順調で<br>あると言える。   |
| 有効性                 | 2 | 【事業内容の見直し】<br>成果を向上させるため、事業内容を見<br>直す余地はありますか<br>(成果をこれ以上伸ばすことはできま<br>せんか)     | •  | 見直しの余地はない<br>検討の余地あり<br>見直すべき     | 木材関連産業の状況を見ながら、ある程度の役割を果たせたと判断できれば、事業縮小や廃止の時期等を検討していく必要がある。   |
|                     | 1 | 【民間委託等】<br>民間委託、指定管理者制度の導入な<br>どにより、成果を下げずにコストを削減<br>することは可能ですか                | •  | できない<br>検討の余地あり<br>可能である          | 市の補助事業であり、民間委託等は想定していない。<br>住民情報や税の滞納状況を確認する事務等もあり困難である。  |
| 実施方法の               | 2 | 【他事業との統合・連携】<br>目的や形態が類似・関連する事業と<br>の統合・連携によりコストの削減は可<br>能ですか                  | •  | できない<br>検討の余地あり<br>可能である          | 定住促進関係施策で窓口一本化については検討の余地はある。また、八代産の畳を6畳以上設置する条件があり、農業生産流通課の畳表張替促進事業と重なる部分があるが、本事業は現場確認等の審査や事務手続きが複雑で、件数的に極めて少ないので統合は困難と思える。 |
| 効率性                 | 3 | 【人件費の見直し】<br>現状の成果を下げずに非常勤職員等<br>による対応その他の方法により、人件<br>費を削減することは可能ですか           | •  | できない<br>検討の余地あり<br>可能である          | 事務的な書類作成や検査の業務が中心で、特別な専門知識等は必要としないが、本事業のみでの非常勤職員対応は事務量的に少ない。他の事業と併せて対応すれば、検討の余地はある。   |
|                     | 4 | 【受益者負担の適正化】<br>事務事業の目的や成果から考えて、<br>受益者負担を見直す必要はあります<br>か(引上げ・引下げ・新たな負担・廃<br>止) | •  | 見直しの余地はない<br>検討の余地あり<br>見直しが必要である | 木造住宅新築の総事業費に比べると補助金額はわずかであることから、木材価格の変動や近隣自治体の同様の制度を考慮して、検討していく必要がある。   |

八代産材利用促進事業 Page 2 of 3

#### (Action) 事務事業の方向性と改革改善

# 今後の **方向性** (該当欄を選択)

1 不要(廃止)

(今後の方向性の理由)

- 2 民間実施
- 3 市による(民間委託の拡大・市民等との協働等)
- 4 市による実施(要改善)
- 5 市による実施(現行どおり) 6 市による実施(規模拡充)
- 平成24年度は、予算額の6割を割り込んだものの、平成25年度は消費税率引き上げ前ということもあり、1.3倍程度の実績となるなど、経済情勢で左右されやすい。平成22年度の外部評価で は、拡充すべきとのことであったが、当分は現在のレベルで推進していきたい。

#### 今後の改革改善の取組と、もたらそうとする効果

八代産木材の需要を拡大することにより、木材関連産業等の振興を図り、八代市の林業の活性化及び森林の健全化を進めていくが、本事業以 **改革改善内容** 外の施策も合せて実施していくことにより効果を大きくしていきたい。

## 改革改善による期待成果

|    | /  |    | コスト |    |
|----|----|----|-----|----|
|    |    | 削減 | 維持  | 増加 |
|    | 向上 |    |     |    |
| 成果 | 維持 |    | •   |    |
|    | 低下 |    |     |    |

| タ       | ト部評価の実施 | 有:外部評価(市民事業仕分け)   | 実施年度                    | 平成22年度    |
|---------|---------|---|-------------------------|-----------|
| 76      | H25進捗状況 | 3. 現状推進   |                         |           |
| 改善進捗状況等 | H25取組内容 | 要項を改正し、他の補助事業との併用を可能とすることとした国による「木材利用ポイント」制度が平成25年4月にさかのぼ600,000円相当のポイントが受けられ、商品券や地域の特産品た。基本的には、類似した制度であるが、本市の事業は、市産よる助成で、建築費用に直接充てることができる。 | 。<br>って創設され、<br>品等との交換: | ができることとなっ |

|                | (委員からの意見等) |
|----------------|------------|
|                | 特になし       |
| 委員会における<br>意見等 |            |
| 7EX 7C ()      |            |

八代産材利用促進事業 Page 3 of 3 No 4250739

事務事業評価票

 所管部長等名
 農林水産部長
 橋口
 尚登

 所管課・係名
 農林水産部\_水産林務課

 課長名
 沖田
 息=

|                    |   |                            | 所官誅                               | *1余石              |       | 层体小性的_/   | N <b>性</b> |             |  |  |
|--------------------|---|----------------------------|-----------------------------------|-------------------|-------|-----------|------------|-------------|--|--|
| 評価対象年度             | 平成25年度  |                            | 課長名                               |                   |       | 沖田        | 良三         |             |  |  |
|                    |   |                            | (Plan) 事務事業の                      | 計画                |       |           |            |             |  |  |
|                    |   |                            |                                   | 会計区               | 分     | 01        | 一般会計       |             |  |  |
| 事務事業名              | 木質バイオマス   | エネル                        | レギー利活用計画策定事業                      | 2事業 款項目コード(款-項-目) |       | 05 —      | 02 —       | - 02        |  |  |
|                    |   |                            |                                   | 事業コード(大・          | -中-小) | 04 —      | 12 —       | - 20        |  |  |
|                    | 基本目標(章)   | 4                          | 豊かさとにぎわいのあるまち                     |                   |       |           |            |             |  |  |
| 施策の体系<br>(八代市総合計画に | 施策の大綱(節) 【政   | 大綱(節)【政策】 1 豊かな農林水産業のまちづくり |                                   |                   |       |           |            |             |  |  |
| おける位置づけ)           | 施策の展開(項) 【施   | 展開(項)【施策】 2 緑を育てる林業経営の安定   |                                   |                   |       |           |            |             |  |  |
|                    | 具体的な施策と内容 2 林業経営の安定   |                            |                                   |                   |       |           |            |             |  |  |
|                    |   |                            | 用したエネルギーを、地元の観光施設                 |                   |       |           |            | <b>葬するた</b> |  |  |
| 事務事業の目的            | め、本計画を束定し、  | <b>林地残</b> 秒               | †の有効利用、山林の治水、防災機能の                | り維持미上、私           | ↑兼征争  | 者の雇用催保に繋げ | <b>る</b> 。 |             |  |  |
|                    |   |                            | 及び持続可能な生産システム調査・計                 |                   |       |           |            |             |  |  |
| 事務事業の概要            |   |                            | :ネルギー量の算出、検討、生産システ<br>、の調査、計画及び設計 | ム計画の作成            | Ž.    |           |            |             |  |  |
| (全体事業の内容)          |   |                            | 料整理報告書作成、温泉施設木質ボ                  | イラー設置基準           | と 計画書 | 、設計書及び図面の | 作成         |             |  |  |
|                    |   |                            | の6次産業化への調査・計画                     |                   |       |           |            |             |  |  |
|                    | ・木質バイオマスボイラーの排熱を利用した食品乾燥施設の検討、調査、計画<br>熊本県総合エネルギー計画・市町村モデル地域支援事業補助金交付要領 |                            |                                   |                   |       |           |            |             |  |  |
| 似拠広り、女神守           | 熊本宗秘ロエイルイ   |                            | 町村モナル地域又版事業補助並又                   | 力女限               |       |           |            |             |  |  |
| 実施手法               | 全部直営  |                            | 一部委託                              | ● 全部委請            | ŧ     | 法令による実施義務 | 1 義務       | である         |  |  |
| (該当欄を選択)           | その他(  |                            |                                   | )                 |       | (該当欄を選択)  | ● 2 義務     | ではない        |  |  |
| 事業期間               | 開始年度  |                            | 平成25年度                            | 終了年               | 度     | 平         | 成25年度      |             |  |  |

# (Do) 事務事業の実施 評価対象年度の事業の内容 対象 (誰・何を) 八代市木質パイオマス利活用計画 木質バイオマスボイラー設置設計 成果目標 (どのような効果をもたらしたいのか) 林地に残されたままの木材を、有効に活用することで解消し、山林の治水、防災機能の維持向上、林業従事者の雇用確保につなげる。

## 事業開始時点からこれまでの状況変化等

|        | コスト推移                    |    |   |        |        | 24年度決算    | 25年度決算     | 26年度予算 | 27年度見込 | 28年度見込 | 29年度見記 |
|--------|--------------------------|----|---|--------|--------|-----------|------------|--------|--------|--------|--------|
| 総事     | 総事業費 (単位:円               |    |   |        |        | -         | 12,298,240 | 0      | 0      | 0      | 0      |
|        | 事業費(直接経費) (単位:円          |    |   | 単位:円)  |        | 9,498,240 | 0          | 0      | 0      | 0      |        |
|        |                          | 財  | 国県支出金   |        |        |           | 4,725,000  | 0      | 0      | 0      | 0      |
|        |                          | 源  | 地方債   |        |        |           | 0          | 0      | 0      | 0      | 0      |
|        |                          | 内訳 | その他特定財源 (特別会計→繰入金)                                    |        |        |           | 0          | 0      | 0      | 0      | 0      |
|        |                          | 八  | 一般財源 (特別会計→事業収入)                                      |        |        |           | 4,773,240  | 0      | 0      | 0      | 0      |
|        |                          |    | 人件費   |        |        | 24年度      | 25年度       | 26年度見込 | 27年度見込 | 28年度見込 | 29年度見: |
|        |                          | 概算 | [人件費(正規職員)  | (      | (単位:円) | -         | 2,800,000  | 0      | 0      | 0      | 0      |
|        | 正規職員従事者数 (単位:人           |    |   | (単位:人) | -      | 0.40      | 0.00       | 0.00   | 0.00   | 0.00   |        |
| 臨時     | 職員                       | 等  | <b></b><br>走事者数                                       | (      | (単位:人) | -         | 0.00       | 0.00   | 0.00   | 0.00   | 0.00   |
| 事      |                          |    | 指標名   | 単位     |        | 24年度      | 25年度       | 26年度   | 27年度   | 28年度   | 29年度   |
| 業      | 1                        | 八什 | は市木質バイオマス利活用計画 おおおお かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいか |        | 計画     | -         | 1          |        |        |        |        |
| の<br>活 | $\odot$                  |    |   |        | 実績     |           | 1          | -      | ı      | -      | _      |
| 動      | 2                        | 木質 | 【バイオマスボイラー設置設計  |        | 計画     | -         | 1          |        |        |        |        |
| 量      | 2                        |    |   |        | 実績     |           | 1          | -      | ı      | -      | _      |
| 加量・実績  | 木質バイオマス利活用計画策定委員会の開催   ③ |    |   | 計画     | -      | 4         |            |        |        |        |        |
|        | (J)                      |    |   | İFI    | 実績     |           | 4          | -      | -      | -      | -      |
| 奴      | 〈記i                      | 述欄 | 〉※数値化できない場合   |        |        |           |            |        |        |        |        |
| 値化     |                          |    |   |        |        |           |            |        |        |        |        |

|                         |   | 指標名 | 指標設定の考え方 | 単位 |    | 24年度 | 25年度 | 26年度 | 27年度 | 28年度 | 29年度 |
|-------------------------|---|-----|----------|----|----|------|------|------|------|------|------|
|                         | 1 |     |          |    | 計画 | 1    |      |      |      |      |      |
| もたらそう                   |   |     |          |    | 実績 |      |      | 1    | -    | -    | -    |
| そうとす                    | 2 |     |          |    | 計画 | -    |      |      |      |      |      |
| <b>成果指標</b><br>シとする効果・1 |   |     |          |    | 実績 |      |      | -    | -    | -    | -    |
| 成果の数値化                  | 2 |     |          |    | 計画 | -    |      |      |      |      |      |
| 化                       | 3 |     |          |    | 実績 |      |      | -    | -    | -    | -    |

〈記述欄〉※数値化できない場合

H26以降は、木質バイオマス利活用推進事業として展開していくこととなる。

|                     |   |  | (C | heck) 事務事業の自                      | 己評価   |
|---------------------|---|--|----|-----------------------------------|---|
|                     |   | 着眼点  |    | チェック                              | 判断理由  |
|                     | 1 | 【計画上の位置付け】<br>事業の目的が上位政策・施策に結び<br>つきますか  | •  | 結びつく<br>一部結びつく<br>結びつかない          | 市総合計画において、林地残材や間伐材などの有効利用を図るため、木質バイオマスを燃料とするボイラーを市有施設に導入するとともに、市内企業や個人への普及を促進していくとしている。 |
| 事業実施の<br><b>妥当性</b> | 2 | 【市民ニーズ等の状況】<br>市民ニーズや社会状況の変化により、<br>事業の役割が薄れていませんか                             | •  | 薄れていない<br>少し薄れている<br>薄れている        | バイオマスエネルギー等の再生が可能なエネルギーは、地球温暖化の防止や循環方社会の形成に大きく役立つとともに、新エネルギーとして産業の振興や農山漁村の活性化が期待されている。  |
|                     | 3 | 【市が関与する必要性】<br>市が事業主体であることは妥当です<br>か(国・県・民間と競合していません<br>か)                     |    | 妥当である<br>あまり妥当でない<br>妥当でない        | 本事業は県と市の負担により実施したが、次年度より実施していく事業は、国、県、市及び民間が一体となって進めていく。                                |
| 活動内容の               | 1 | 【事業の達成状況】<br>成果目標の達成状況は順調に推移し<br>ていますか   | •  | 順調である<br>あまり順調ではない<br>順調ではない      | H25年度は、計画の策定等で完了している。   |
| 有効性                 | 2 | 【事業内容の見直し】<br>成果を向上させるため、事業内容を見<br>直す余地はありますか<br>(成果をこれ以上伸ばすことはできま<br>せんか)     |    | 見直しの余地はない<br>検討の余地あり<br>見直すべき     | H25年度は、計画の策定等で完了している。   |
|                     | 1 | 【民間委託等】<br>民間委託、指定管理者制度の導入な<br>どにより、成果を下げずにコストを削減<br>することは可能ですか                |    | できない<br>検討の余地あり<br>可能である          | 委託により実施した。  |
| 実施方法の               | 2 | 【他事業との統合・連携】<br>目的や形態が類似・関連する事業と<br>の統合・連携によりコストの削減は可<br>能ですか                  | •  | できない<br>検討の余地あり<br>可能である          | H25年度は、計画の策定等で完了している。<br>次に策定の可能性があるのは、5年後のH30年度であるが<br>、再度策定する際は検討したい                  |
| 効率性                 | 3 | 【人件費の見直し】<br>現状の成果を下げずに非常勤職員等<br>による対応その他の方法により、人件<br>費を削減することは可能ですか           | •  | できない<br>検討の余地あり<br>可能である          | H25年度は、計画の策定等で完了している。<br>基本的にコンサルタント業者や専門知識を持つ者への委託となるため、困難である。                         |
|                     | 4 | 【受益者負担の適正化】<br>事務事業の目的や成果から考えて、<br>受益者負担を見直す必要はあります<br>か(引上げ・引下げ・新たな負担・廃<br>止) | •  | 見直しの余地はない<br>検討の余地あり<br>見直しが必要である | 本年度は、市が行う事業計画の策定であり、受益者の負担等は想定していない。  |

|    |                                      |     |     |                |    |          |               | (Actio                   | ion) 事務事業の方向性と改革改善  |   |
|----|--------------------------------------|-----|-----|----------------|----|----------|---------------|--------------------------|---|---|
|    | <b>今後の</b><br>方向性<br><sup>当欄を選</sup> |     |     | 4 市によ<br>5 市によ | €施 | 要改<br>現行 | 善)<br>どお      |                          | (今後の方向性の理由)<br>本事業は、計画の策定等で完了している。<br>H26年度以降は、この計画に基づき、市としては木質バイオマス利活事業を展開していくこととなる。その他公共施設の管理者等には、計ねることになる。 |   |
|    |                                      |     |     |                |    |          |               |                          | 今後の改革改善の取組と、もたらそうとする効果  |   |
| 改革 | <b>直改善</b> 内                         | 内容  |     |                |    |          |               |                          |   |   |
|    | 改革改                                  | 女善! | こよる | 期待成            | 果  |          |               |                          |   |   |
| /  |                                      |     |     | コスト            |    |          | 外             | 部評価の実施                   | 無 無 実施:   | 度 |
|    |                                      | 削   | 減   | 維持             | 増加 |          | 改             | H25進捗状況                  | 5. 未着手  |   |
|    | 向上                                   |     |     |                |    |          | 等進捗状          | H25取組内容                  | 3   |   |
| 成果 | 維持                                   |     |     |                |    |          | <b>认</b><br>深 | H25权和内各                  |   |   |
|    | 低下                                   |     |     |                |    |          |               |                          |   |   |
|    | 当の                                   |     |     |                |    |          | 決算委員          | 算審査特別 特<br>通会における<br>意見等 | (委員からの意見等)<br>特になし  |   |

No 4250738

## 事務事業評価票

 所管部長等名
 農林水産部長橋口尚登

 所管課·係名
 農林水産部\_水産林務課

 課長名
 沖田良三

|                    |                                      |                           |                  | 50 四菜, | ボロ       |        | 辰怀刀    | (连叩_小         | 连怀犹         | <b>i</b> 本 |                    |
|--------------------|--------------------------------------|---------------------------|------------------|--------|----------|--------|--------|---------------|-------------|------------|--------------------|
| 評価対象年度             | 平成25年度                               |                           |                  | 課長名    |          |        |        | 沖田            | 良三          |            |                    |
|                    |                                      |                           | (Plan)事務系        | 事業の記   | 十画       |        |        |               |             |            |                    |
|                    |                                      |                           |                  |        | 会計区      | 分      |        | 01            | 一般会詞        | +          |                    |
| 事務事業名              | 有害鳥獸被害效                              | 対策事                       | 業                |        | 款項目コード(詩 | 吹−項−目) | 05     | _             | 02          |            | 02                 |
|                    |                                      |                           |                  |        | 事業コード(大- | -中-小)  | 04     | _             | 12          |            | 19                 |
|                    | 基本目標(章)                              | 4                         | 豊かさとにぎわいのある。     | まち     |          |        |        |               |             |            |                    |
| 施策の体系<br>(八代市総合計画に | 施策の大綱(節) 【政                          | 岡(節)【政策】 1 豊かな農林水産業のまちづくり |                  |        |          |        |        |               |             |            |                    |
| おける位置づけ)           | 施策の展開(項) 【施                          | 展開(項)【施策】 2 緑を育てる林業経営の安定  |                  |        |          |        |        |               |             |            |                    |
|                    | 具体的な施策と内容                            | 3                         | 森林の保全・育成         |        |          |        |        |               |             |            |                    |
| 事務事業の目的            | 野生動物による農林産                           | 産物の被                      | 害防止及び市民生活の安全の    | 確保     |          |        |        |               |             |            | •                  |
| 争伤争未の日的            |                                      |                           |                  |        |          |        |        |               |             |            |                    |
|                    |                                      |                           | とづき、平成24年度から鳥獣被害 |        |          |        |        | <b>たじか</b> ある | カーエ系        | LI R       | <b>Ω +± γ</b> # *b |
| 事務事業の概要            | 美施隊員は、中の非常<br> の向上を目指す。              | 书勤辄貝                      | として位置付け、命令に基づい   | し公務と   | して出勤し、   | 終忌時に   | ・七刈心する | など効率は         | <b>別に活製</b> | ル、一層       | の拥獲剱               |
| (全体事業の内容)          | また、防護対策として                           | 電柵等の                      | )設置費用を助成している。    |        |          |        |        |               |             |            |                    |
|                    |                                      |                           |                  |        |          |        |        |               |             |            |                    |
| 根拠法令、要綱等           | 鳥獣保護法、鳥獣による農林水産業等に係る被害の防止の特別措置に関する法律 |                           |                  |        |          |        |        |               |             |            |                    |
| 実施手法               | ● 全部直営                               |                           | 一部委託             |        | 全部委託     | ŧ      | 法令による  |               | 1 1         | 義務である      | る                  |
| (該当欄を選択)           | その他(                                 |                           |                  |        |          | )      | (該当欄を  | 欄を選択)         | ● 2         | 義務では       | ない                 |
| 事業期間               | 開始年度                                 | •                         | 合併前              | •      | 終了年      | 度      |        | •             | 未定          |            |                    |
|                    |                                      |                           |                  |        |          |        |        |               |             |            |                    |

## 

平成24年度から鳥獣被害対策実施隊を設置している。実施隊員は、市の非常勤職員として位置付け、命令に基づいて公務として出動している。

|                         |                   |                         | コスト推移          |    |        | 24年度決算     | 25年度決算     | 26年度予算     | 27年度見込     | 28年度見込     | 29年度見込     |
|-------------------------|-------------------|-------------------------|----------------|----|--------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|
| 総事                      | 業                 | 費                       |                |    | (単位:円) | _          | 33,423,491 | 33,162,000 | 33,900,000 | 33,900,000 | 33,900,000 |
|                         | 事美                | <b>業費</b>               | (直接経費)         |    | (単位:円) | 18,976,932 | 21,523,491 | 21,262,000 | 22,000,000 | 22,000,000 | 22,000,000 |
|                         |                   | 財                       | 国県支出金          |    |        | 4,184,000  | 2,508,000  | 2,670,000  | 2,000,000  | 2,000,000  | 2,000,000  |
|                         |                   | 源                       | 地方債            |    |        | 0          | 0          | 0          | 0          | 0          | 0          |
|                         |                   | 内<br>マの他特定財源 (特別会計→繰入金) |                |    |        | 0          | 0          | 0          | 0          | 0          | 0          |
|                         | 一般財源 (特別会計→事業収入)  |                         |                |    |        | 14,792,932 | 19,015,491 | 18,592,000 | 20,000,000 | 20,000,000 | 20,000,000 |
|                         | 人件費               |                         |                |    | 24年度   | 25年度       | 26年度見込     | 27年度見込     | 28年度見込     | 29年度見込     |            |
|                         | 概算人件費(正規職員) (単位:円 |                         |                |    | _      | 11,900,000 | 11,900,000 | 11,900,000 | 11,900,000 | 11,900,000 |            |
|                         | 正規職員従事者数 (単位:人    |                         |                |    | (単位:人) | _          | 1.70       | 1.70       | 1.70       | 1.70       | 1.70       |
| 臨時                      | <b>持職</b>         | 員等:                     | 従事者数           |    | (単位:人) | _          | 0.00       | 0.00       | 0.00       | 0.00       | 0.00       |
| 事                       |                   |                         | 指標名            | 単位 |        | 24年度       | 25年度       | 26年度       | 27年度       | 28年度       | 29年度       |
| 事業の                     | 1)                | シナ                      | 」捕獲数(一般捕獲を含む)  | 頭  | 計画     | _          | 2,400      | 2,400      | 2,400      | 2,400      | 2,400      |
| の活                      | 9                 |                         |                | 央  | 実績     | 2,684      | 2,700      | -          | -          | -          | 1          |
| 活動                      | 2                 | イノ                      | シシ捕獲数(一般捕獲を含む) | 頭  | 計画     | _          | 1,230      | 1,270      | 1,200      | 1,200      | 1,200      |
| <b>助</b> 量              | )                 |                         |                | 央  | 実績     | 963        | 1,200      | -          | -          | -          | 1          |
| <b>活動指標</b><br>3.活動量・実績 | 3                 |                         |                |    | 計画     | _          |            |            |            |            |            |
| 操績の                     | 9                 |                         |                |    | 実績     |            |            | -          | -          | -          | -          |
| 数値                      | 〈記                | 述欄                      | 』〉※数値化できない場合   |    |        |            |            |            |            |            |            |
| 化                       |                   |                         |                |    |        |            |            |            |            |            |            |

有害鳥獸被害対策事業 Page 1 of 3

|                      | 指標名 |  | 指標設定の考え方  | 単位  |    | 24年度   | 25年度   | 26年度   | 27年度   | 28年度   | 29年度   |
|----------------------|-----|--|---|-----|----|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
|                      | 1   | 被害金額の目標<br>(イノシシ、シカ、<br>カラス類、タヌキ<br>の合計) | H26年度は、市鳥獣被害防止<br>計画により転記し、他年度は<br>それに基づき推計し、掲載 | 千円  | 計画 | -      | 38,267 | 34,533 | 30,799 | 27,065 | 23,331 |
| もたら                  | •   | О Б П /                                  |   | 111 | 実績 | 42,170 | ***    | 1      | -      | -      | -      |
| たらそうとす               | 2   | カラス類、タヌキ                                 | H26年度は、市鳥獣被害防止<br>計画により転記し、他年度は<br>それに基づき推計し、掲載 | ha  | 計画 | ı      | 196    | 176    | 156    | 136    | 116    |
| <b>成果指標</b> りとする効果・は |     | の合計)                                     |   | Πa  | 実績 | 215    |        | 1      | -      | 1      | -      |
| 成果の数値化               | 3   |  |   |     | 計画 | ı      |        |        |        |        |        |
| 化                    | 3   |  |   |     | 実績 |        |        | _      | _      | _      | _      |

〈記述欄〉※数値化できない場合

H25被害額、被害面積の実績については、未だ統計データが公表されていない。

|                     |  | (Check)                    | 事務事業の自己評価  |
|---------------------|--|----------------------------|--|
|                     | 着眼点  | チェ                         | ェック 判断理由   |
|                     | 【計画上の位置付け】<br>事業の目的が上位政策・施策<br>つきますか                                   | ● 結びつく<br>一部結び<br>結びつか     | びつく  |
| 事業実施の<br><b>妥当性</b> | 【市民ニーズ等の状況】<br>市民ニーズや社会状況の変化<br>事業の役割が薄れていません                          | により、                       | び道路での事故のなど増えてきている。<br>れている   |
|                     | 【市が関与する必要性<br>市が事業主体であることは妥当<br>か(国・県・民間と競合していまか)                      |                            | 策を実施し、国及び県は、その施策が円滑に実施されるよう財政措<br>妥当でない 置を講じるなど、役割が明確にされている。   |
| 活動内容の               | 【事業の達成状況】<br>① 成果目標の達成状況は順調に<br>ていますか                                  | ● 順調であ<br>推移し あまり順<br>順調では | り、シカ、イノシシともに捕獲頭数が増えており、順調と言える。<br>順調ではない   |
| 有効性                 | 【事業内容の見直し】<br>成果を向上させるため、事業が<br>② 直す余地はありますか<br>(成果をこれ以上伸ばすことは<br>せんか) | 容を見 ● 検討の分                 | の余地はない<br>実施隊員の高齢化が進んでおり、早急に目標の頭数まで減らす必要<br>がある。平成26年度は市の一般会計以外での捕獲に対する補助金<br>支給が予定されている。(国の基金事業による八代市鳥獣被害対策<br>協議会を経由しての支給) |
|                     | 【民間委託等】<br>① 民間委託、指定管理者制度の<br>どにより、成果を下げずにコス<br>することは可能ですか             |                            | きるが、コストが高い。<br>余地あり また、鳥獣保護法改正により、認定鳥獣捕獲事業者制度が導入され<br>たことにより、シカ、イノシシ等も捕獲できる民間業者が生まれる可能                                       |
| 実施方法の               | 【他事業との統合・連携目的や形態が類似・関連する。の統合・連携によりコストの削減能ですか                           | <b>業と</b>                  | 余地あり   |
| 効率性                 | 【人件費の見直し】<br>現状の成果を下げずに非常勤による対応その他の方法により費を削減することは可能ですが                 | 、人件 検討の第                   | 余地あり   |
|                     | 【受益者負担の適正化<br>事務事業の目的や成果から考<br>受益者負担を見直す必要はあ<br>か(引上げ・引下げ・新たな負担        | えて、<br>リます 検討の分<br>・廃      | の余地はない 受益者は、被害者という立場であり、鳥獣被害防止特措法により、国<br>及び県が財政措置を講じることとなっており、受益者負担は適さない。<br>が必要である   |

有害鳥獸被害対策事業 Page 2 of 3

#### (Action) 事務事業の方向性と改革改善 (今後の方向性の理由) 1 不要(廃止) 平成24年度に、市の命令で捕獲活動を行う鳥獣被害対策実施隊を164名の隊員で立ち上げた。 平成25年度は、その効果が現れており、現行どおり推進したい。 2 民間実施 今後の 3 市による(民間委託の拡大・市民等との協働等) **方向性** (該当欄を選択) 4 市による実施(要改善) 5 市による実施(現行どおり) ● 6 市による実施(規模拡充)

#### 今後の改革改善の取組と、もたらそうとする効果

今後は、市非常勤職員としての優遇措置など設けていることをアピールして、隊員の確保や人材の育成を図る。

**改革改善内容** 続による捕獲のほか、民家の近くでは捕獲器による捕獲も推進していく。 また、平成26年度は市の一般会計以外で、国の基金事業によるシカ、イノシシの捕獲に対する補助金を別途支給。

## 改革改善による期待成果

|    |    |    | コスト |    |
|----|----|----|-----|----|
|    |    | 削減 | 維持  | 増加 |
|    | 向上 |    |     | •  |
| 成果 | 維持 |    |     |    |
|    | 低下 |    |     |    |

| タ       | 部評価の実施  | 有:外部評価(市民事業仕分け) | 実施年度 | 平成24年度 |
|---------|---------|-----------------|------|--------|
| 改       | H25進捗状況 | 3. 現状推進         |      |        |
| (善進捗状況等 | H25取組内容 |                 |      |        |

|                   | (委員からの意見等) |
|-------------------|------------|
| 決算審査特別            | 特になし       |
| 決算審査特別<br>委員会における |            |
| 意見等               |            |
|                   |            |
|                   |            |

有害鳥獸被害対策事業 Page 3 of 3